



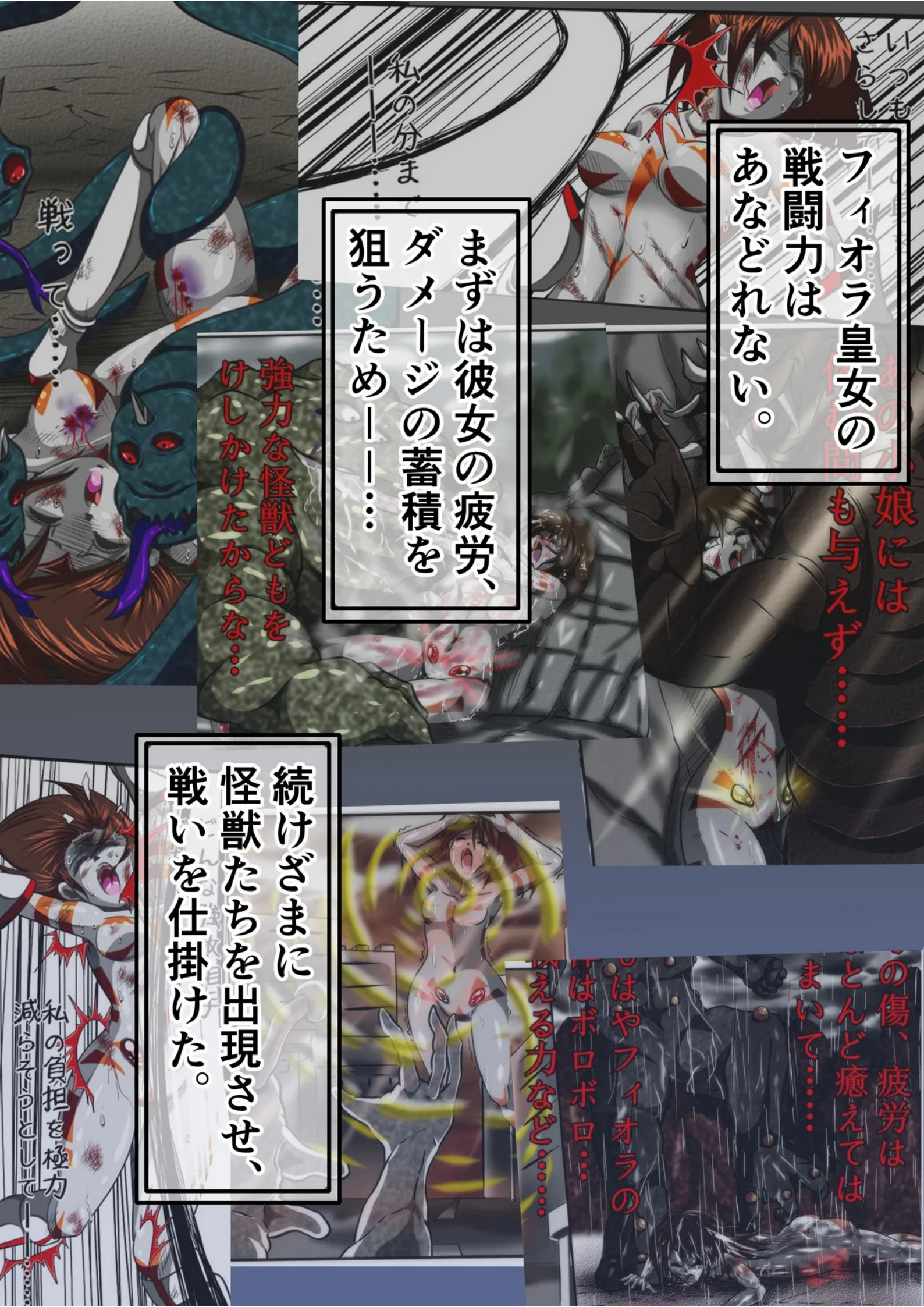
フィオラ、死す…？

81
ページ+α

フィオラクライシス
FIORA CRISIS フィオラ姫、死す…？

ファイオラ皇女
抹殺計画

その
全容について



ファイオラ皇女の
戦闘力は
あなどれない。

まずは彼女の疲労、
ダメージの蓄積を
狙うため……

強力な怪獣どもを
けしかけたからな……

続けざまに
怪獣たちを出現させ、
戦いを仕掛けた。

の傷、疲労は
とんど癒えては
まいて……

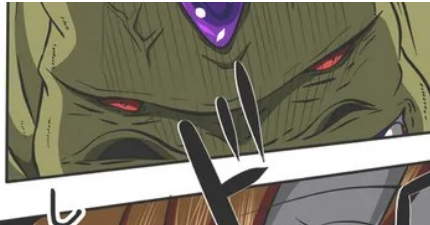
はやファイオラの
はボロボロ……
える力など……

私の負担を極力
減らすとして……

戦っ
て……

さい
らし
も

私の分
ま



傷が癒えず、
疲れも残る
ファイオラ皇女に
次の手を打つ。

しまっ……

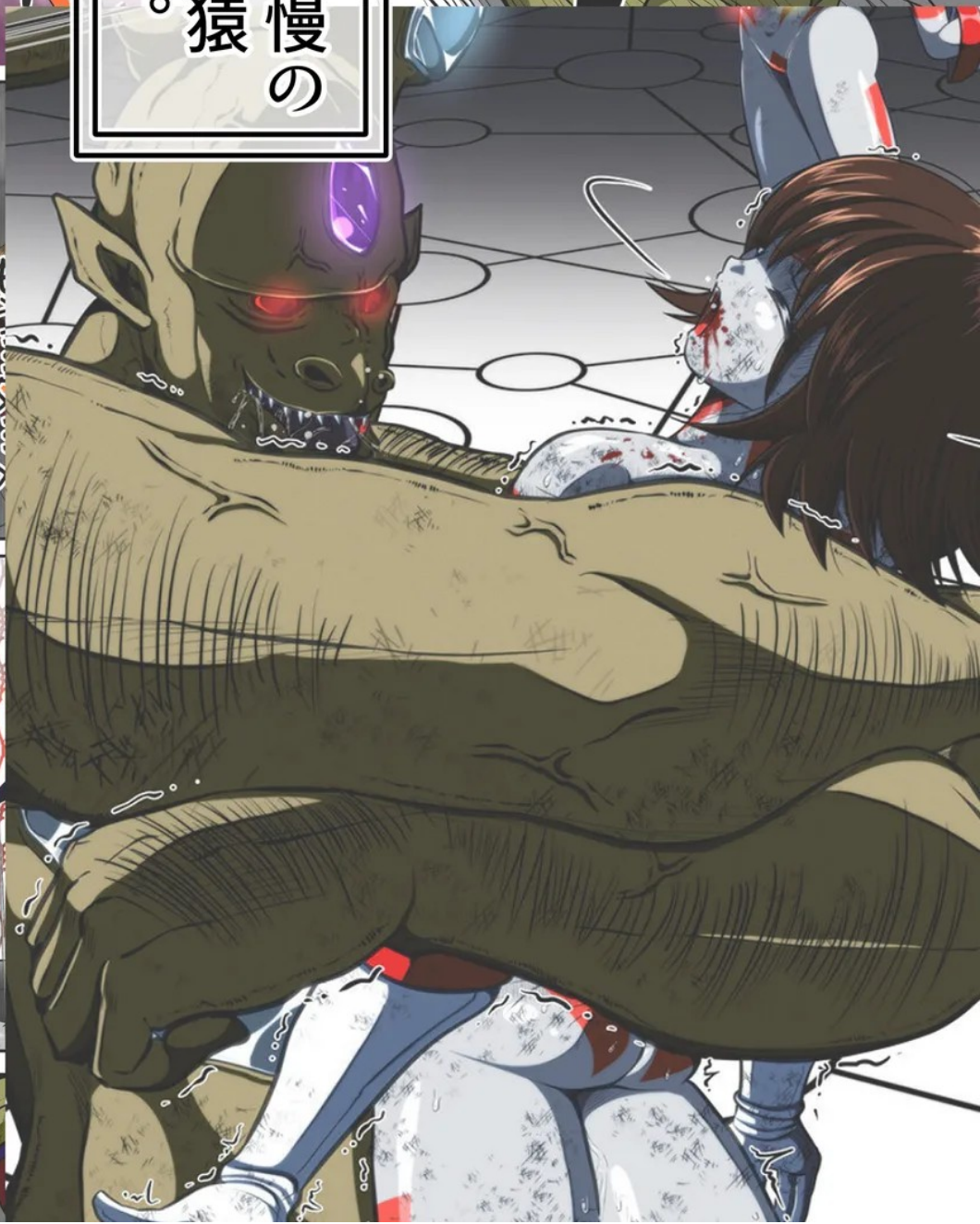


パワー自慢の
宇宙凶暴猿
ゴルグ。

今…の攻撃
で……

光
意識は
し
ま

この怪獣の
襲撃で、皇女に
相当の深傷を
負わせることに
成功した。



ククク
ククツ...

ダメージの深い
皇女に、更なる
追撃を加える。

脚だ

それは、
フィオラが
『女』であることを
最大限、利用し
戦う力を完全に
削ぐのだ。

宣言する
明日.....

私はお前の
守ってきたこの
星と地球人を
攻撃する

.....
!!!!

それを回避
したいのならば.....

強烈な媚薬効果を
持つ針を全身に
刺し、快樂地獄へ
叩き落とす。

恐らく
痛みも疼きも
ほとんど
消えないだろう
がな.....

皇女は想像以上に
悶え、叫び、望まぬ
絶頂を繰り返した...

.....
よし...

ああああ
あーッッ!!!

あぐう
うッッ!!!

ぐああッ!!!
うううッ!!!
う...あ...あ...
あ...ぐ...あ...
う...あ...ッ!!!

あうッ!!!
クククッ!!!
あうッ!!!
ハッハッハッ!!!

ファイオラ皇女
抹殺計画は
最終段階に入る。

それは、同化している
地球人の女……
姫野光を襲撃するのだ。

これで、ファイオラに
更なるダメージの
蓄積と、
精神的揺さぶりを
かける。

この星でいうところの
約1時間ほどで
作られたこの空間は
消える……

クツクツクツ
そうだ……
お前にもチャンスが
やろうという
訳だ……

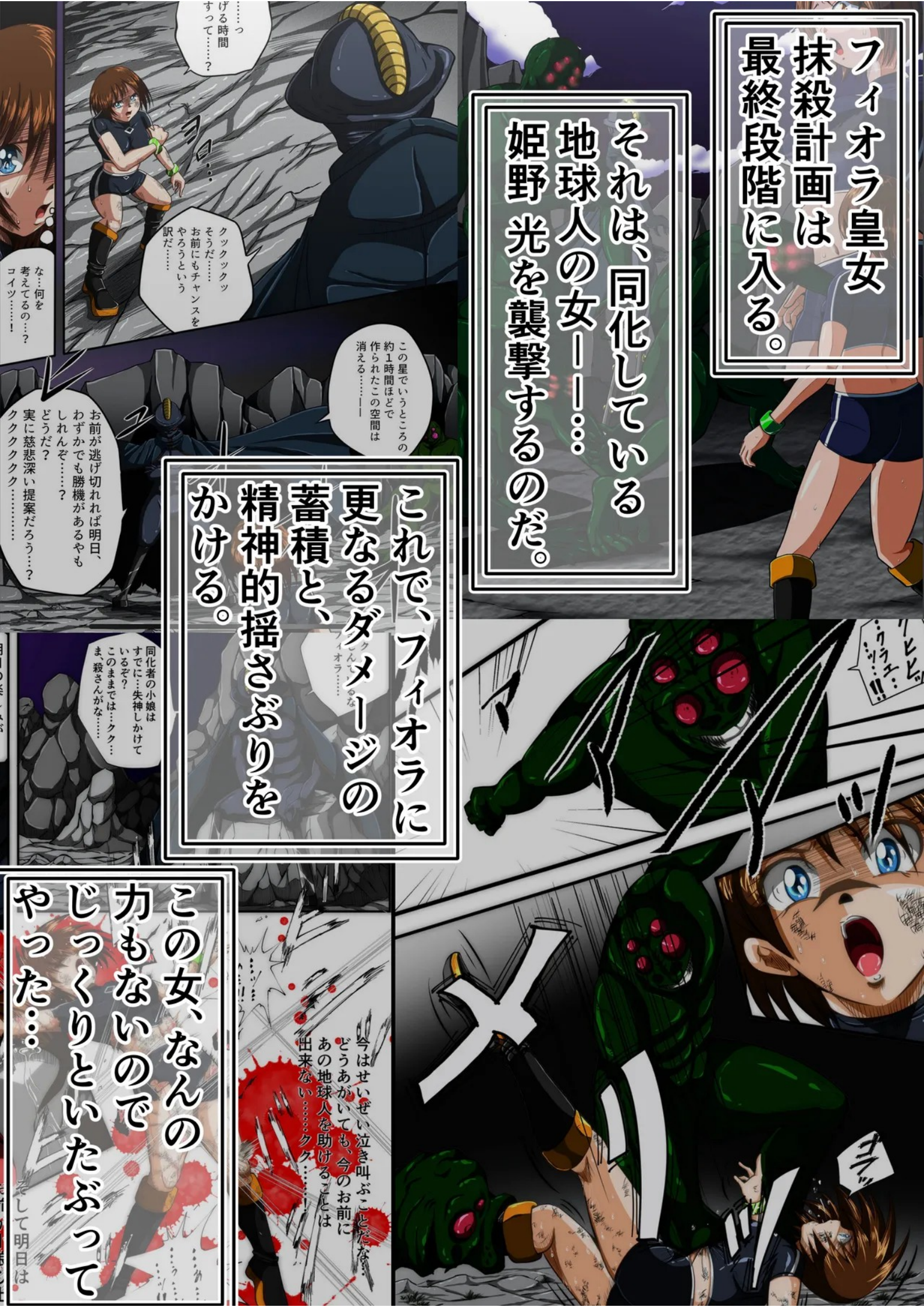
な…何を
考えてるの…?
コイツ……!

お前が逃げ切れれば明日、
わずかでも勝機があるやも
しれんぞ……?
どうだ?
実に慈悲深い提案だろう…?

同化者の小娘は
すでに…失神しかけて
いるぞ?
このままでは…クク…
ま、殺さんがな……

この女、なんの
力もないので
じつくりといたぶって
やった…
そして明日は

今はせいぜい泣き叫ぶことだな…
どうあがいても、今のお前に
あの地球人を助けることは
出来ない……クク…



この姫野光はアアッ
痛めつけて
ロボロボにしてやる
だけのつもり
だったがー…

小生意気な
娘だったの
こいつにも
あの針を何本か
刺してやった。

クク、正気を失った、か
気の毒にな……
何度達したかの？
ククク……

気が狂わない
程度に…

クハハハハッ!!!
もっと鳴け!!!
そしてのたうち
回るがいい!!!!

最後には叫ぶことも
出来なくなっていたが
——…
ま、問題あるまい

強地無

もないか…
人には効果が
ぎるだろうからな…

これでフィオラ様
下準備は完璧だ!!!
姫野光!
貴様も明日までの

準備は全て
整った。

ほどほどの
2匹を用意して
やった

我々はいよいよ
最後の一手を
打つ。
今なら

ほぼ無力……!

皇女のエネルギーの
自然回復が極端に
少ない夕刻……

なぶ
翔るも犯すも
我々の思うがまま
です……!!

怪獣2体を出し、
フィオラを誘き出す。
そこに現れた
皇女は……

はこイツ等に



度重なる戦いの
ダメージで力を
失い――…ふえには

勝機もない

同化者の傷の
影響でも力を
削がれ――…

メェン…

せいぜい
絶望するが
いいぞ…
クク…!

さらに

絶対に

………

許さない

………!!

ど………!!?

どこを見ている
ファイオラ皇女

ドクン

あの針の効果か…
まったく異なる姿で
我々の前に立った。

…いえ…

あの星人も
必ず…現れる
はず…!!

ドクン…

この状況で
数でも不利だ
なんて…

抹殺計画黒幕の
ブラン星人は
戦闘に特化した
姿に変身。

あ……
ああ……あ……

弱り切った皇女は
なすすべもなく
痛めつけられる。

ま……まるで別……
まったく違う星人
姿のように……!!

う……う……
あ……あ……

そして……
ついには……!!

……力尽きたか
ワイオラ皇女……

う……う……
や……や……
いい女だな……

ズズズ……

あああああああ

ああ……ツツツ

ああああああ……!!
う……う……

……



この皇女様が
が………



なに………

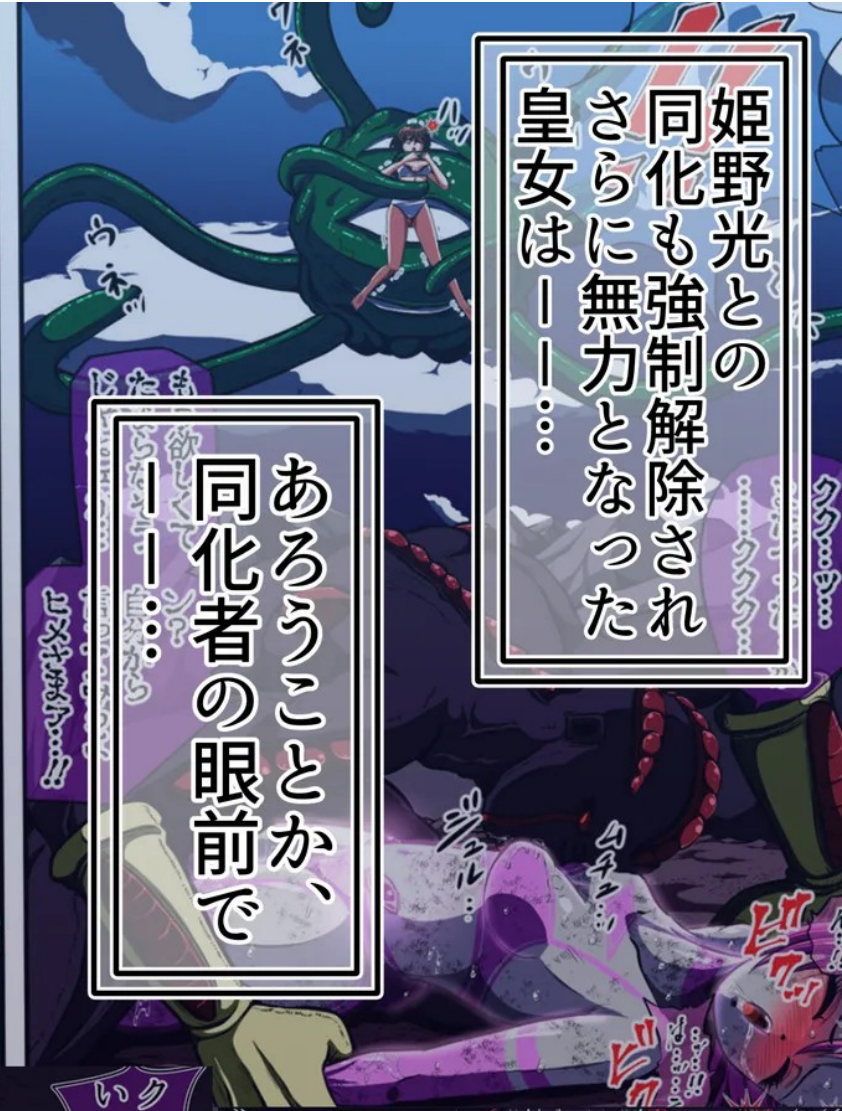


そのカラダを
穢されてしまう……



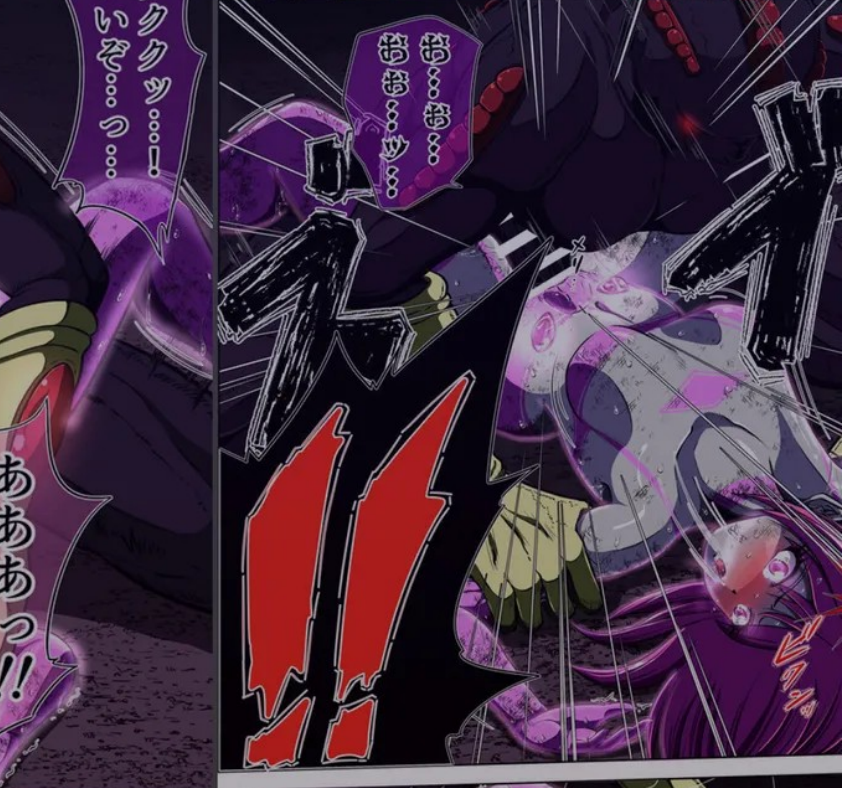
たつぷり……
膣内に………
射精して
やるぜ……!!

何度も………!!
何度も………!!
何度も………!!
何度も………!!



姫野光との
同化も強制解除され
さらに無力となった
皇女は………

あろうことか、
同化者の眼前で



あああつ!!



皇女を犯した
ブラン星人は
更なる残酷な
『ゲーム』を
フィオラに強制した。

それは、これからの
戦いでフィオラが
倒れるたび、光にも
電撃による激痛が
襲うというもの。

皇女は、光を守るため――
戦うどころか満足に
動けないカラダに鞭を打ち、
ブラン星人との最終決戦に
挑むのだった……!!



000000

まっ……てて……

!!!

カ⁰⁰
7

7

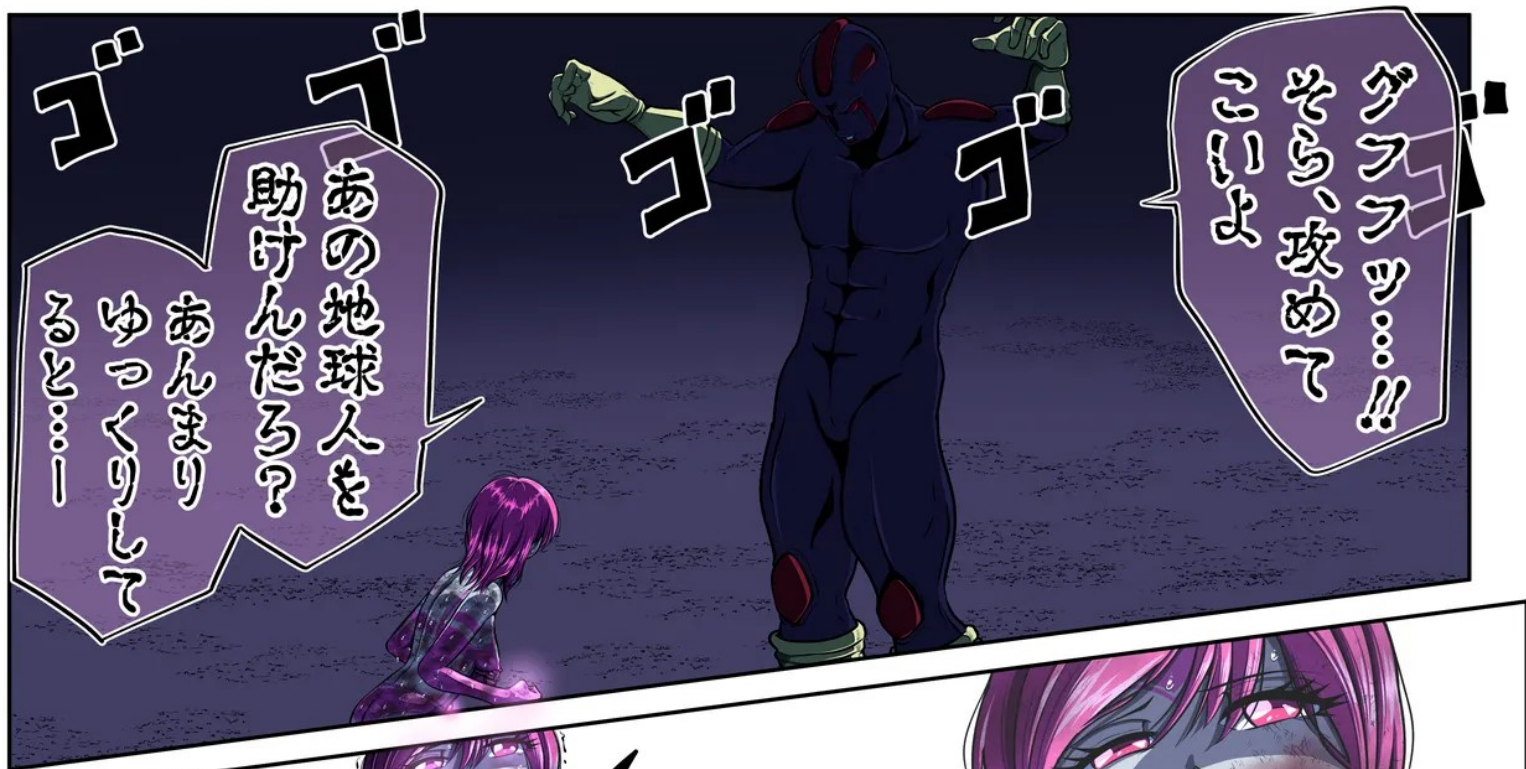
カ

ホム……ッ……

絶対に……!!!

助け……る……!!

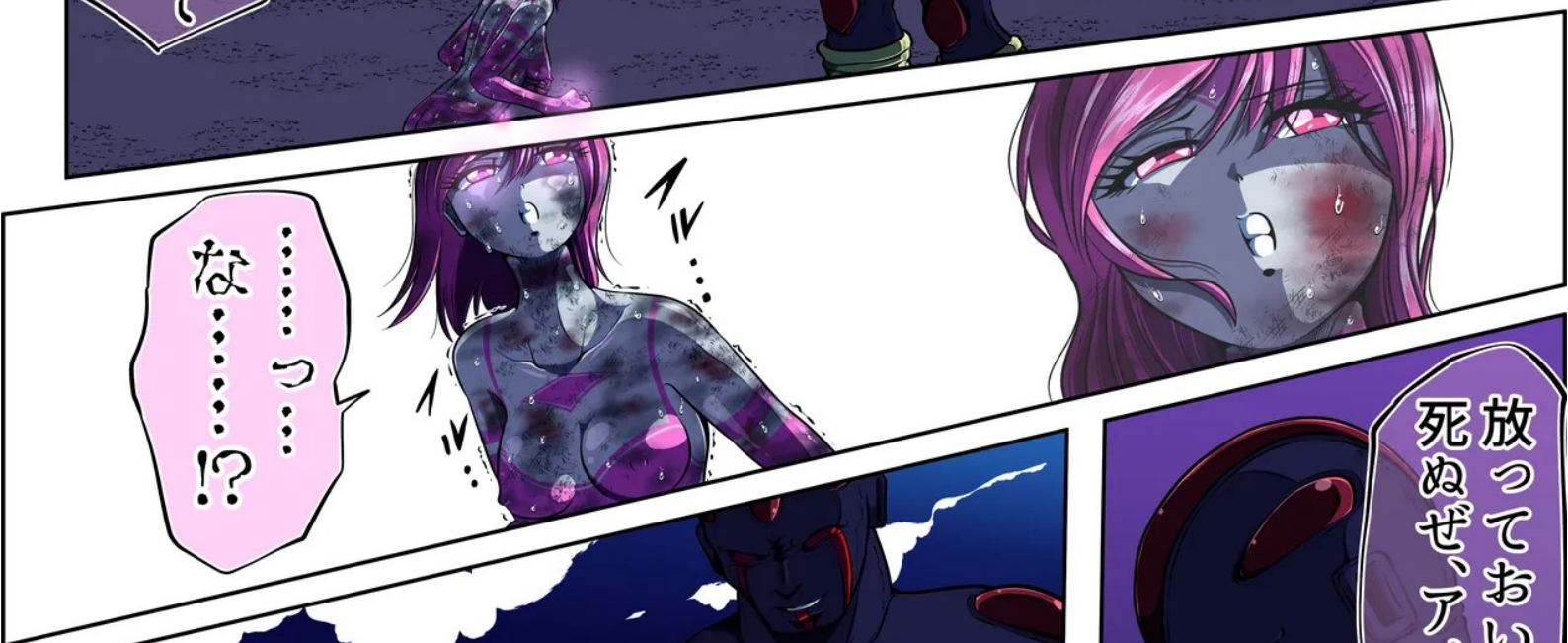
助け……る……
からね……!!



グフフツ…!!
そろ、攻めて
こいよ

あ、の地球人を
助けんだろ?

あんまり
ゆっくりして
ると…



……っ
な……!?



そ…そうだわ…
光のダメージは…
もう……!!

……!!



放っておいても
死ぬぜ、アイツ

さっきの電撃で
相当、弱ったろう
からな…



グフフツ…
さあ…
来い…!!

そのボロボロの
カラダで…!!



オレに
ニヤ…

いたぶられに
来いっ…!!



いくしか…
ない…っ!!

弱気になんて…
なつて…
いられない…っ!!



この星人は
許さない

許せない

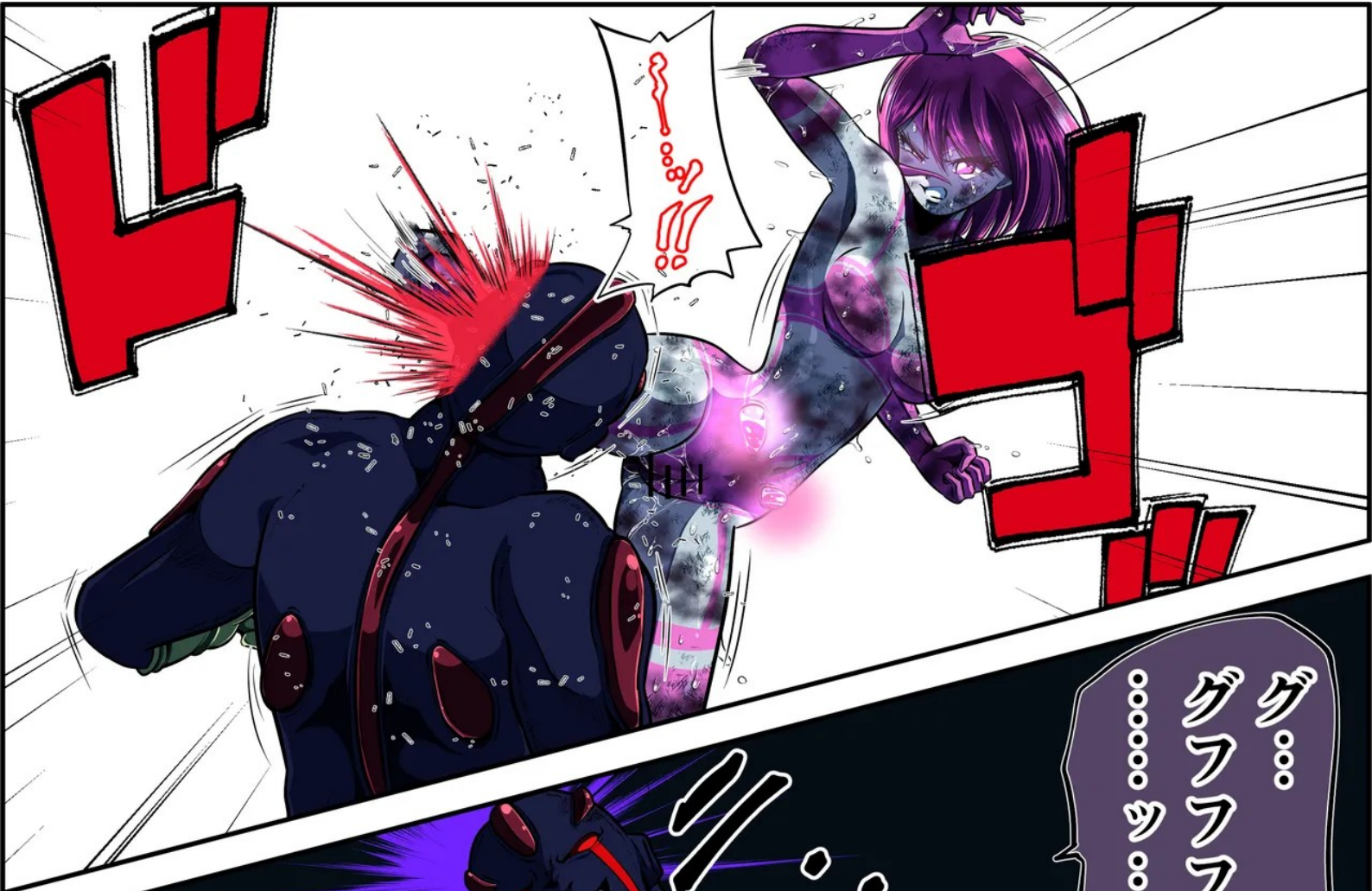
絶対
許さないっ!!

たあああッ!!!

光をいたぶった
この敵だけは…!!

倒す!!!

私の命と
引き替えても
かまわない…ッ!



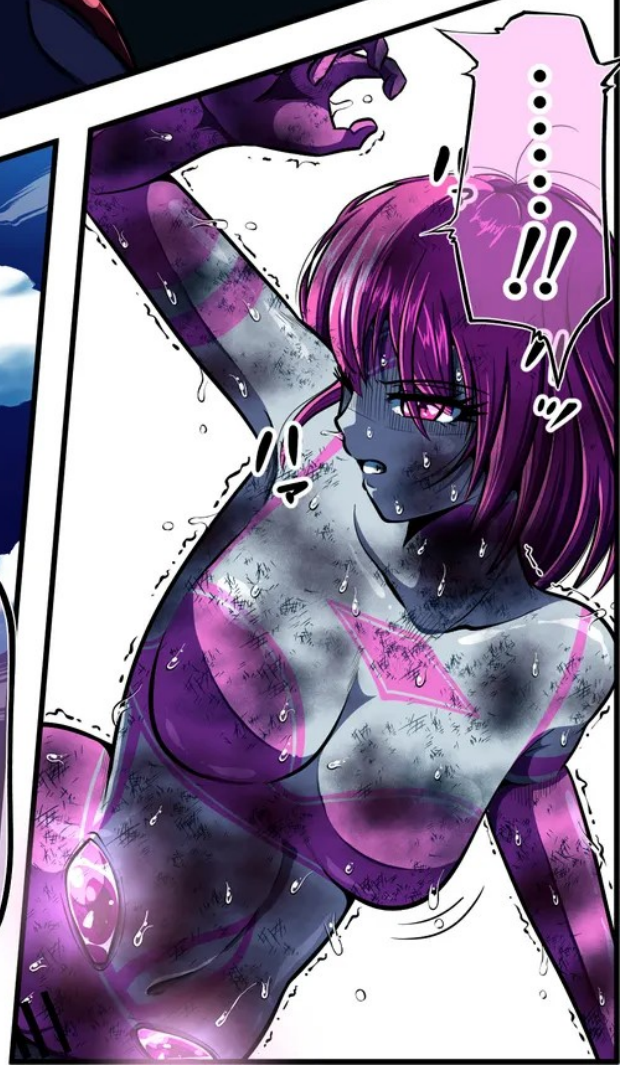
ググ
グフフフフ
ッッッ!!

今の
蹴りー……



さっきより
明らかに
落ちてるな

お前の
力ー……



……!!

当然だな

太陽光の一切
届かない夜……
そして——…

地球人の同化者も
失っている状態
じゃあ——…

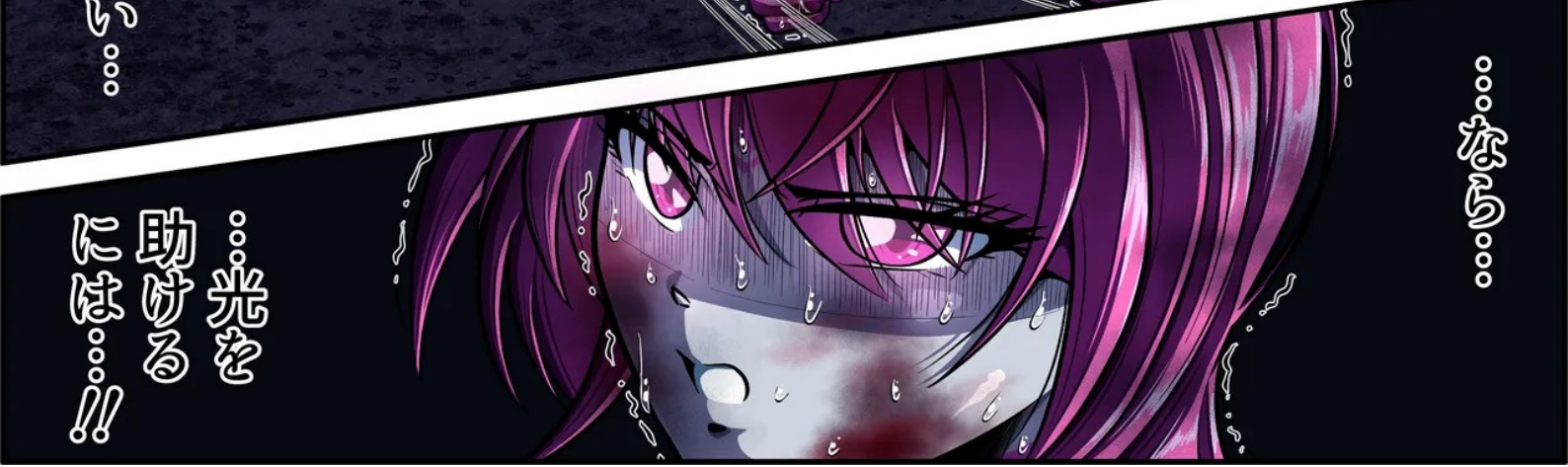
グフフ…
グフフフツ…

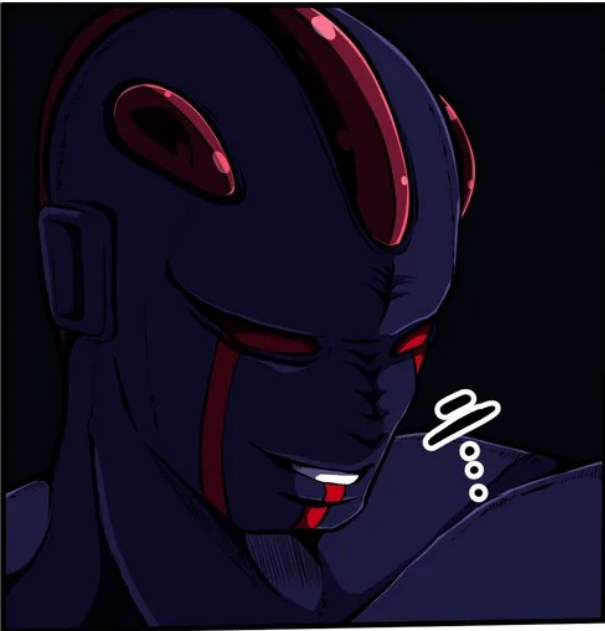
それでも
——…
戦わなきゃ
なア……

あの女……

ヒメノ
ヒカル——…

助けたいんだ
もんなア……!!





…言っ
た
は
ず
よ
…
…
何
度
も

…お
前
だ
け
は
許
さ
な
い
…
と
…



私
は
…
ツ
…
…
!!



私
は
…

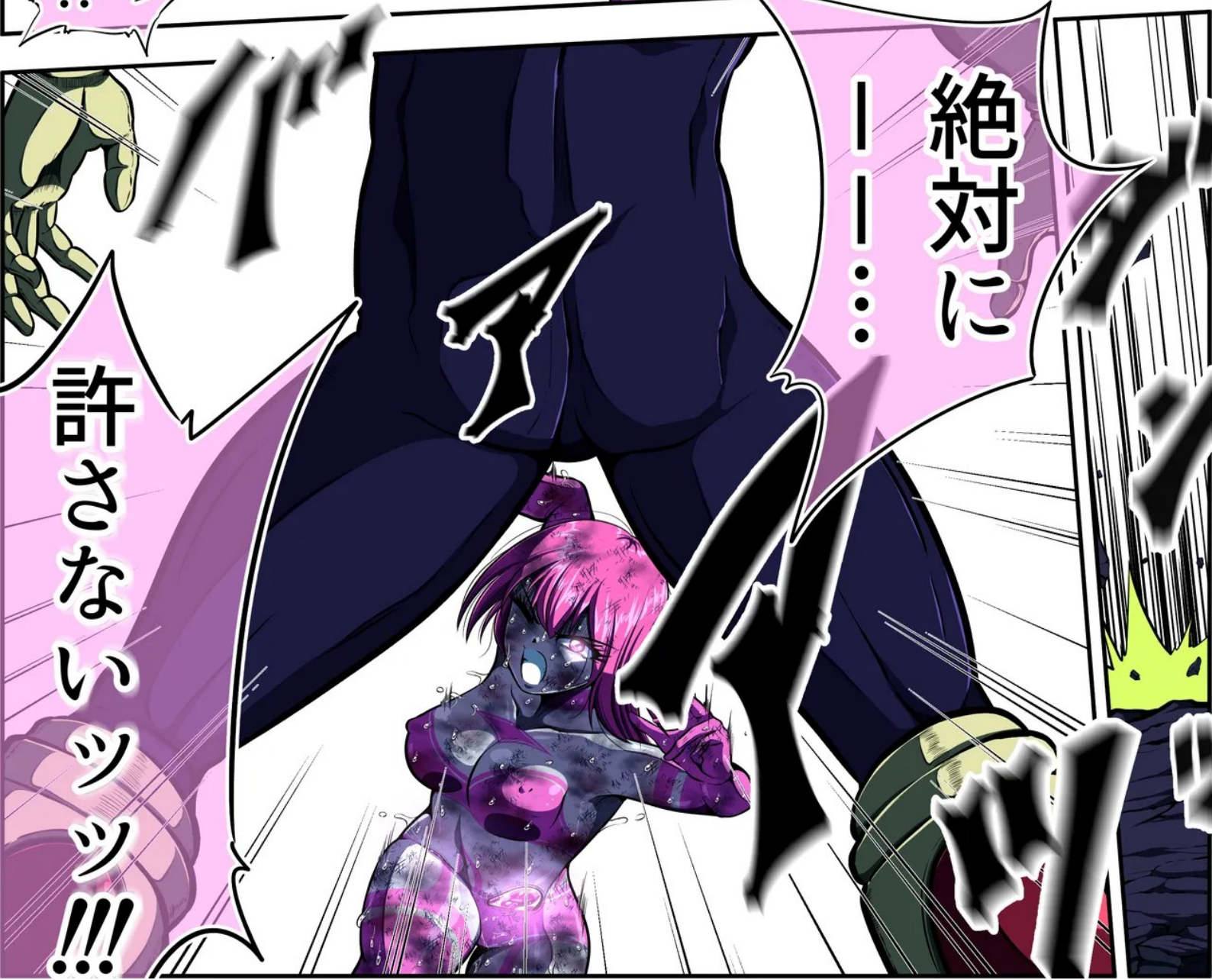
ワ
ナ
…



ワ
ナ

ワ
ナ

今
で
さ
え
…
光
を
苦
し
め
る
貴
様
を
…
!!



絶
対
に
…
…
…

許
さ
な
い
ツ
ツ
!!!

ある意味
執念深い女だ

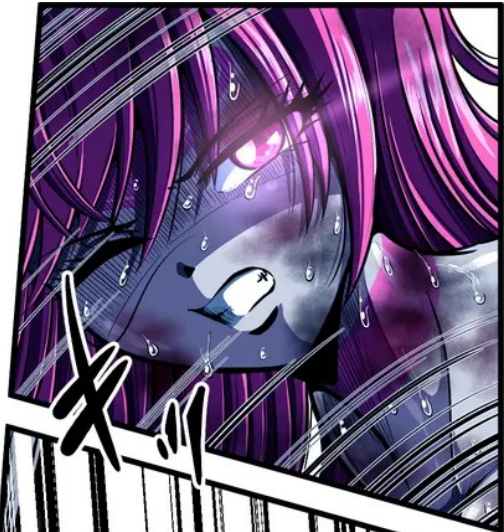
あの地球人が
それほど大事
なのか…？

同化者の代わりなんて
いくらでもこの星には
いそうなものだかなア…

今度は
とっ捕まえて
絞め——…

ま、いいか
オレにとっちゃ
——…

ターゲットが
わざわざ
向こうから来て
くれんだからな





パカめ



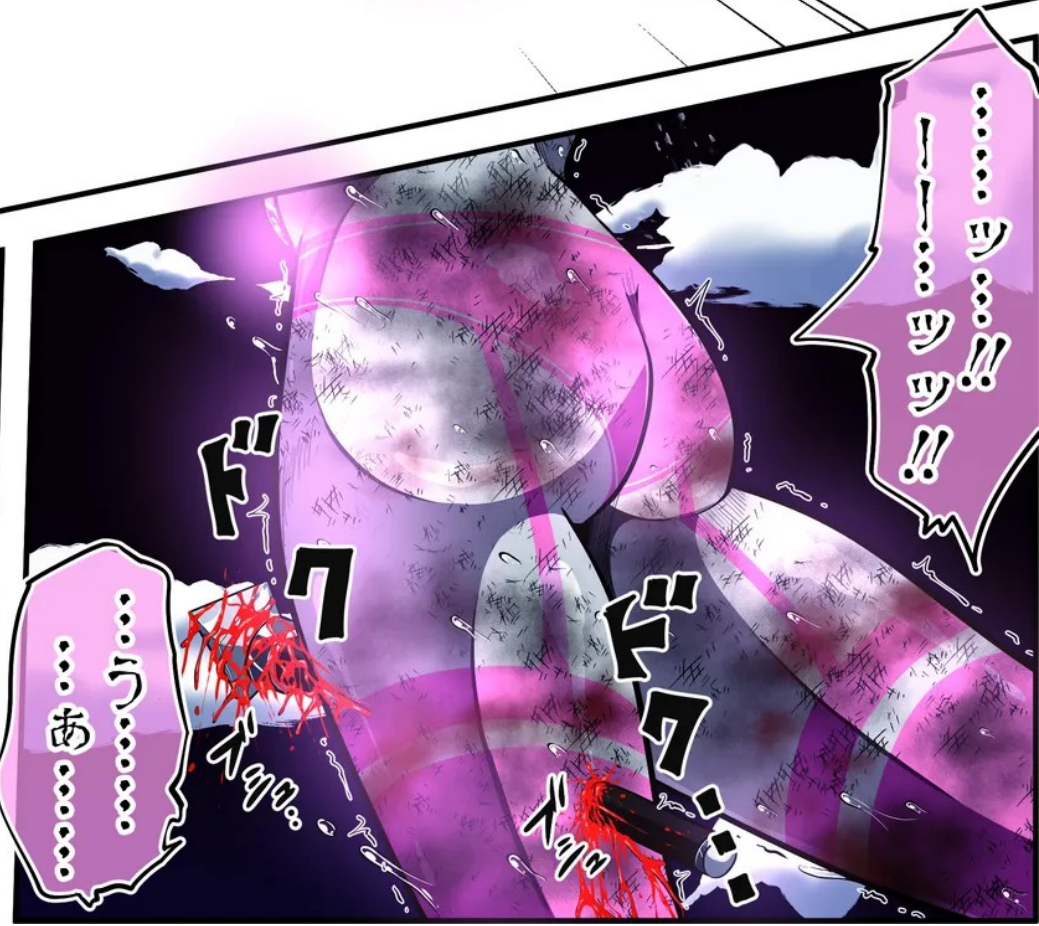
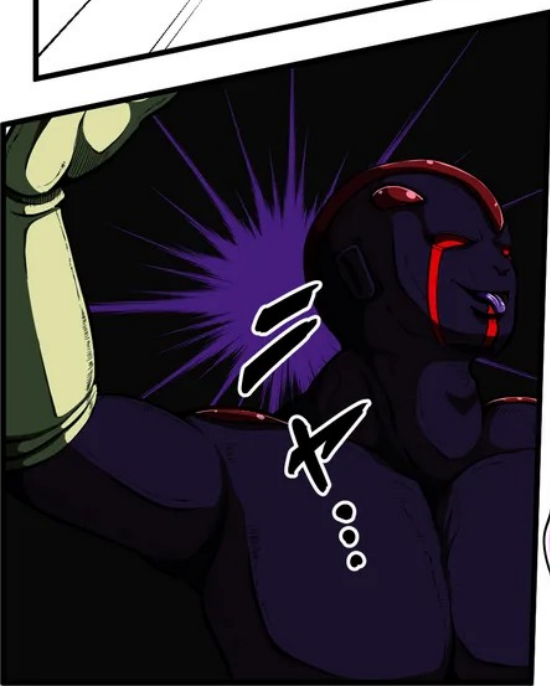
オレから
背を向ける
とはな

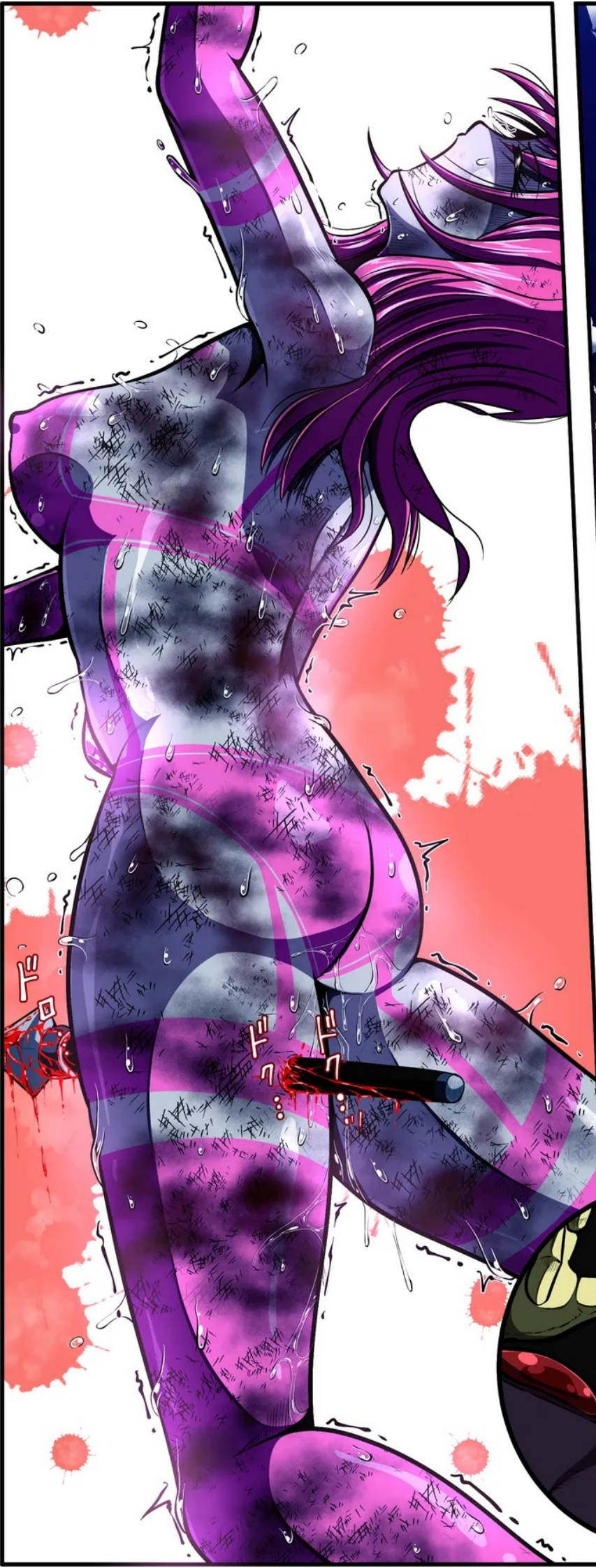
ククク...



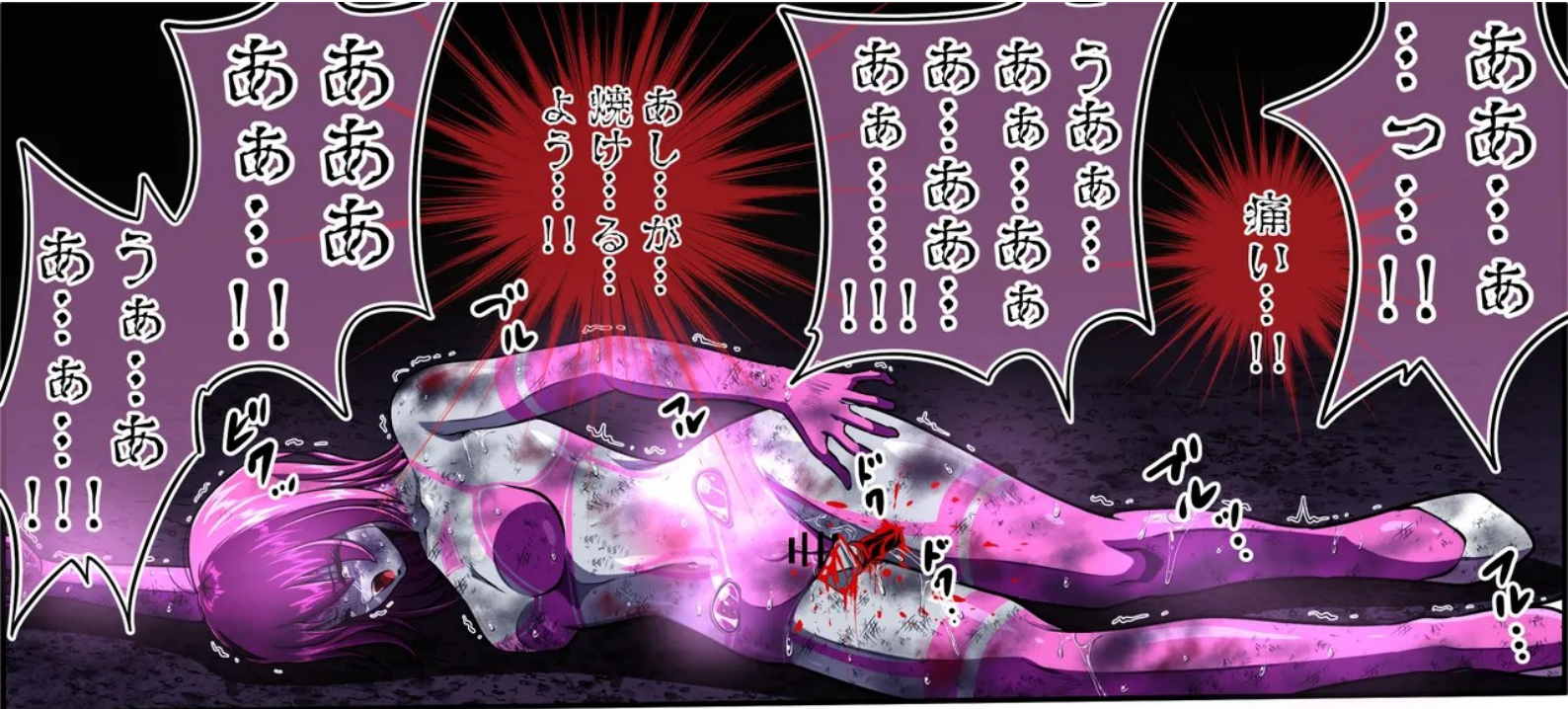
痛みを
思い出さ
せて
やるよ

あの『針』の
比じゃない
やつで、な

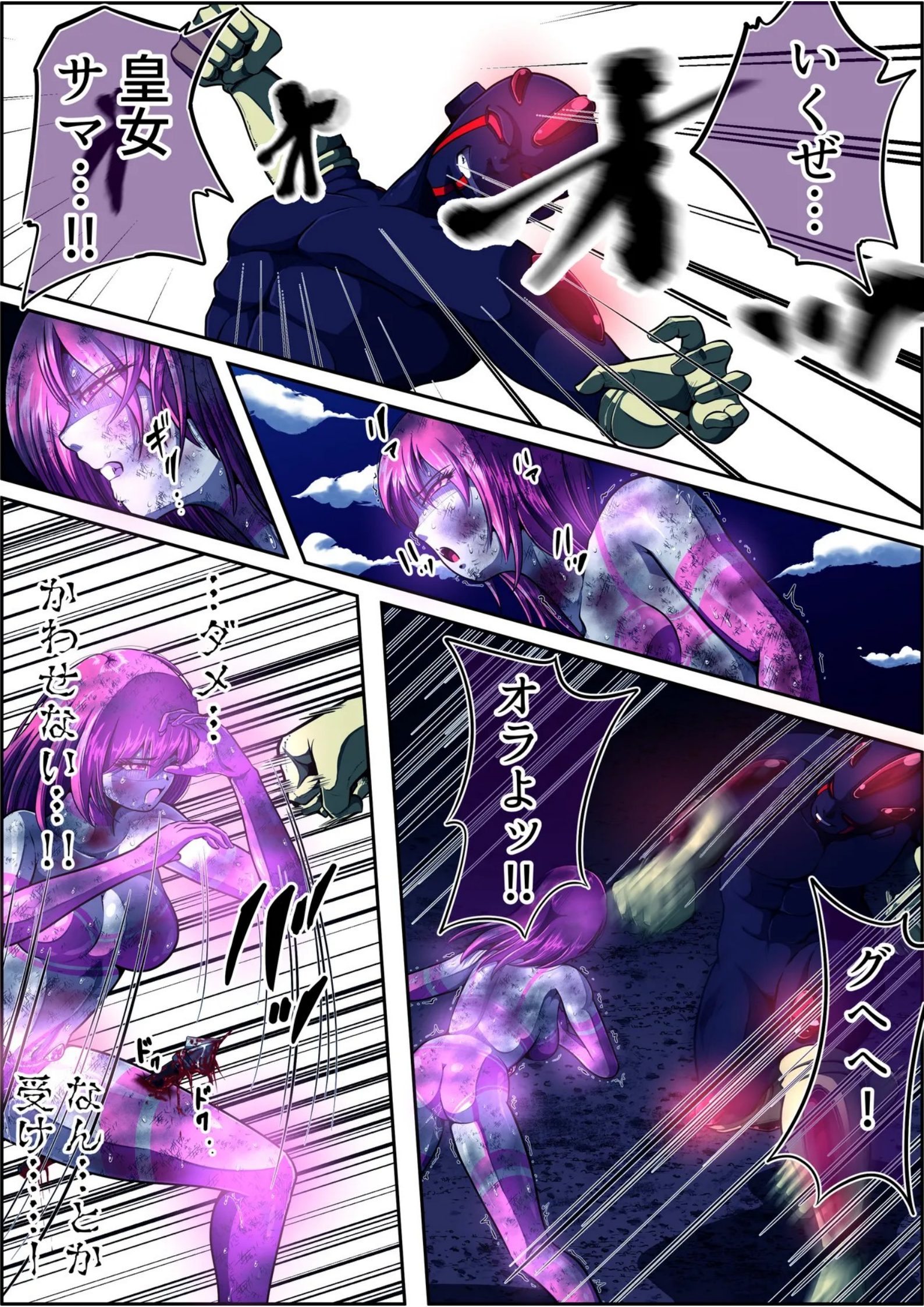












いくぜ...

皇女
サマ...!!

ダメ...

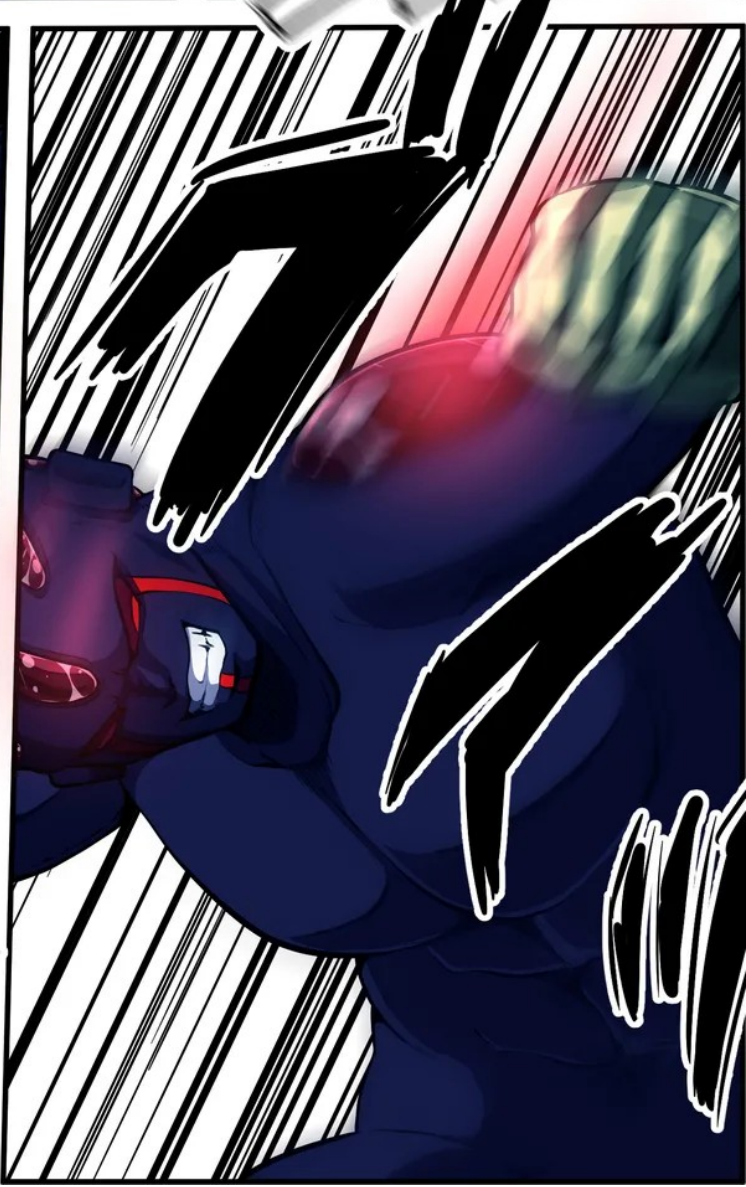
かわせない!!

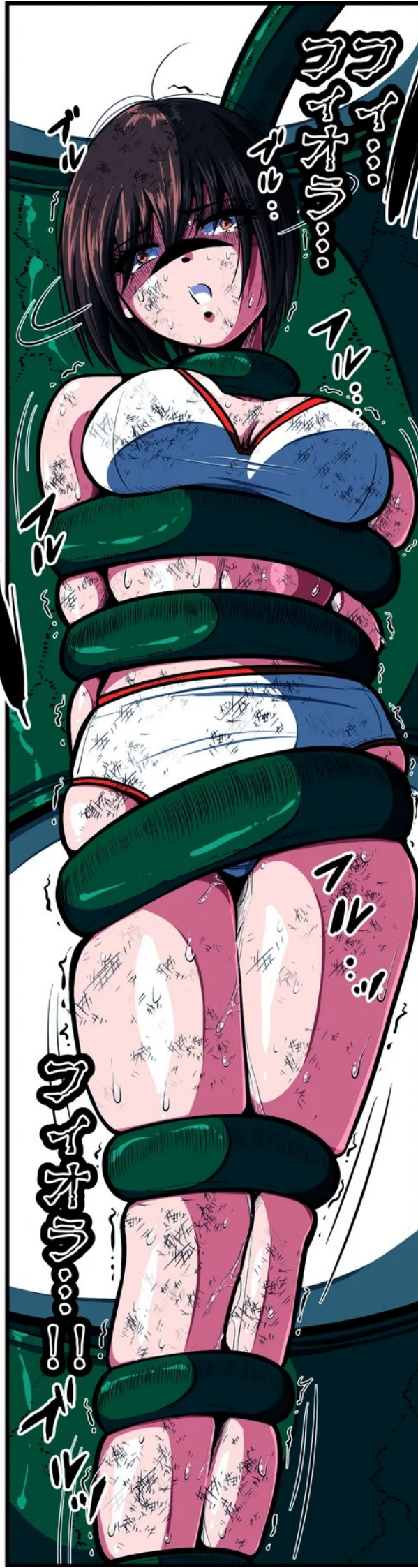
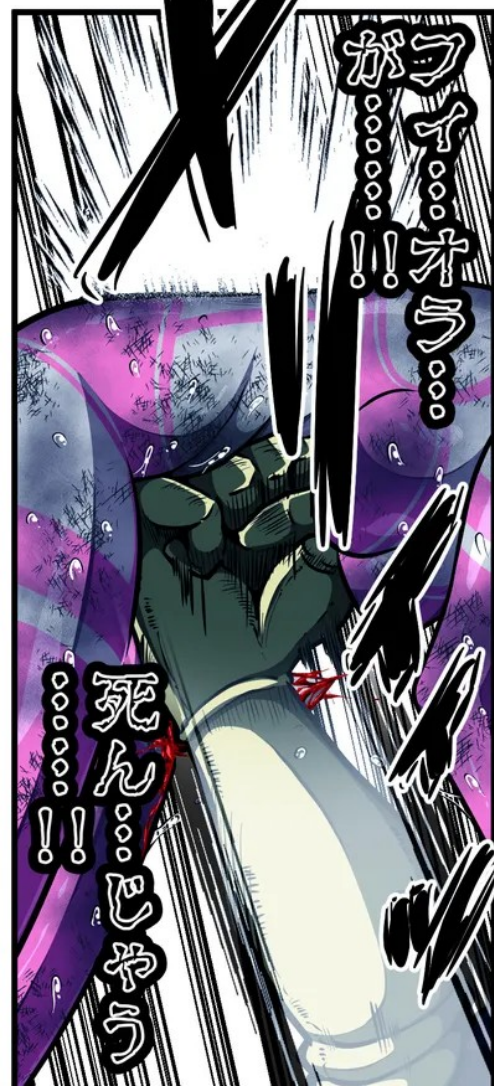
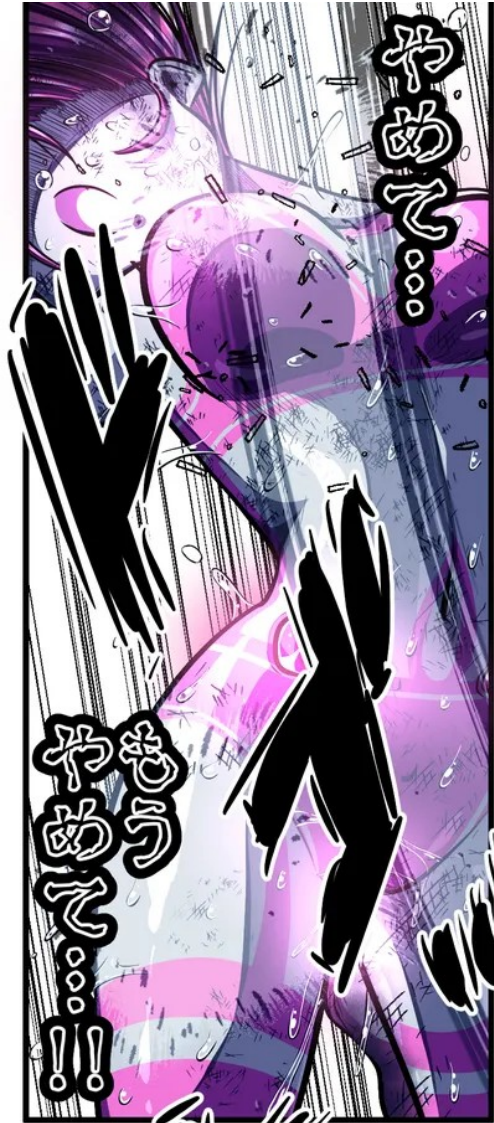
ダメ...

オラよツ!!

グヘヘ!

なん...とか
受け...





た…倒れ…
ない…!!

ガク

ブル

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ブル

ガク

ブル

ぜ…絶対…!!

ガク

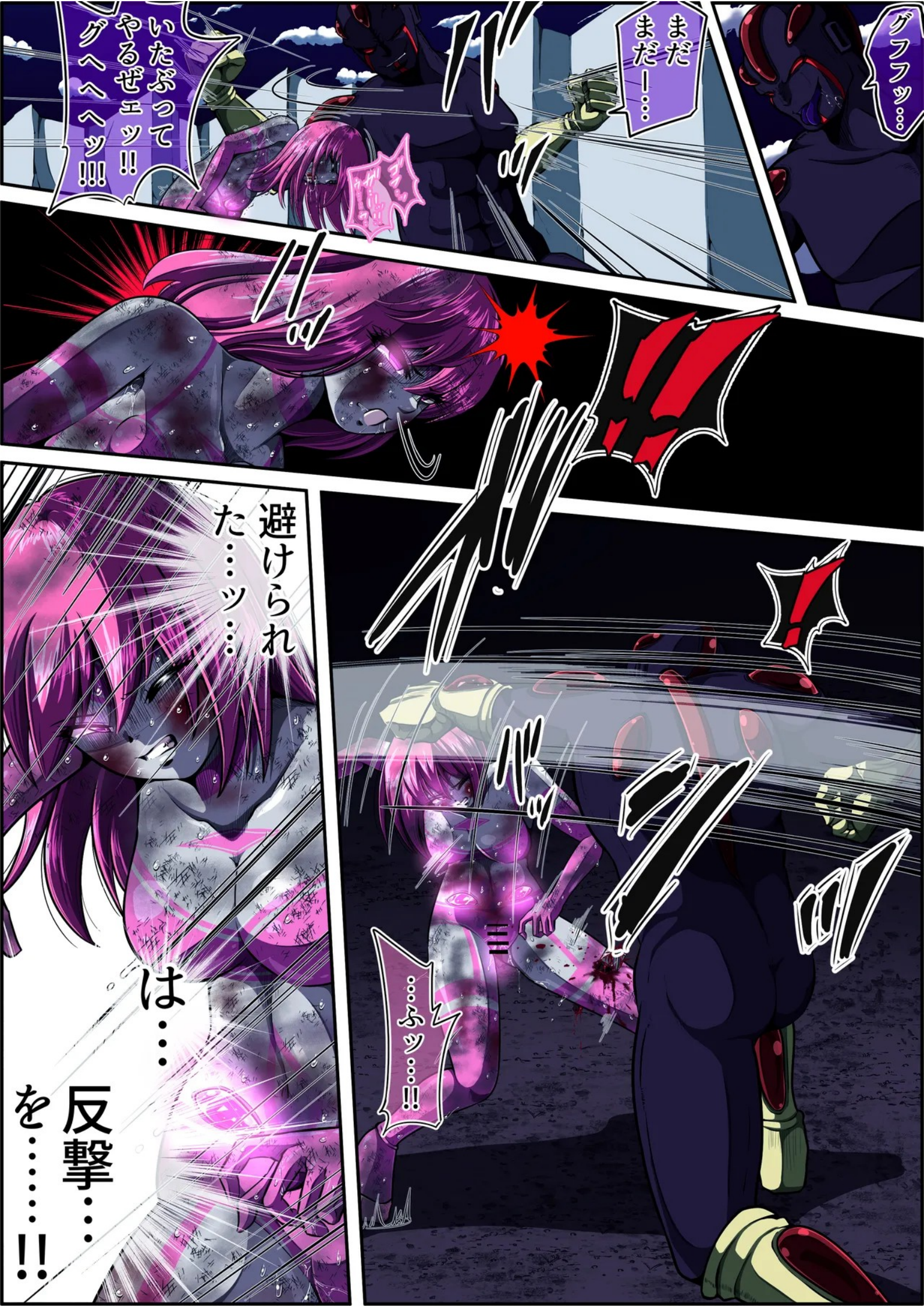
倒れ…る
もん…か…!!!

光ひ…
を…

こ…れ以上…

傷つけ…
させない…!!!





まだ
まだ
まだー！

グフフッ...

いたぶって
やるぜエツ!!
グヘヘッ!!!

避けられ
た...ツ...

は...

反撃...

を...!!

...ふッ...!!



もう無理は
するな...

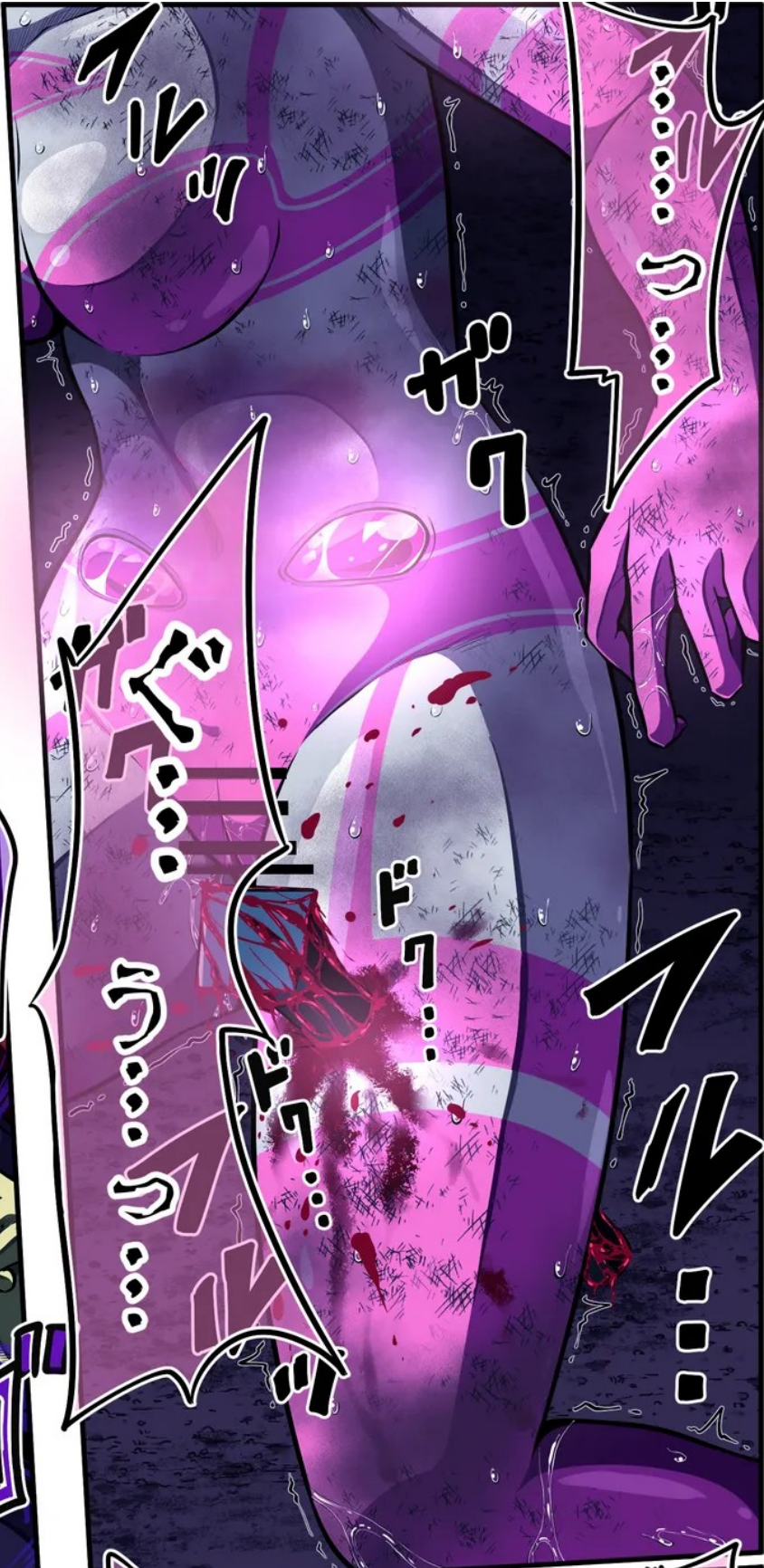
クワン...



おまえは
もう戦え
ねえよ...!!



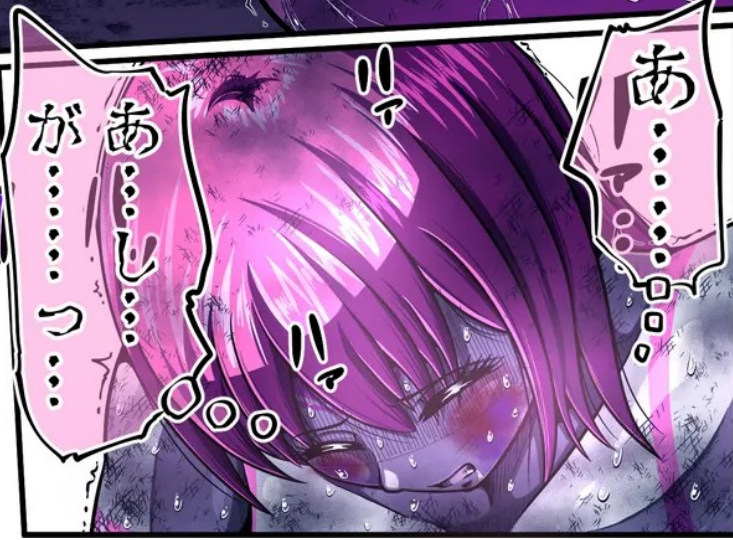
あつらふ...
オレのオモちゃに
なれや...フン...



ズ...

ズ...

ズ...



あ...
が...

あ...



さらに
パワーを
溜めた
ブラン星人の
攻撃……!!

ピンクモードの
うえ、さらに
傷つき……



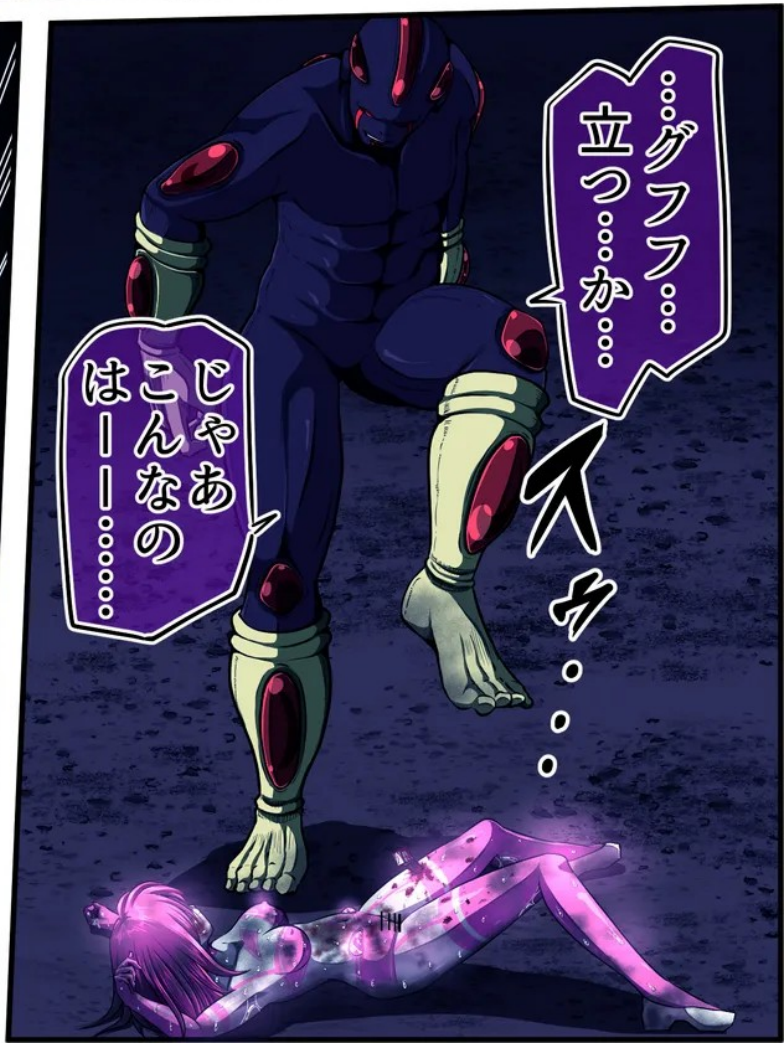
弱
りきつた
姫……!!

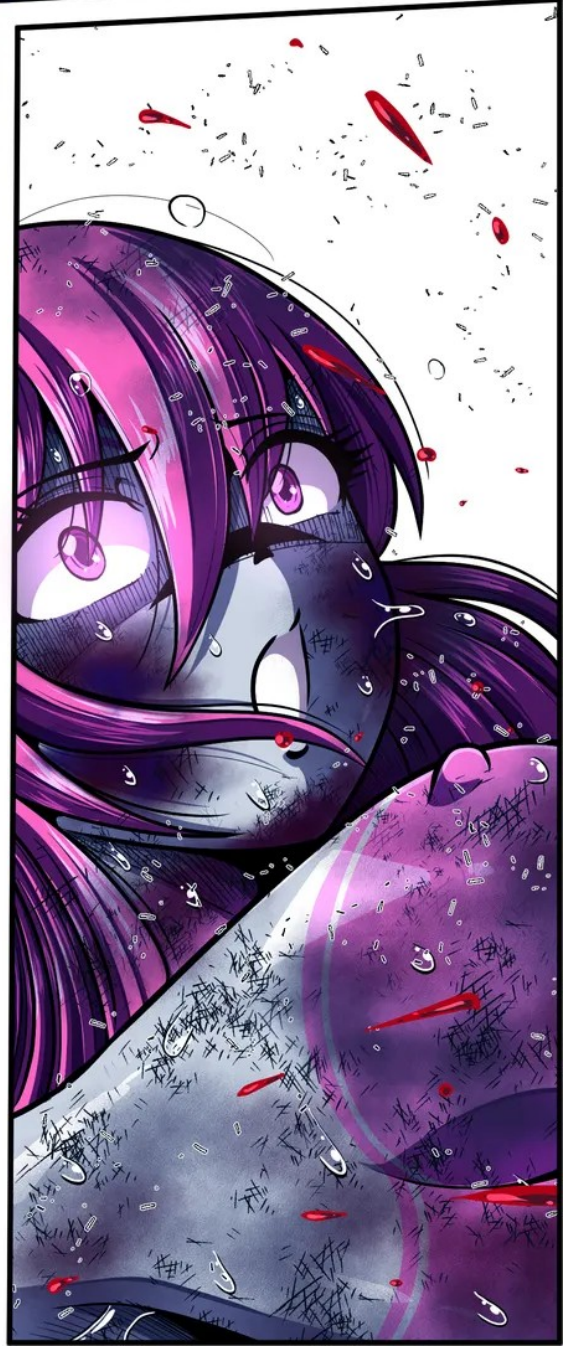
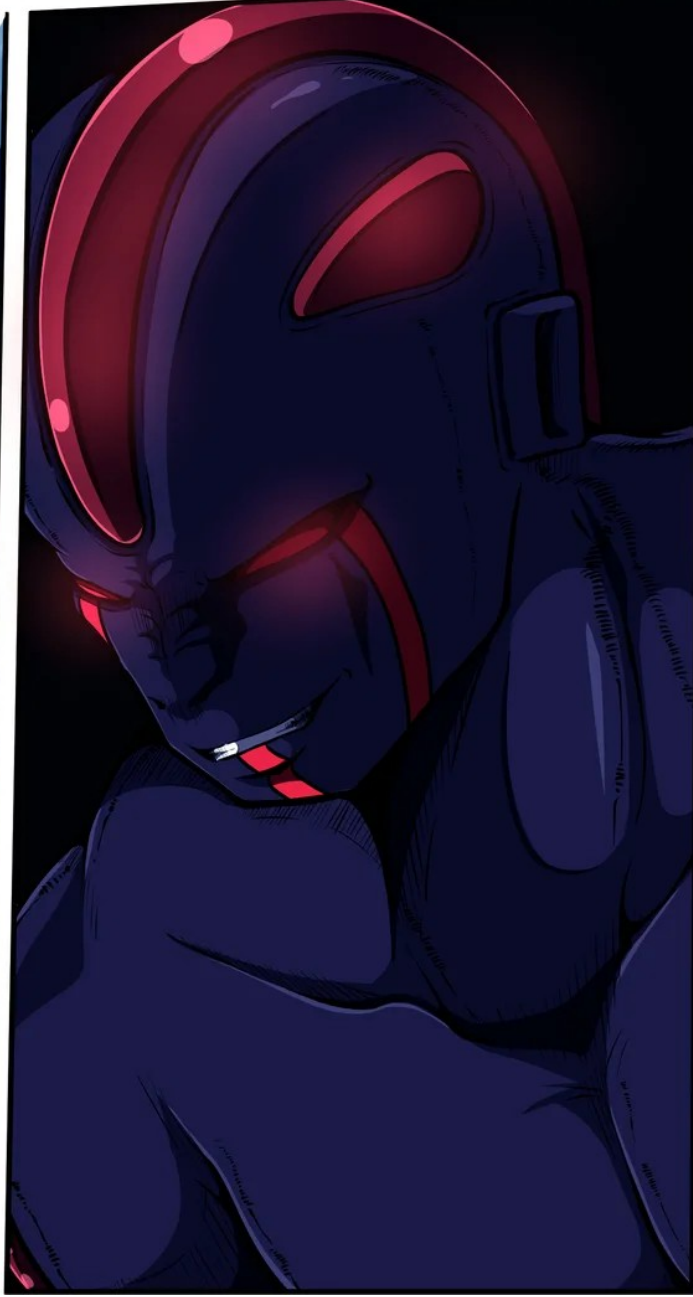
もう……
どうしようも
ない……!!

折られる
寸前で
あった……!!



凄まじい衝撃に
フィオラの心は
……
もはや……
完全に……



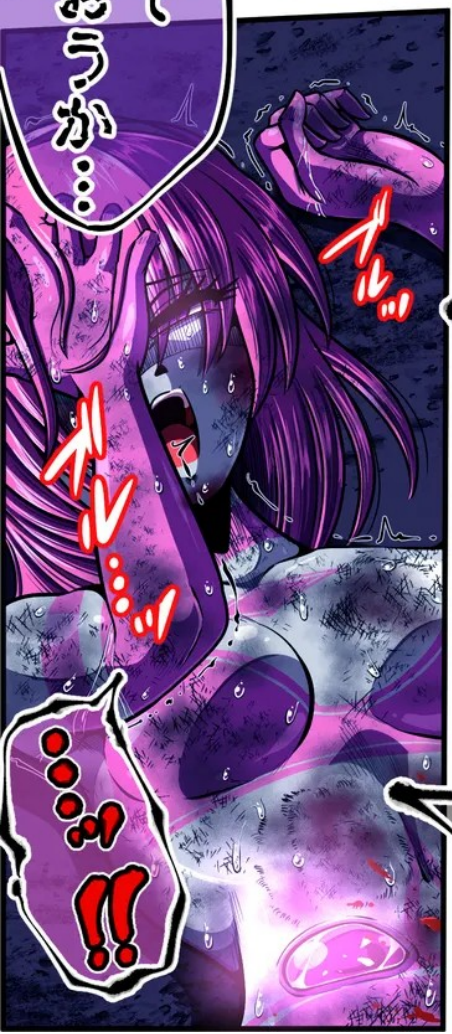




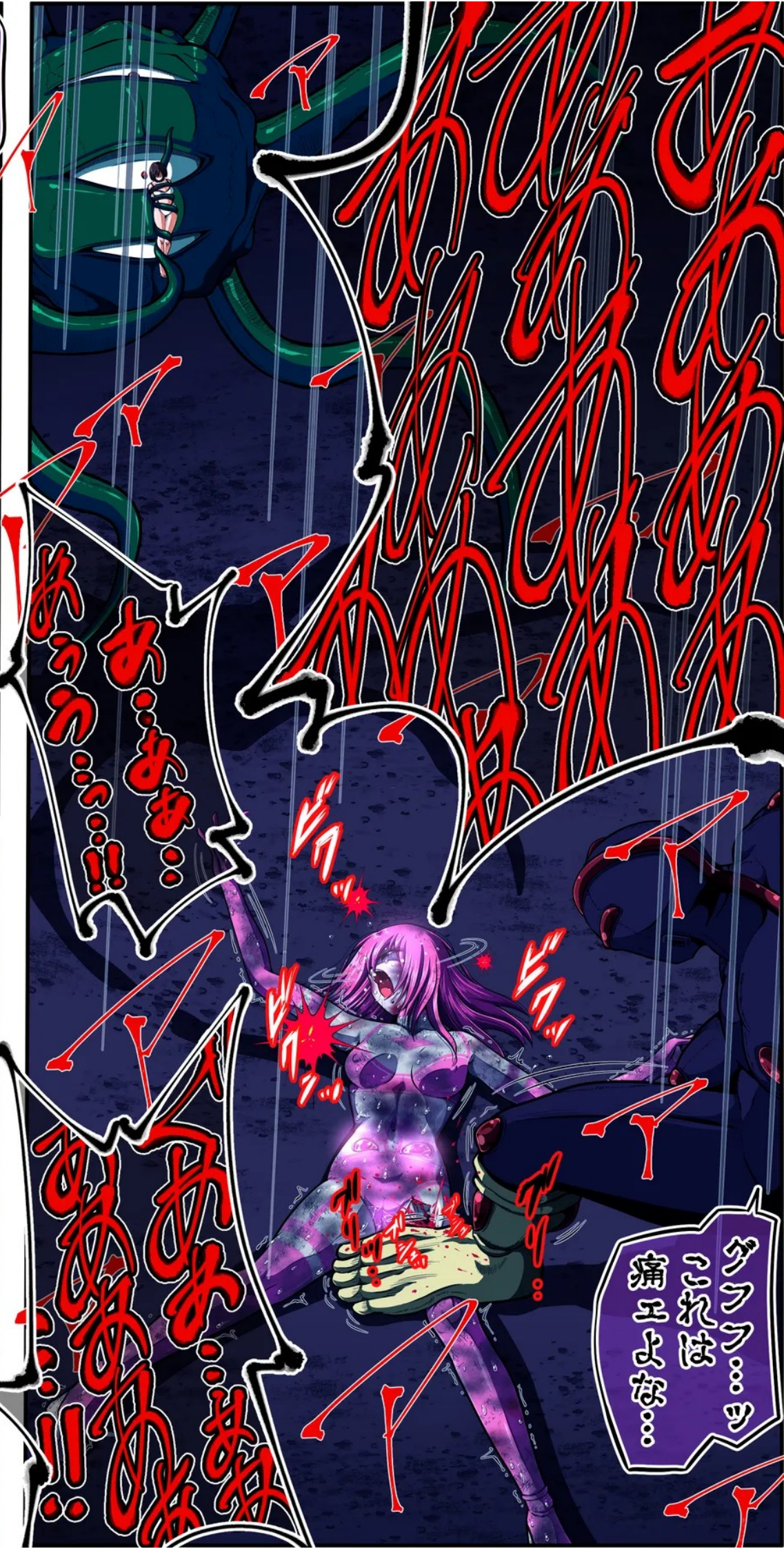
フン...
じやあ...

お前の半身
にもー...

鳴いて
もらおうか...



!!

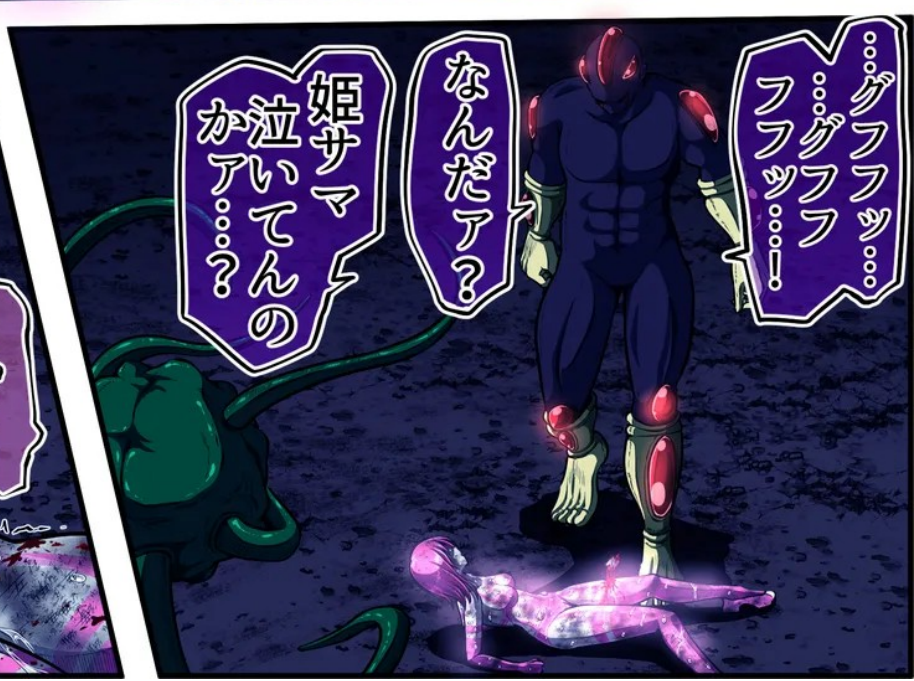
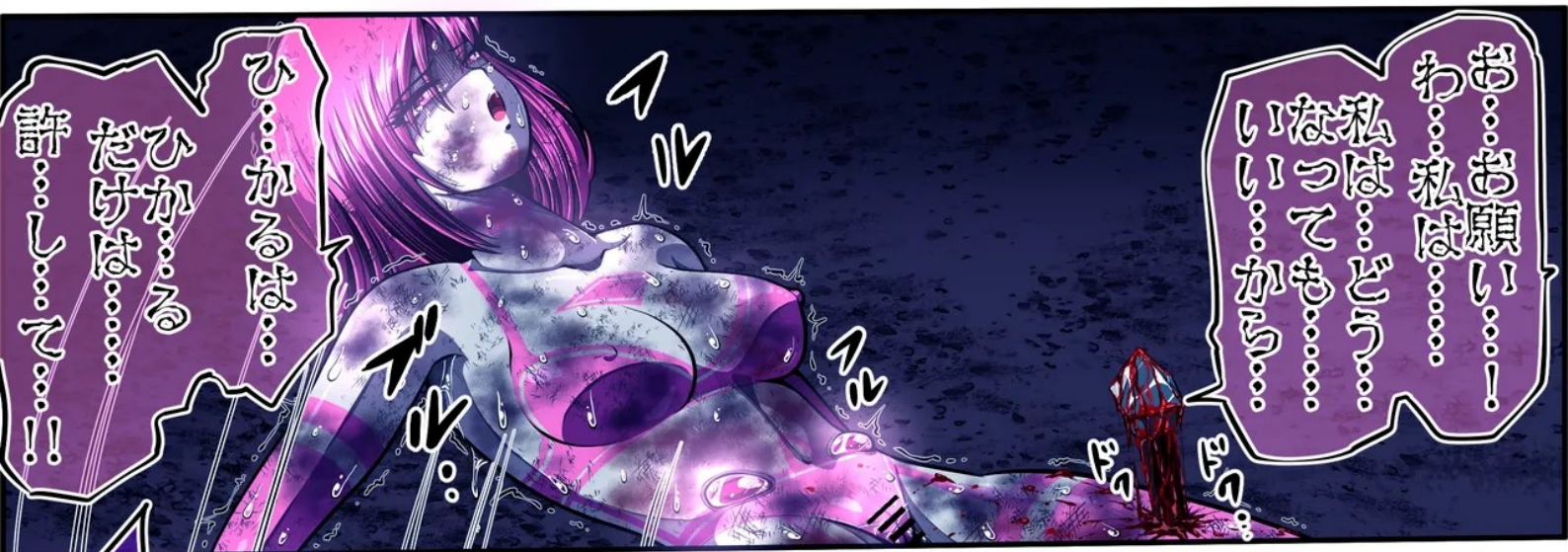


あ...あ...あ...
う...う...う...!!

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...!!

グン...ッ
これは
痛エよな...







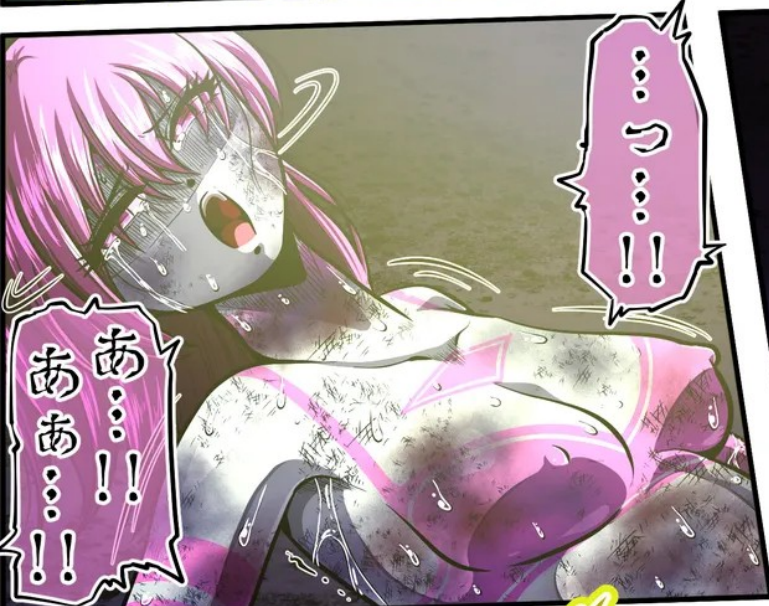
あつ…ぐ…

う…あ…あ…

ああ…あ…

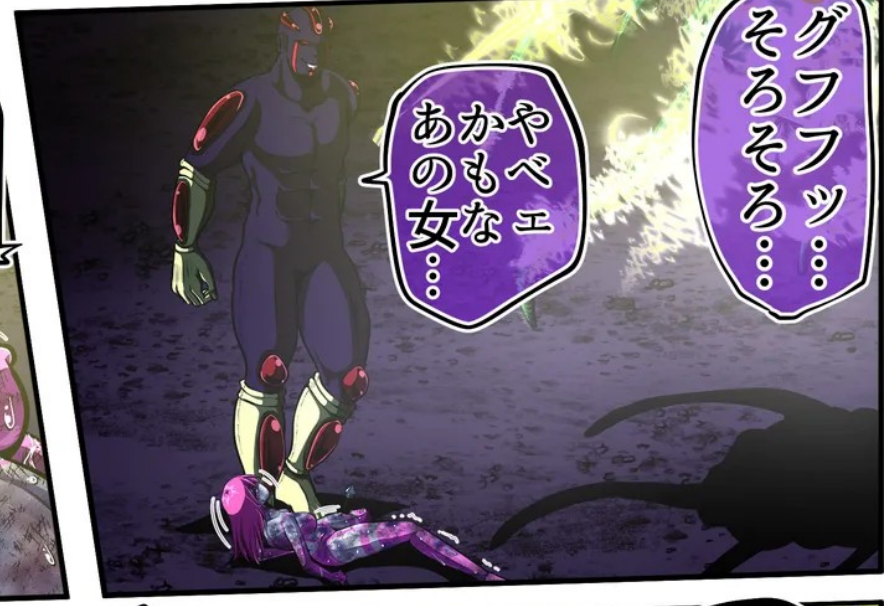
ぐあ…あ…

あは…あ…
ぐ…ウ…



…つ…!!

あ…!!
ああ…!!



グフフツ…
そろそろ…

やべエ
かもな
あの女…



死ぬぜ

あ…あ…

う…あ…

ヒメノ
ヒカルがよ



お…お願い…!!
お願いですっ!!

何を…

わ…私に…
何をして…
いいから…!!

やめて…!!
やめて…!!
下さいっ!!!



オイオイ
何だよ…

さっきまで
オレを許さな
だつて睨んでた
オ…?

そんなヤツに
言われても…
聞けねエなア…

グフフ…
フツフツ…
フツフツ…!!

う…

……ツ……!!



あ…

謝り…ますッ!
謝り…ますッ!!

申し…わけ…
ありま…せんっ!!
謝り…ますから…!!

お願い…です…!!
光…だけは…!!
!!!



な…な…!!
なんでも…!!

なんで…も
しますッ…!!
!!!

なんで…も…!!
言われた通り…に…
します…から…!!

だか…ら…お願い…!!
お願い…光だけは…!!
殺さ…ないでッ…!!

……ツ……!!

み…
惨め…でも
無様…でも…

なんだっ…て…
いい…!!

イル
光…さえ…!

光さえ…助か
れば……っ!!

お…お願い…

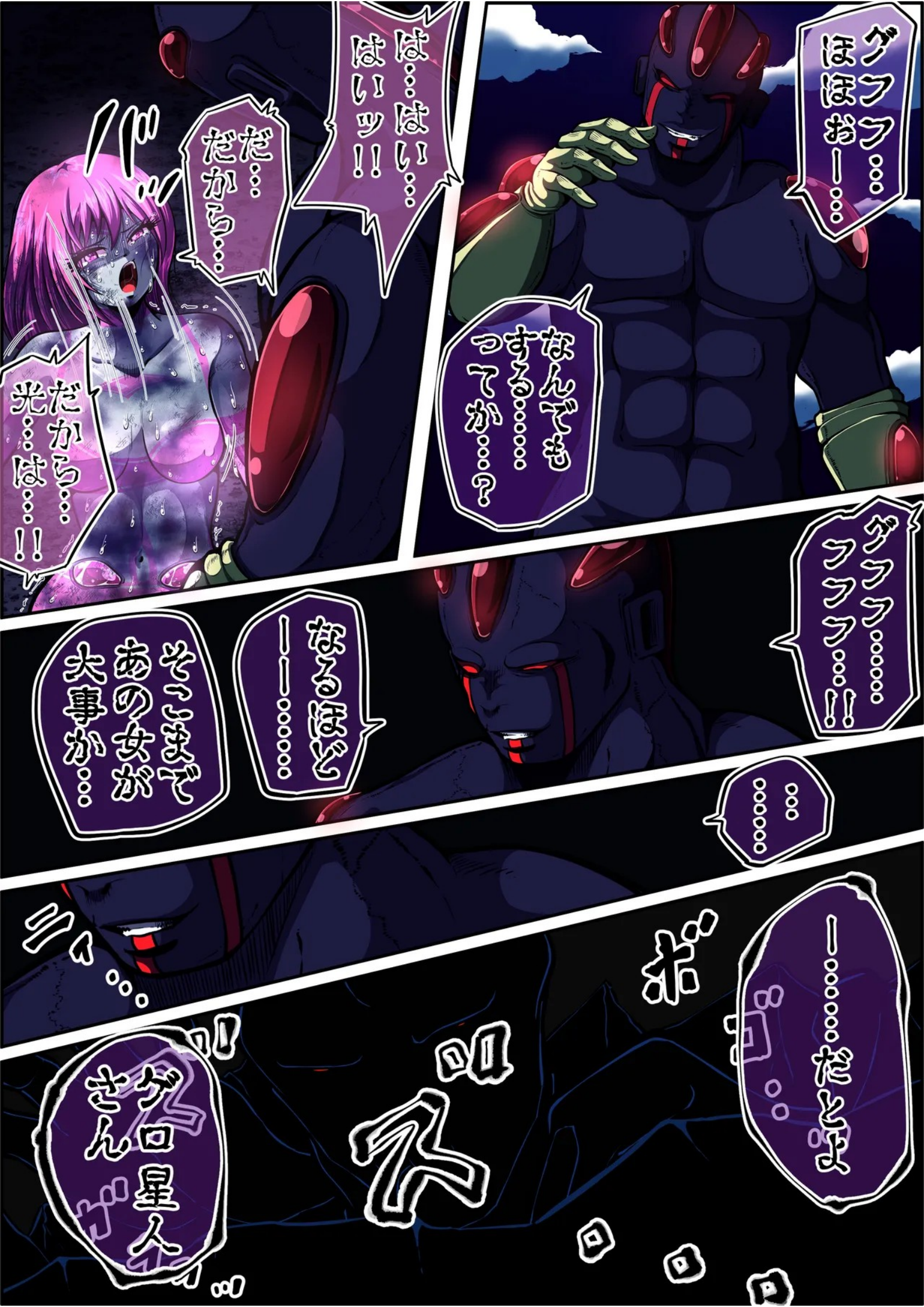
お願い!!

『そのかわり…』って
言って…!!

仕方ない…って
言って…!!

なん…でも…
するから……!!!





グフ...
ほほおー...

なんでも...
する...
っ...
っ...
っ...?

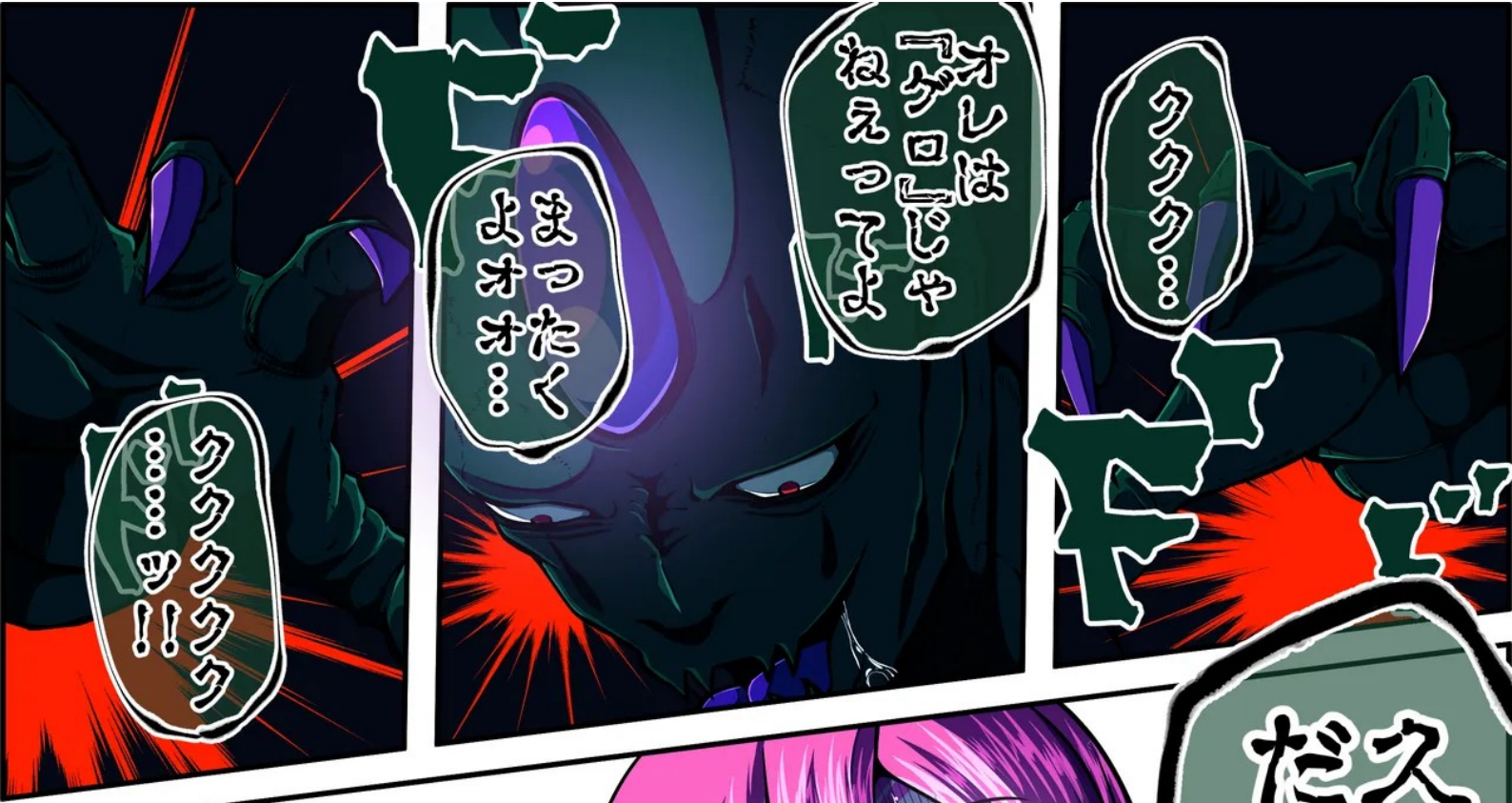
グフ...
フフ...!!

なるほど...
... ..

そ...
あの女が...
大事が...

ゲロさん

... ..
だ...
... ..



ククク...

「オレは
「メロ」じゃ
ねえってよ

まったく
よオオ...

クククク
...ッ!!

ド
ド



だえ
なし
ぶり

あ...!!

ド
ド

フイオ
皇女
サマ

ド
ド
ニ



グヒヒツ!!
ずいぶん
痛めつけ
られたな..
みてエだな..

もうボロボロ
じゃねエか
よオ...



そんな
ここのうえ
まだ...

敵が..
ふ..
なんて..
!!

.....



グフフツ
じゃあるー
変更だな

ヒメノは
少し休ませ
てやるよ

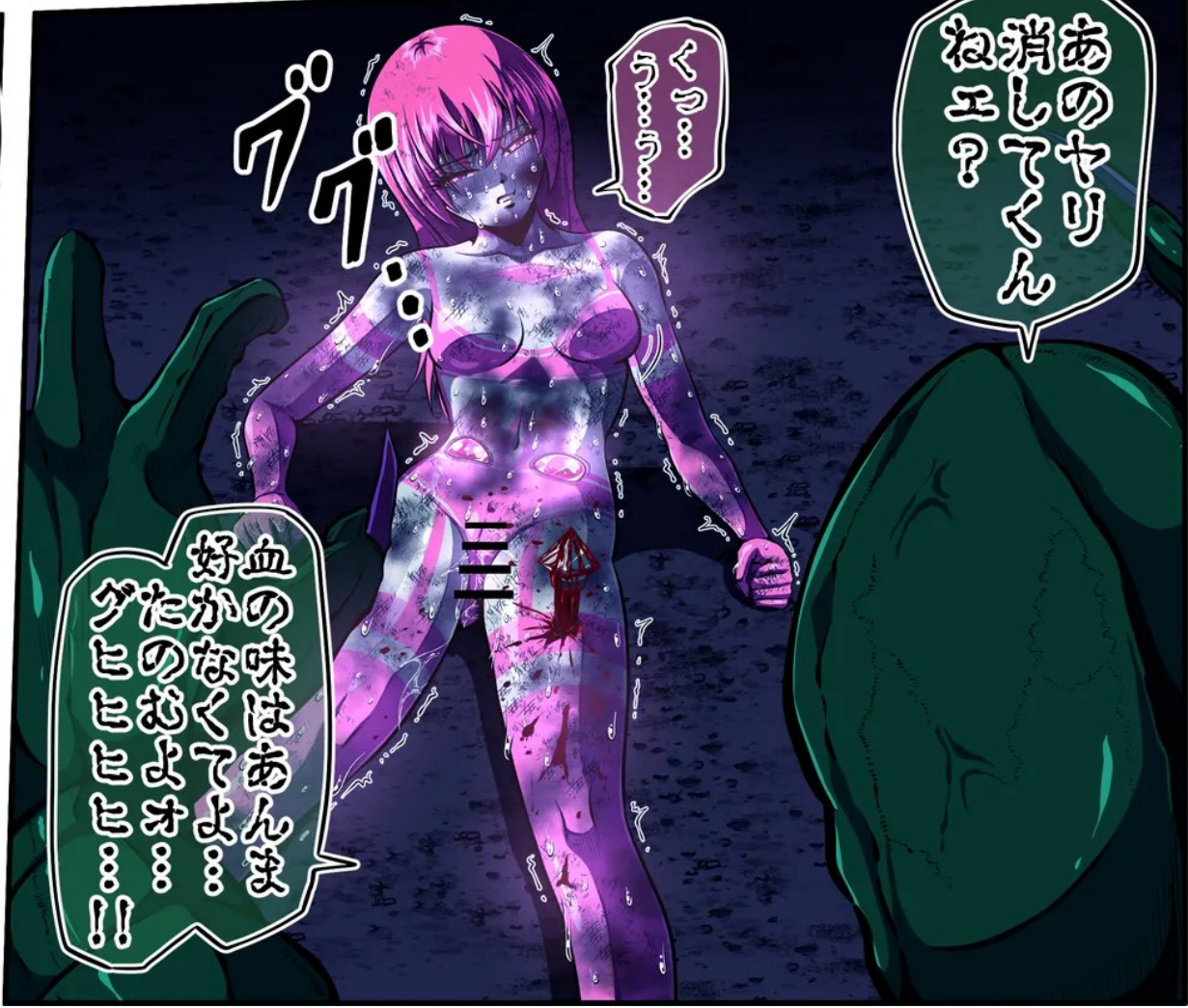
グヒヒツ!
さすが
お優しいねエ

あ、あと
ついでに
よー...



...フン
ま、いい
だろう

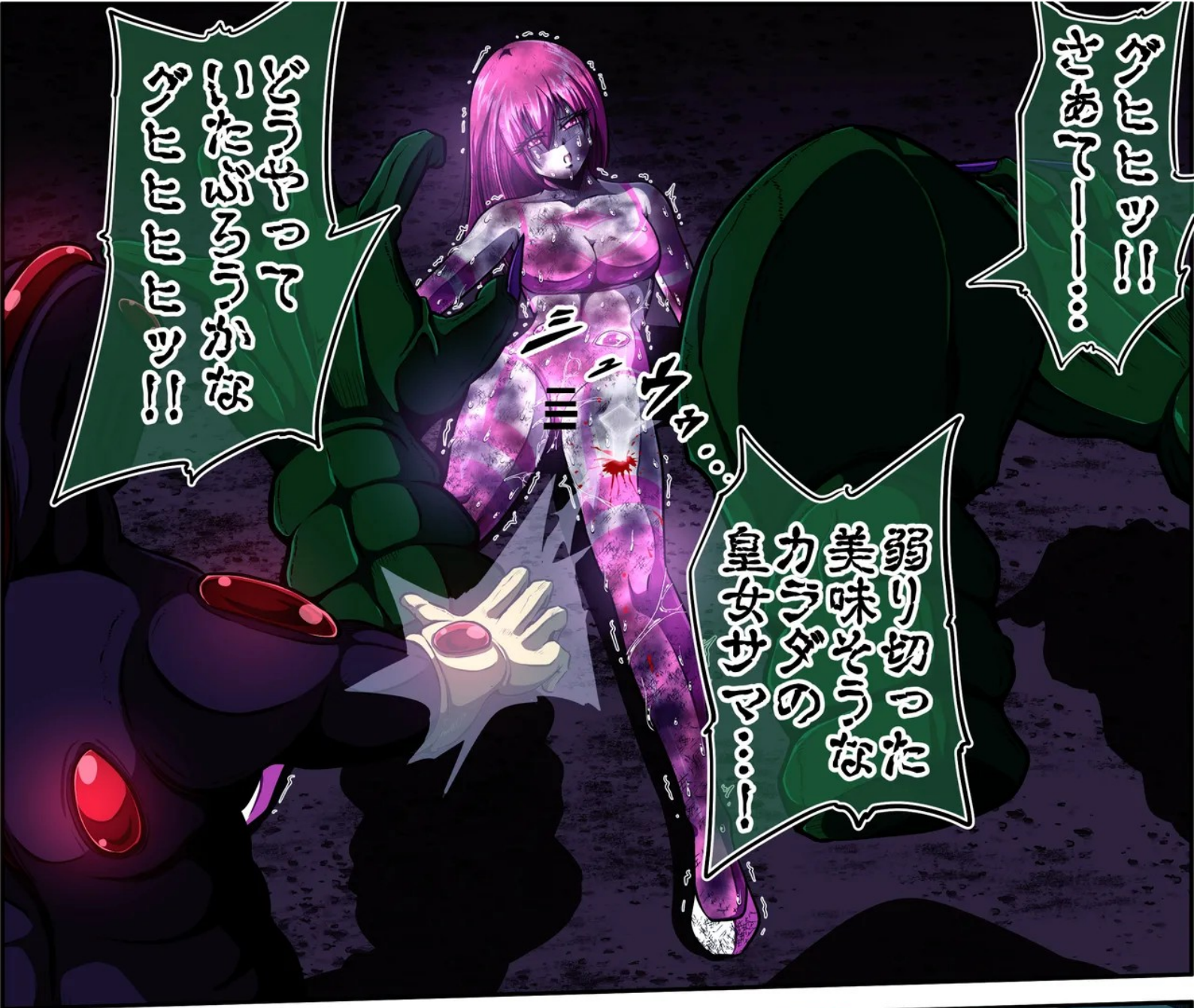
この女
もうまとも
動けない
だろうしな...!



あのヤリ
消してくん
ねエ?

くっ..
うっ..
うっ..

血の味はあんま
好かなくてよ..
たのおよオ..
グヒヒヒヒ!!



た…立て…!!
立つ…のよ…!!

やりは…
消えて…る…

だ痛…
つてみ…
!!!

光…の…!!
光…の…命が…

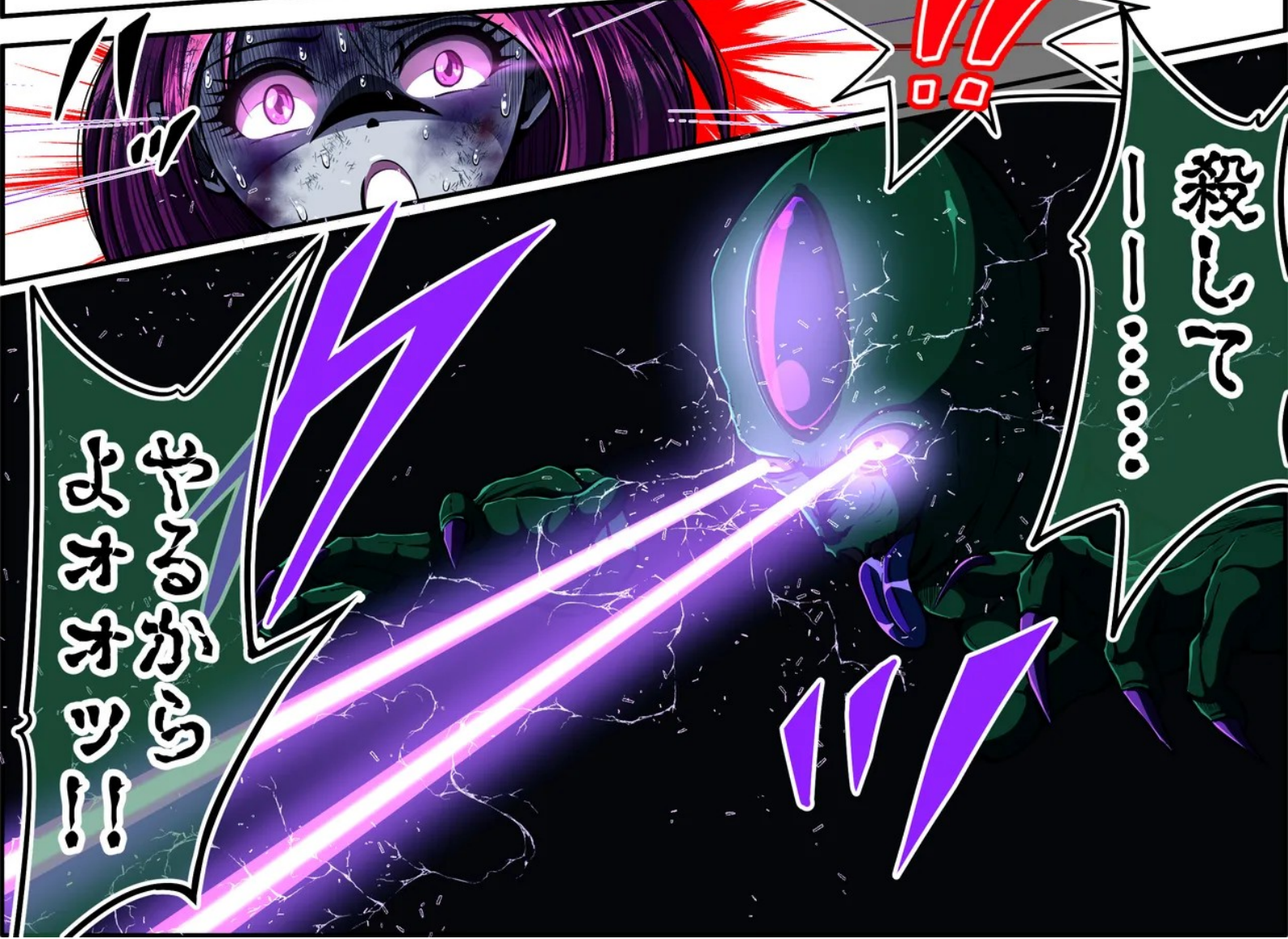
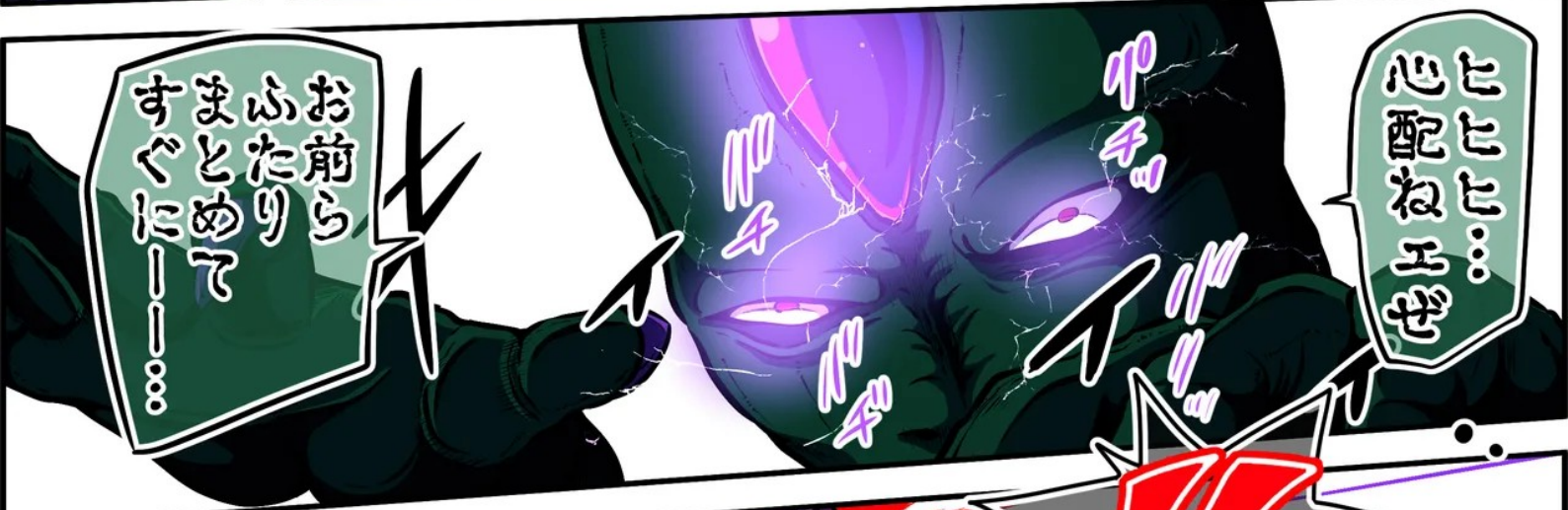
かか…
つ…て…
る…
んだ…
から…!!

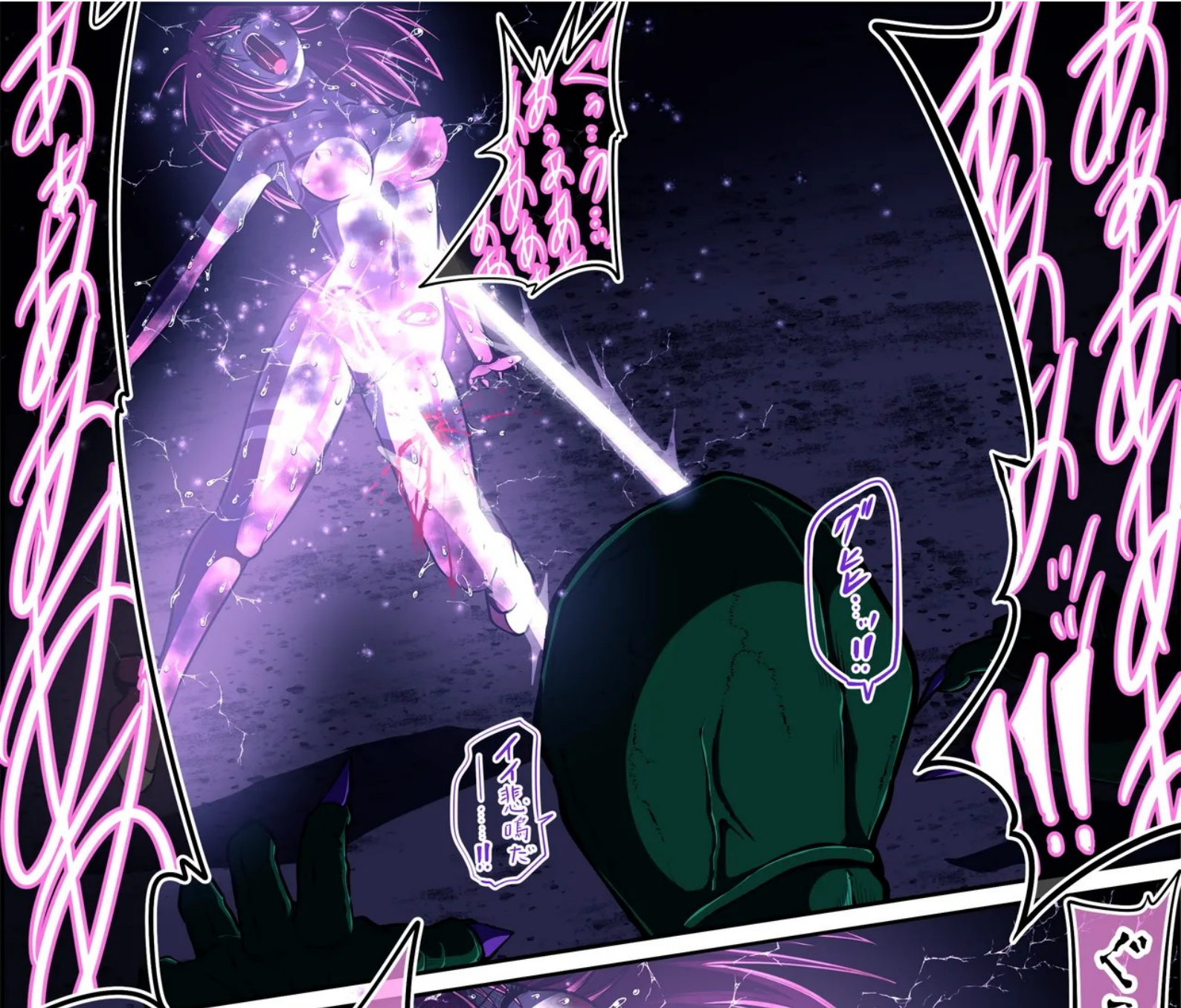
フィオラは
立ち上がる

もはや

この敵たちに
勝つことは
出来ない
とわかっていても

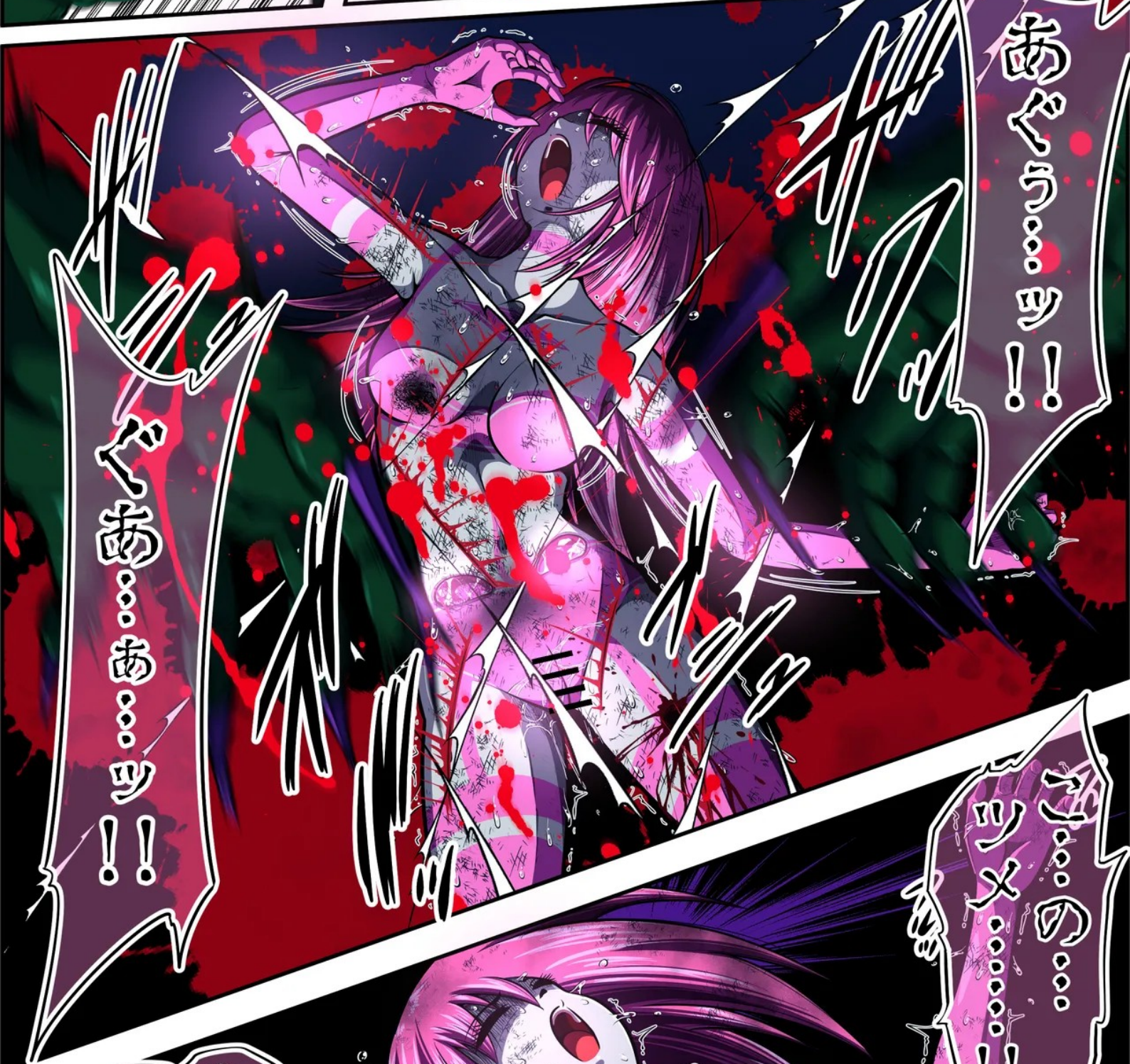
光を助ける
ために…!!



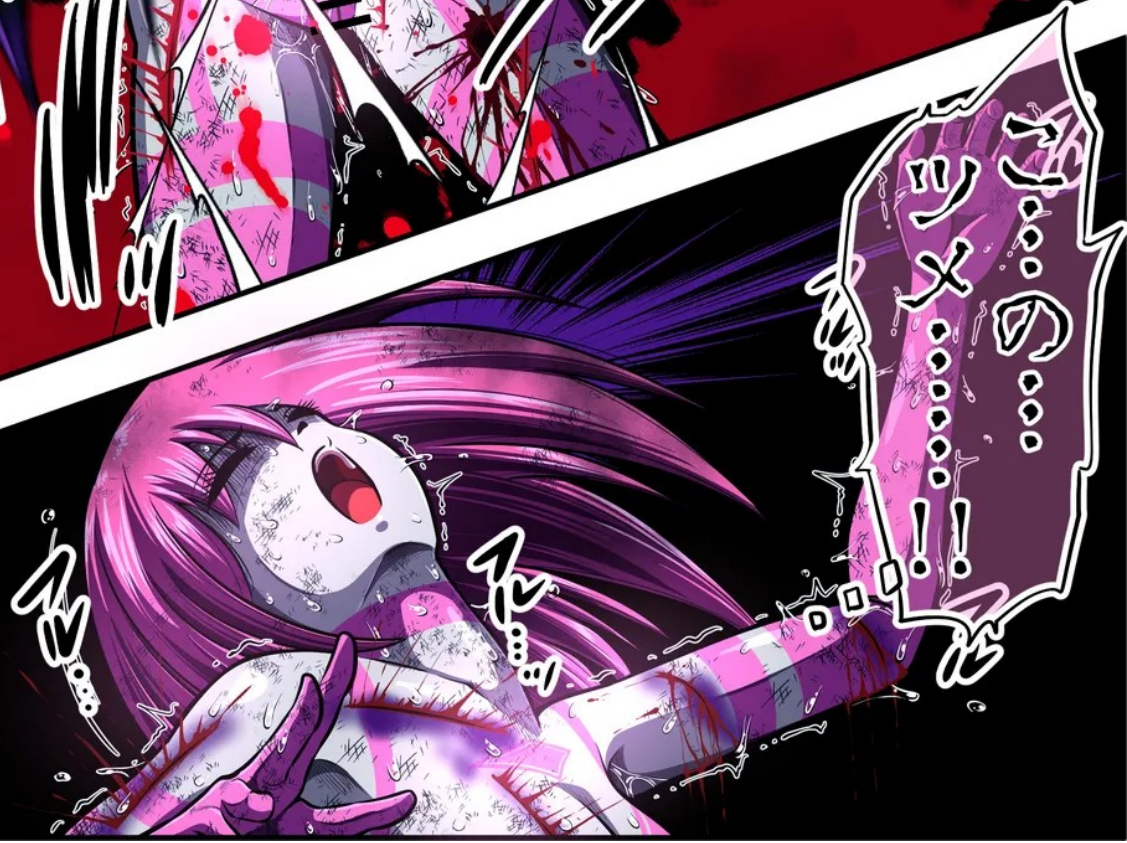


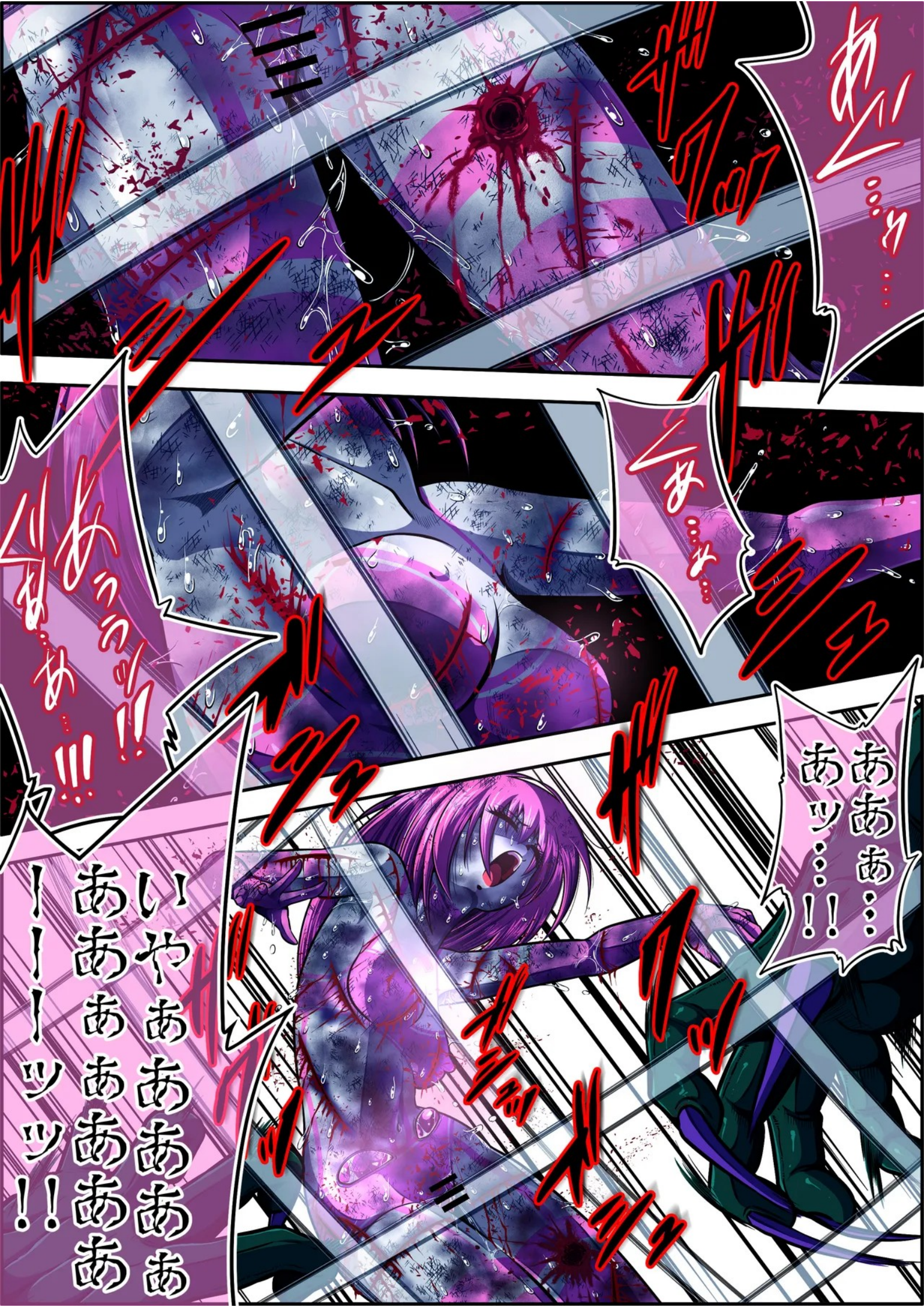
あああああああ
————ツツ!!

やうう...ツ!!



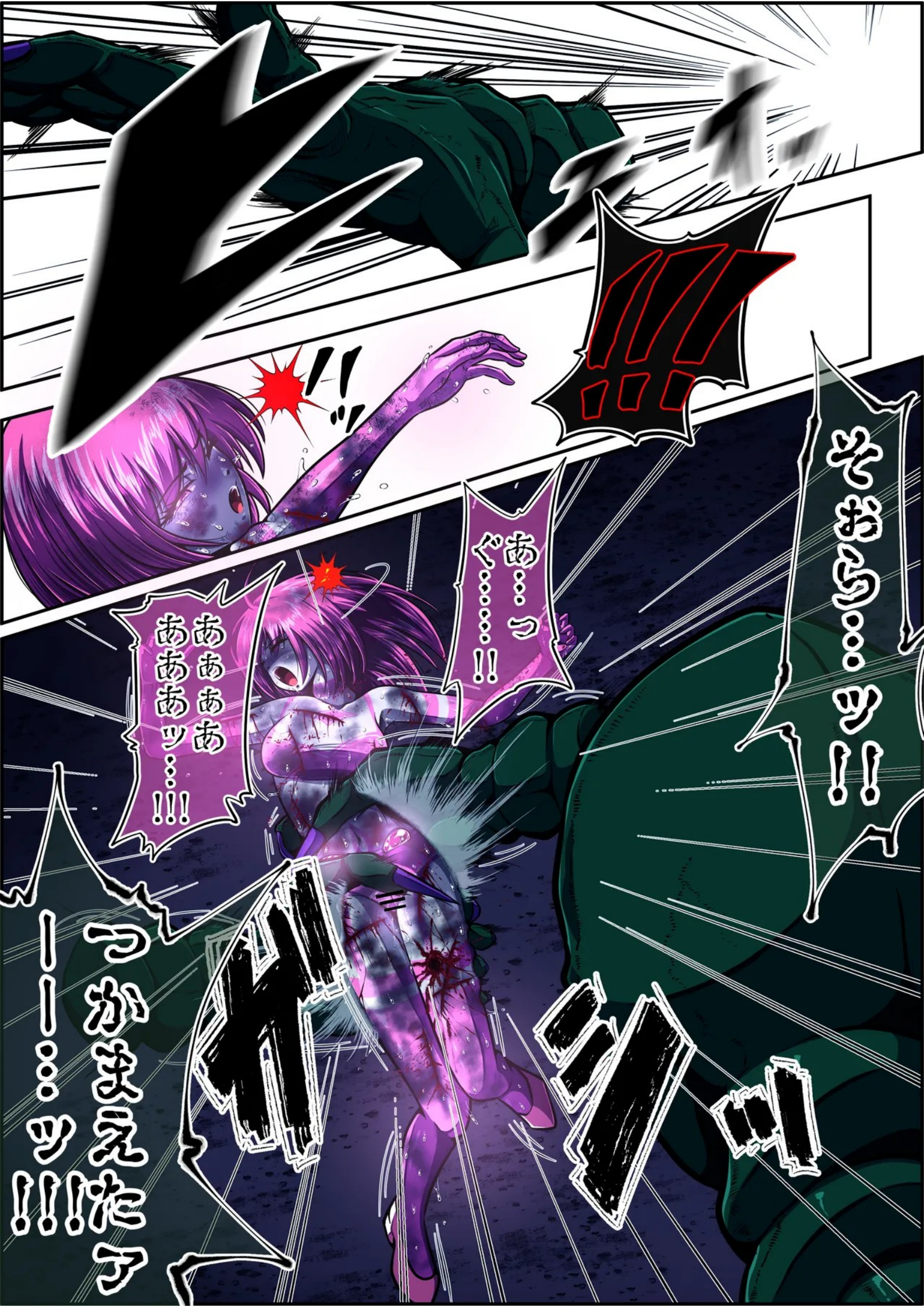
毒...が...
た...し...
!!!





あああ
あッ...!!

いあああああ
あああああ
ッッ!!



おおおっ!!

あっ
ぐ……!!

あああ
あああッ……!!!

つかえました
——ッ!!!



いっかのときは
ジャマが入った
けどオオオ...

ニヤ...

ニヤ...



今回は
.....

あ..
ああツ...!?

あああああああ
.....ツツツ!!!



アハハハ...
ヤアヤア...
ああああ...!!

シロシロと
苦しめてやる
からな...!!

あああああああ
.....ツツツ!!!

助けは
来ぬ工…!!

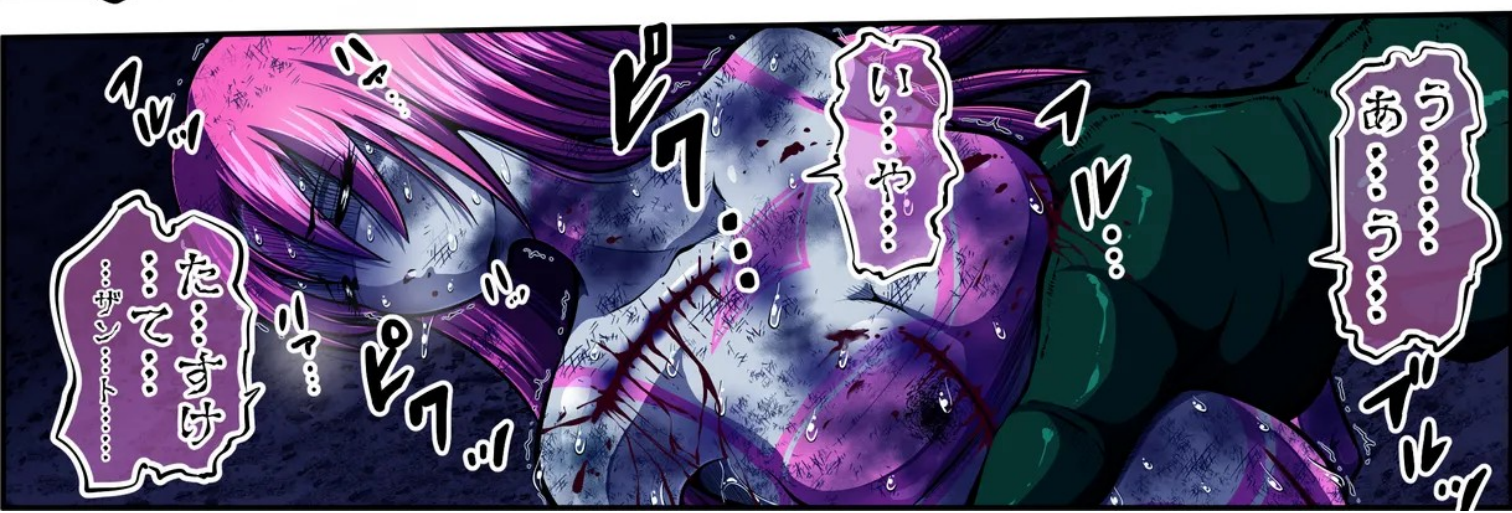
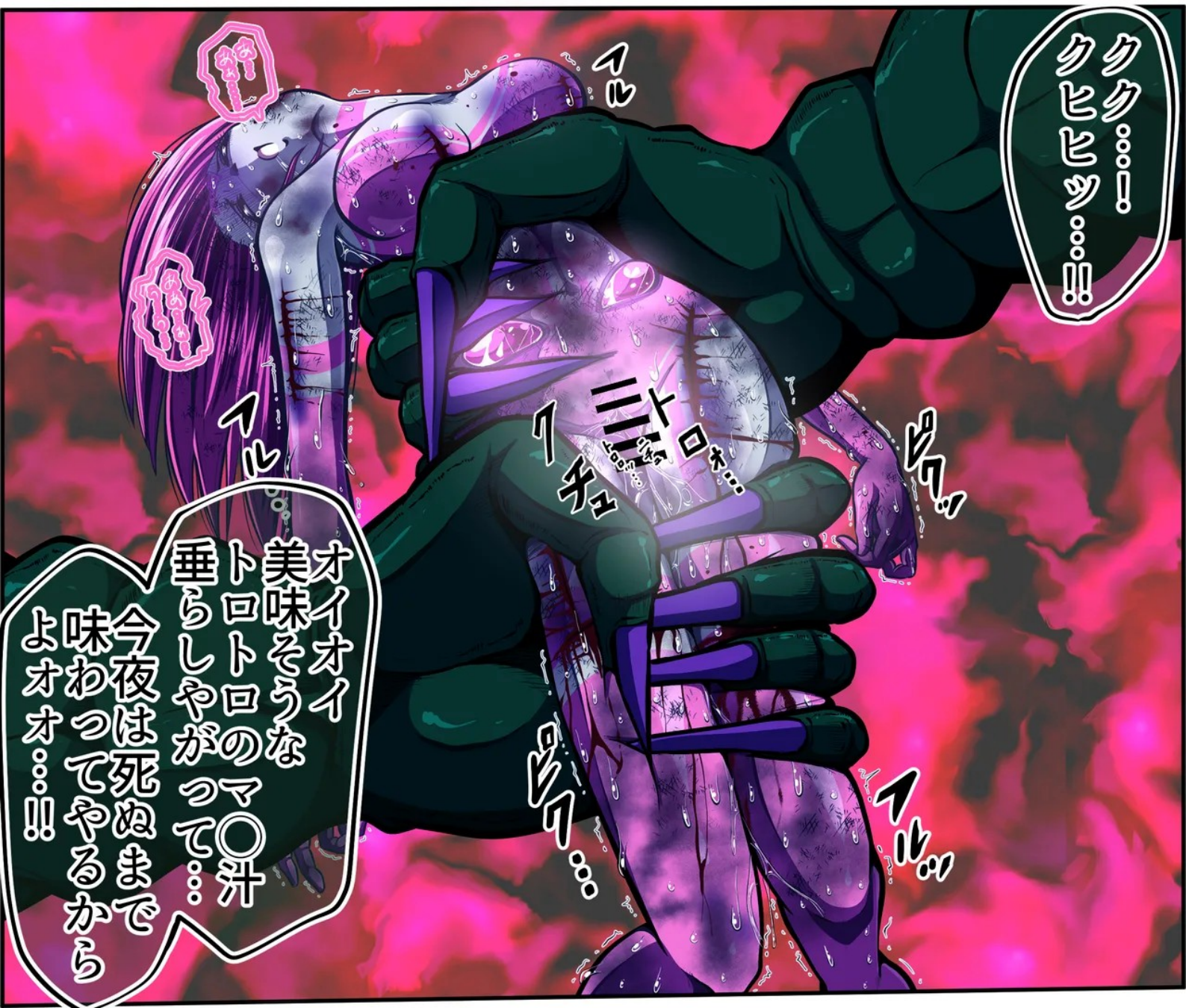
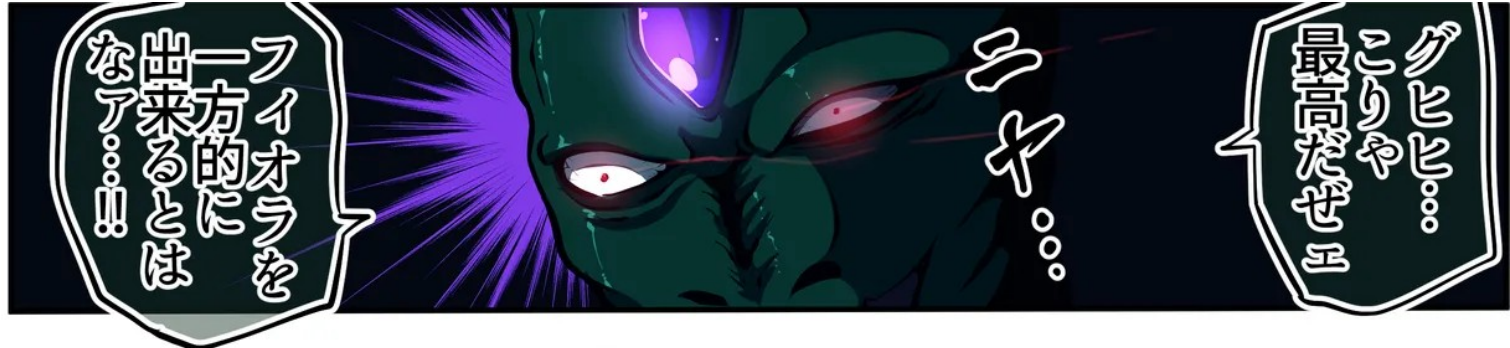
せいぜい
苦しんで
死ねエツ……!!

ど…毒が

今……これに

うわっ！
あーあーあーあー

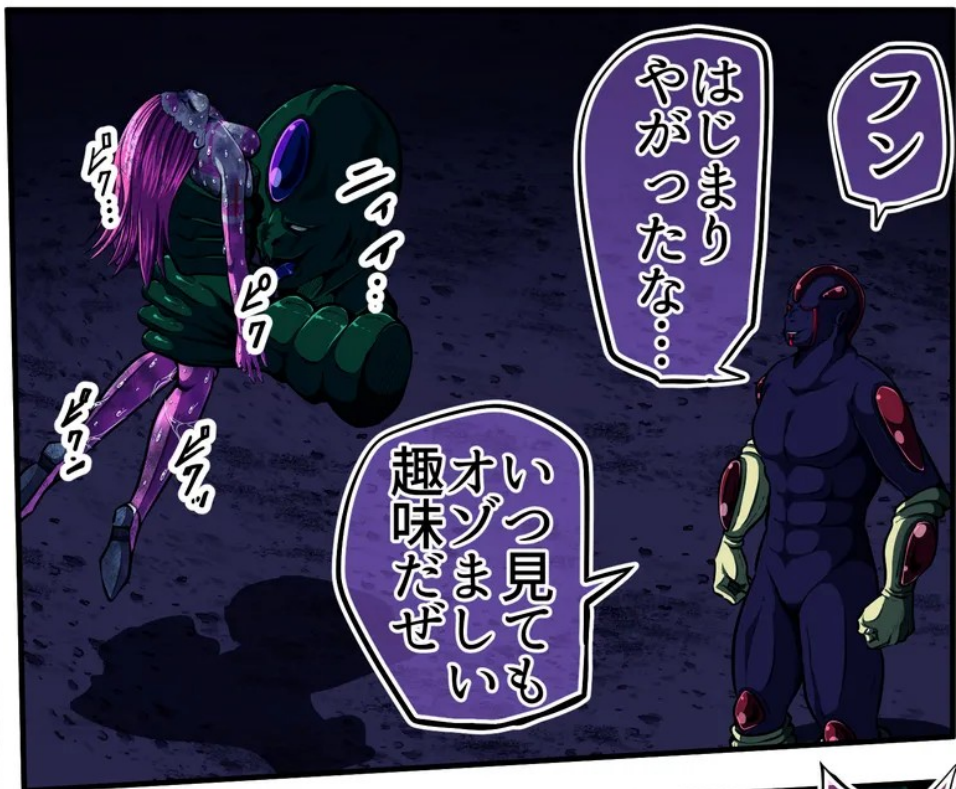
骨...まで...!!





まったく…
テメエで血の味は
好かねエとか
言っときながらな

散々斬りつけ
やがって…
血まみれ
じゃねエか
バカ野郎がよオ…



はじまり
やがったな…

フン

いつ見ても
オゾましいも
趣味だぜ



あ…あ…!!
く…ああ…!!!

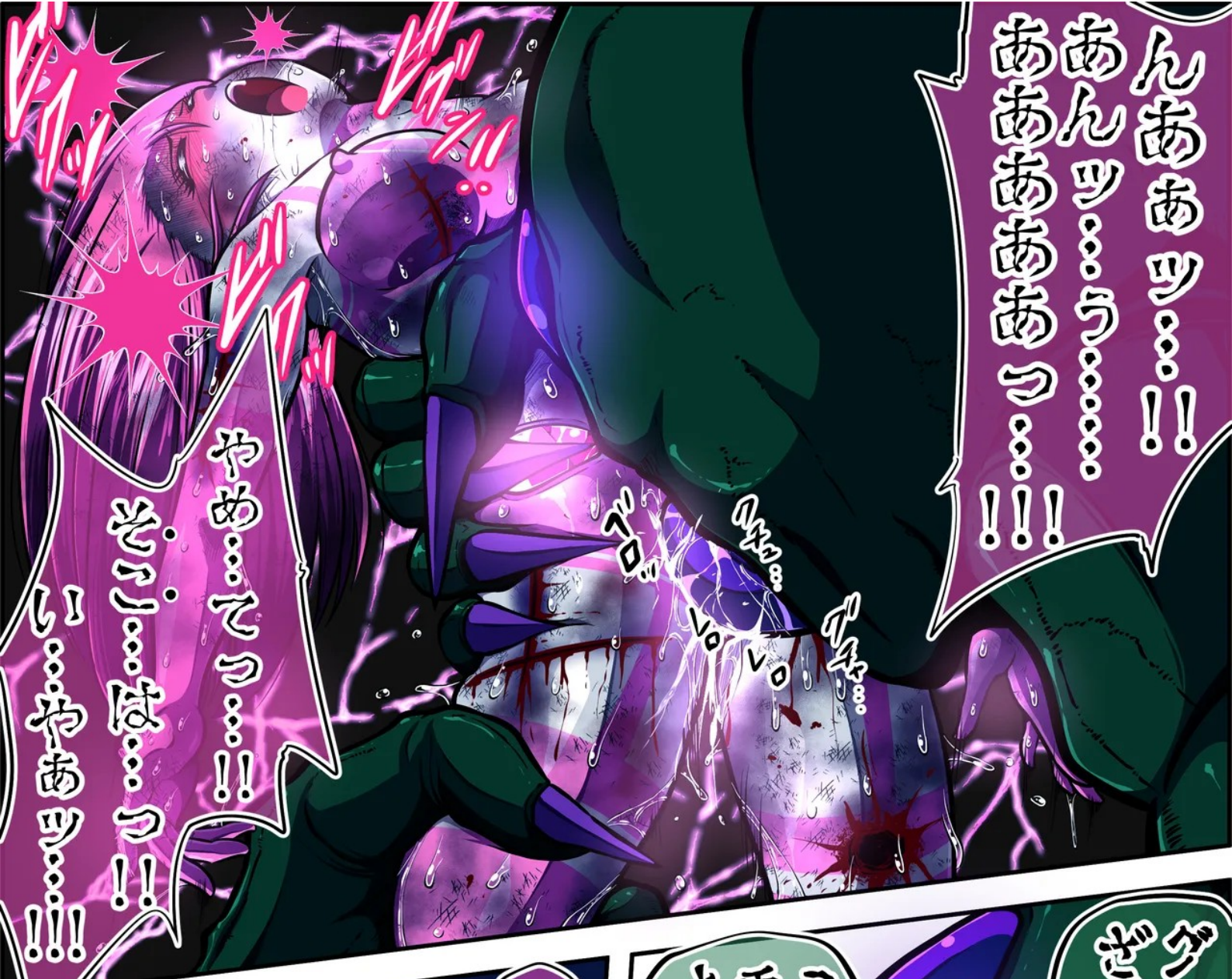
あア…!!!
や…めつ…!!!

うめ…!!
んめエ…!!



う…うめエ…!!
今まで…とは
——…

全…然…!!
すっげえ…
うめエよ…!!
うますぎだ
ろオオ…!!!

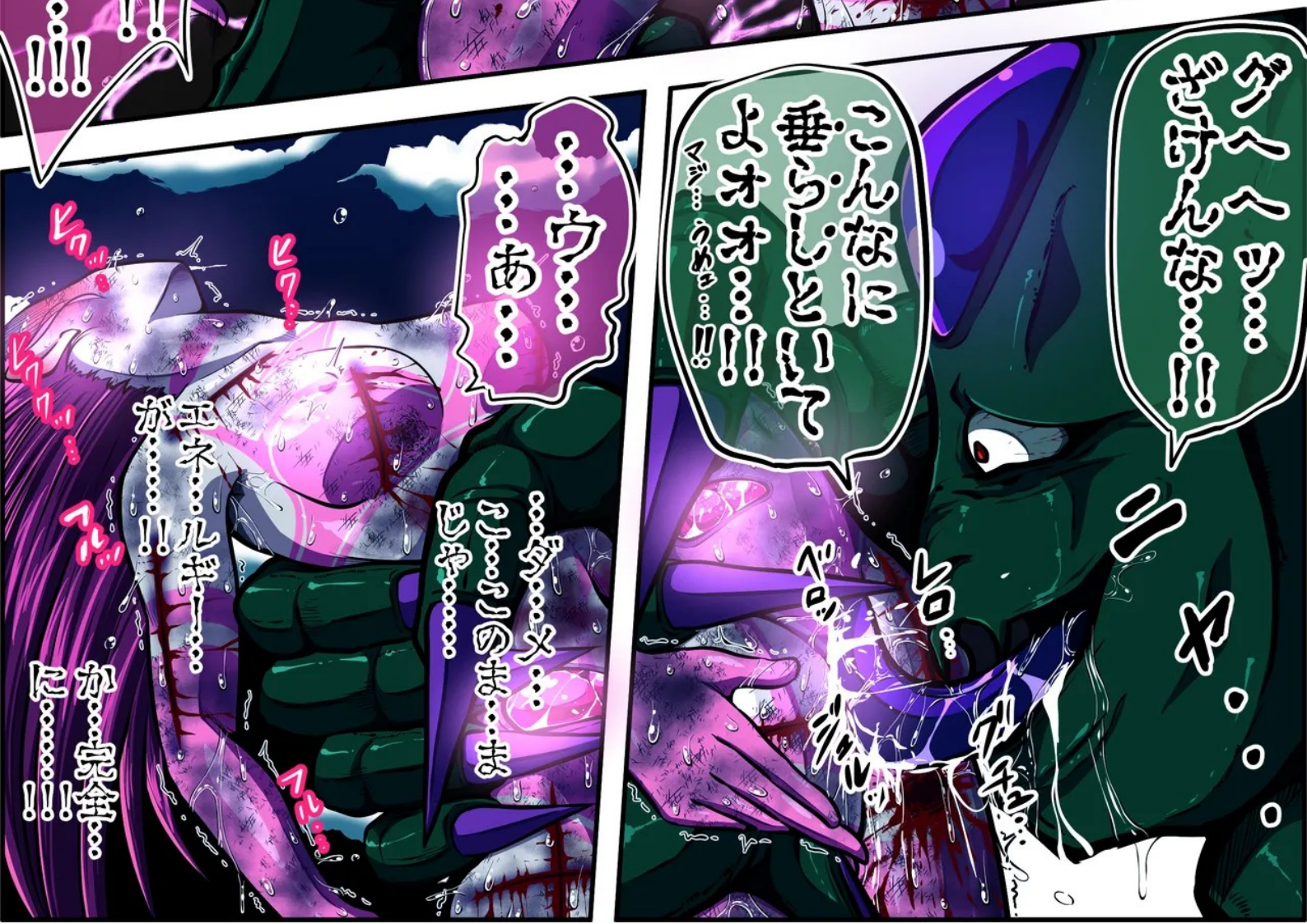


んああッ…!!
あんツ…う…
ああああッ…!!!

やめ…てっ…!!!

そっ…は…ッ!!!

い…やあッ…!!!



グへへッ…
ぜけんな…!!

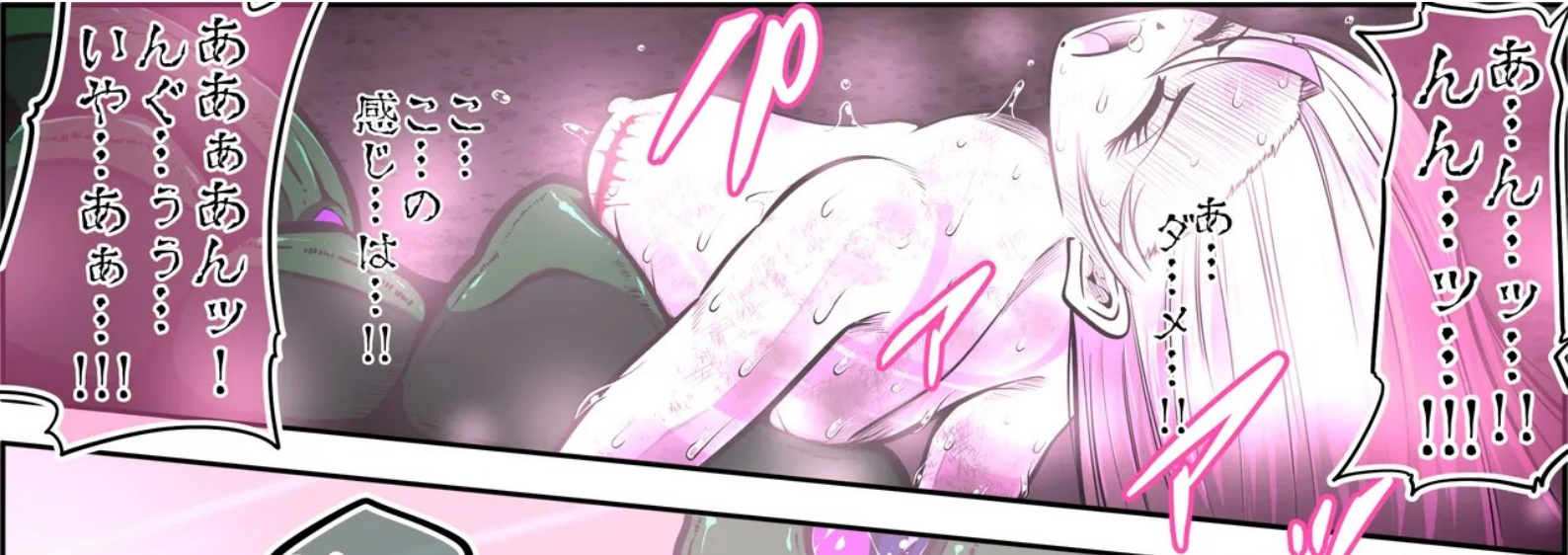
こんなに
垂らしといて
よオオ…!!!
ん…ん…!!!

…ウ…
…あ…

………
………
………

エネ…ルギ…
が…!!!

か…完全…
に…!!!



あ…ん…ツ…!!!
ん…ツ…!!!

あ…
ダメ…!!!

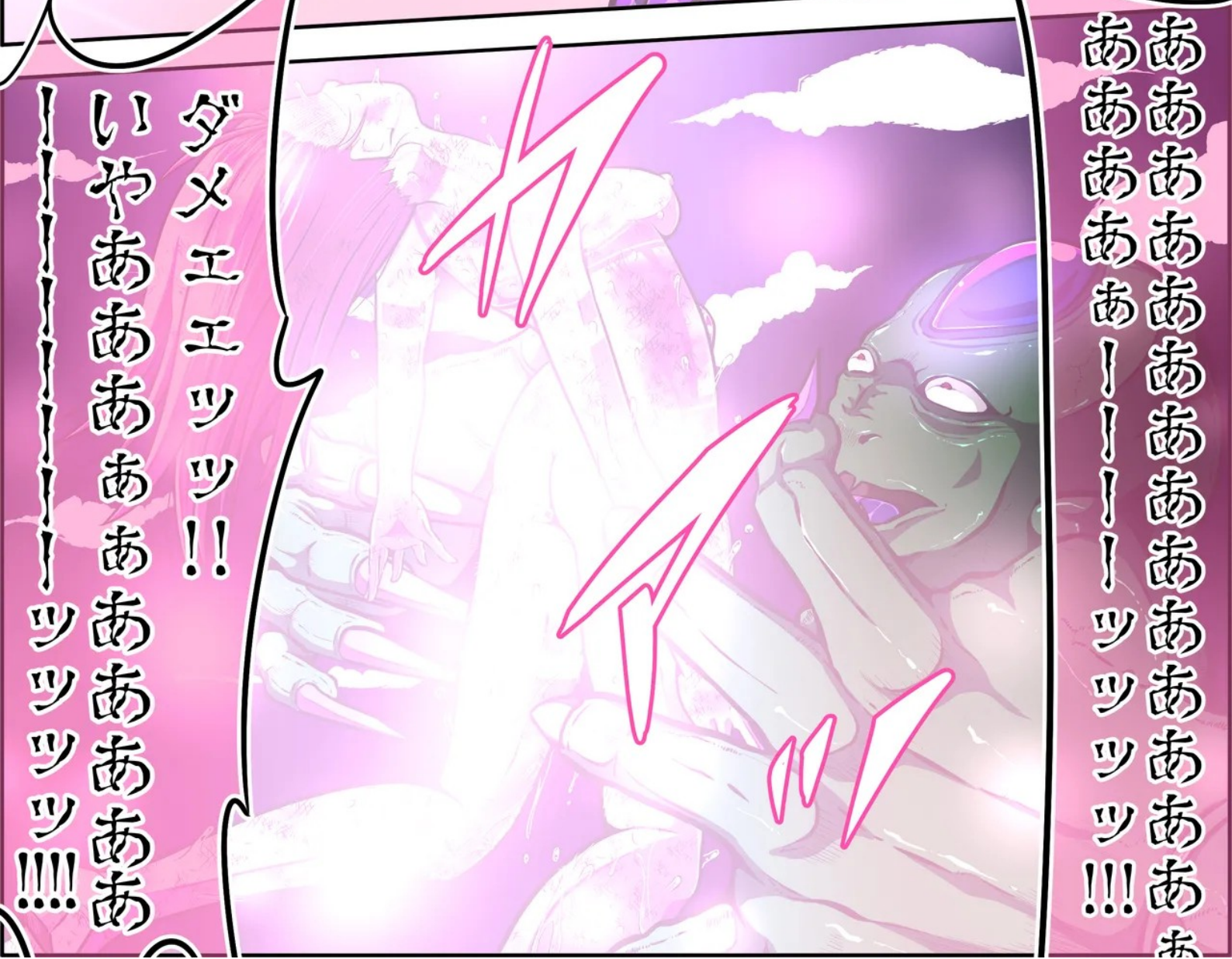
こ…
こ…の
感じ…は…!!

ああああんツ!
んぐ…うう…
いや…ああ…!!!



…!!?
なツ…!!
なんだア?

この光…
はツ…!!?



ああああああああああああああああああああ
あああああーーーツツツツ!!!

ダメエエツツ!!

いやああああああああああああああああああ

ーーーーツツツツ!!!!

あ…

ダメ…だ…

ク

ク

ク

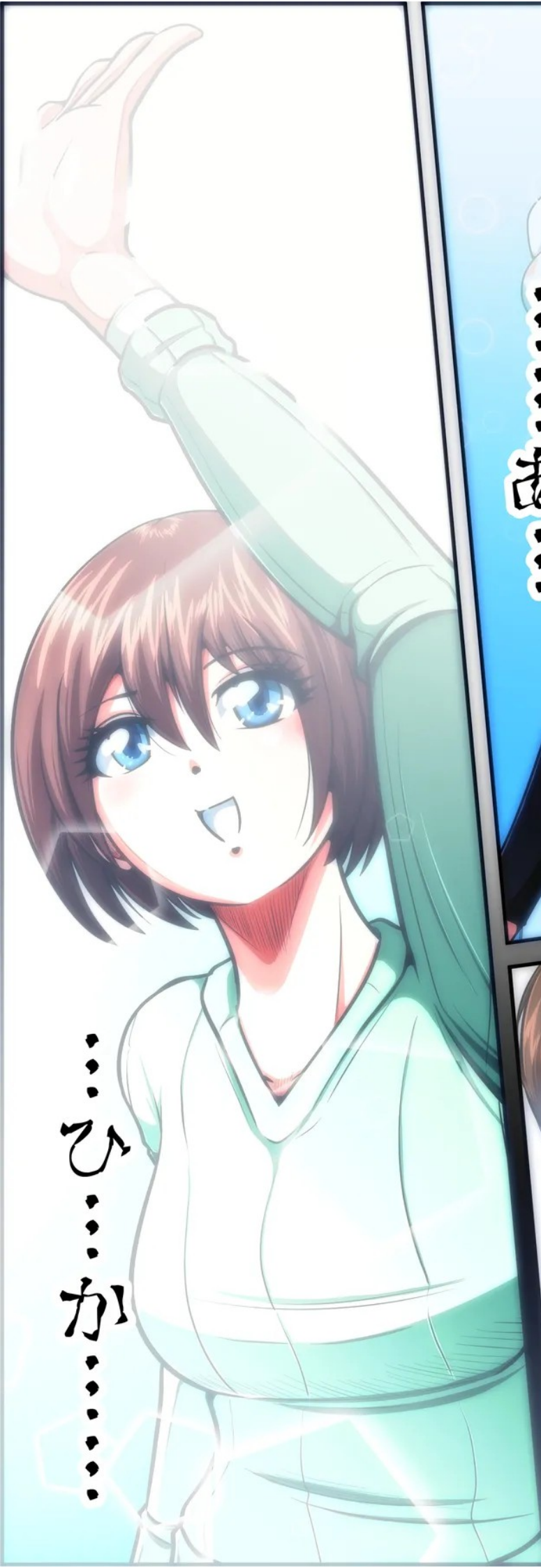
こ…れ…

も…う…

わた…し…

こわれ…

…て…

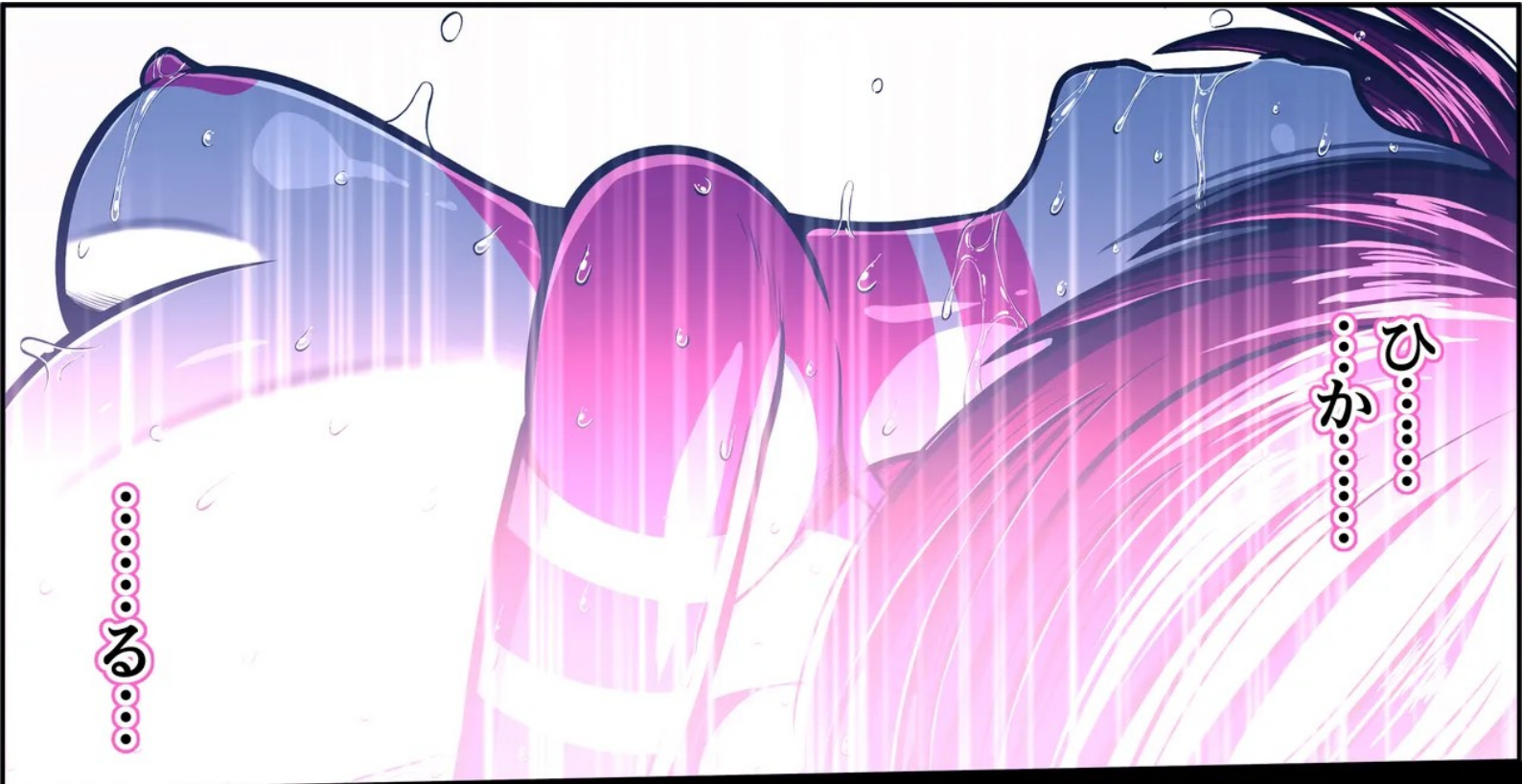


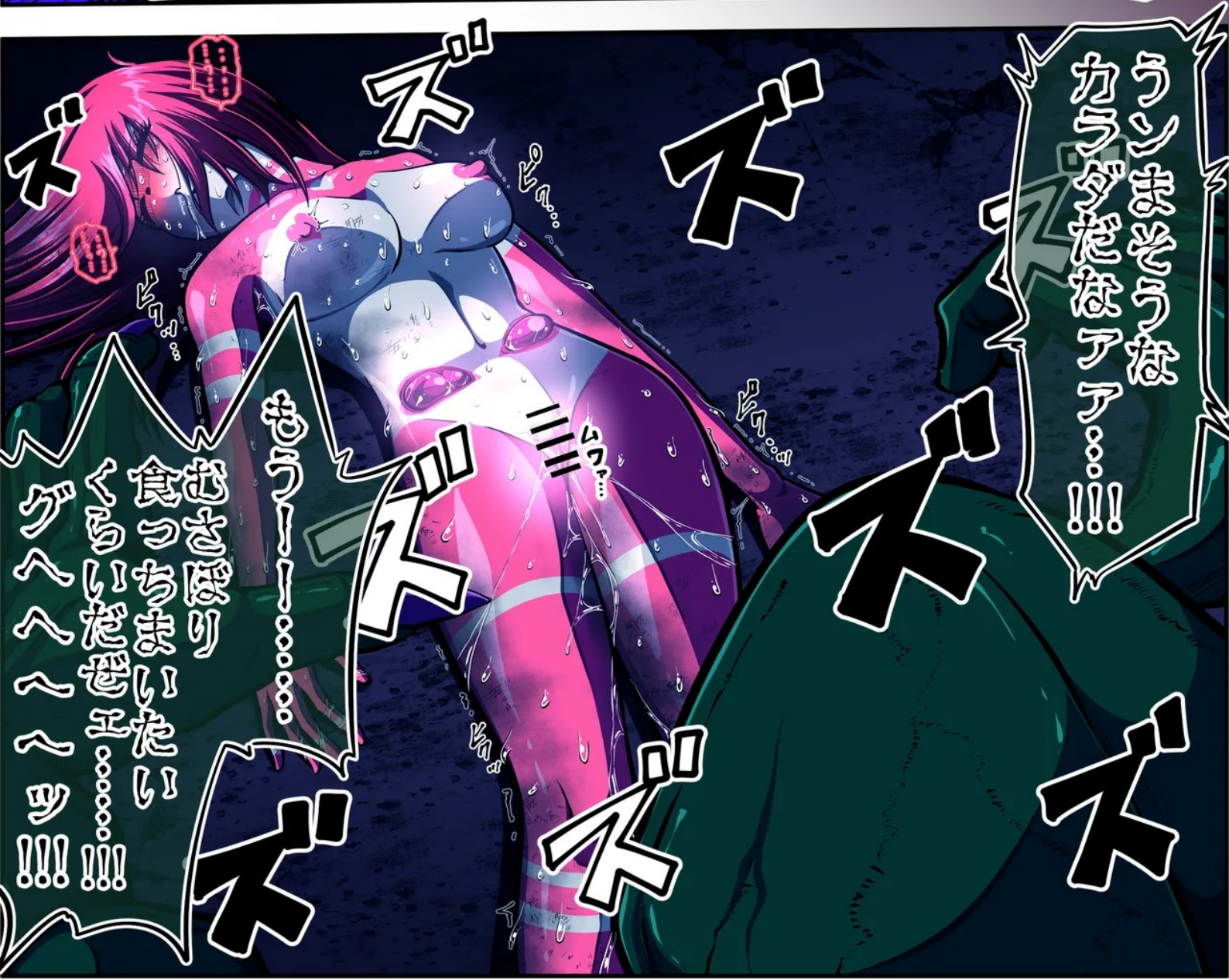
……ひ……か……



……あ……

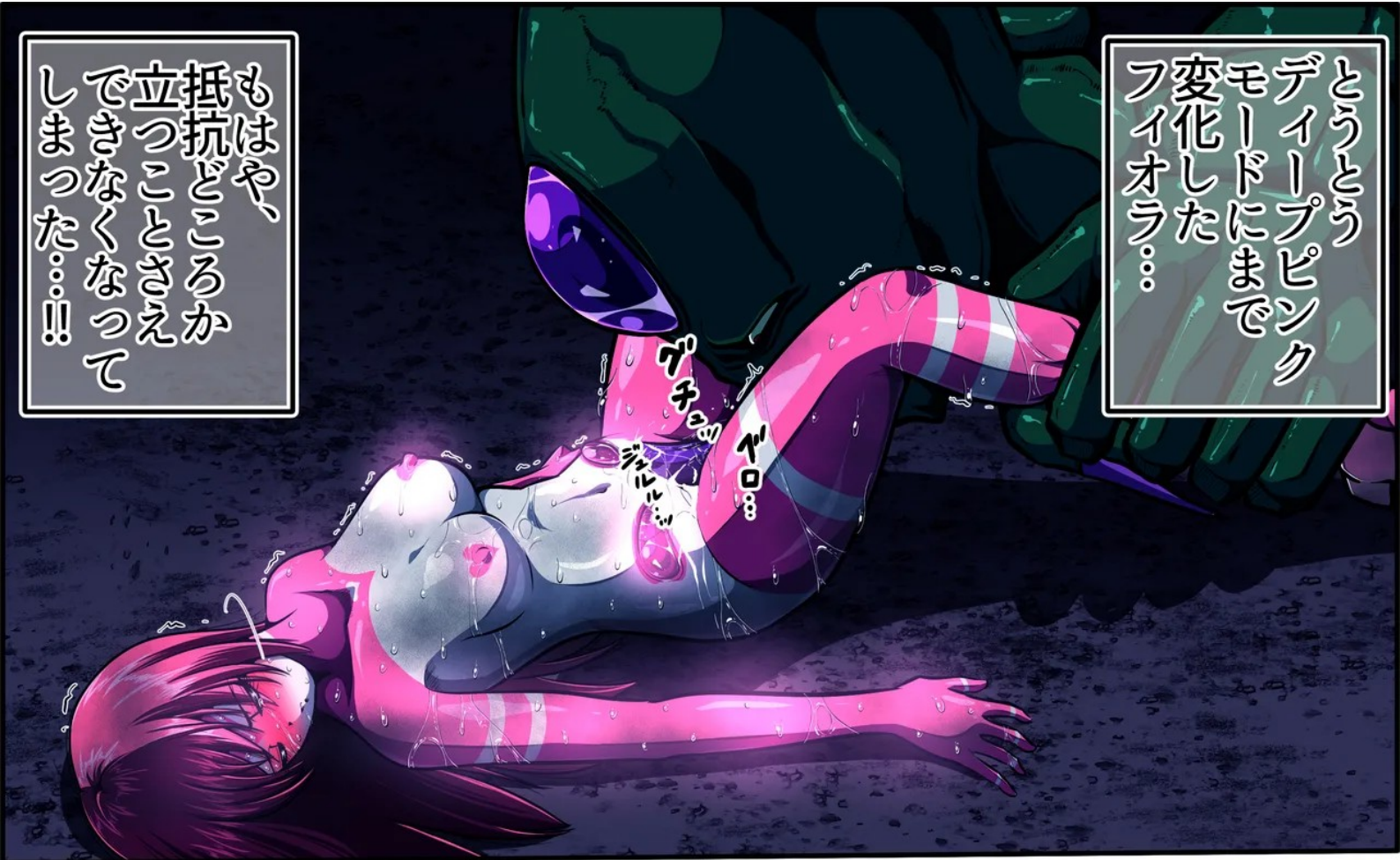






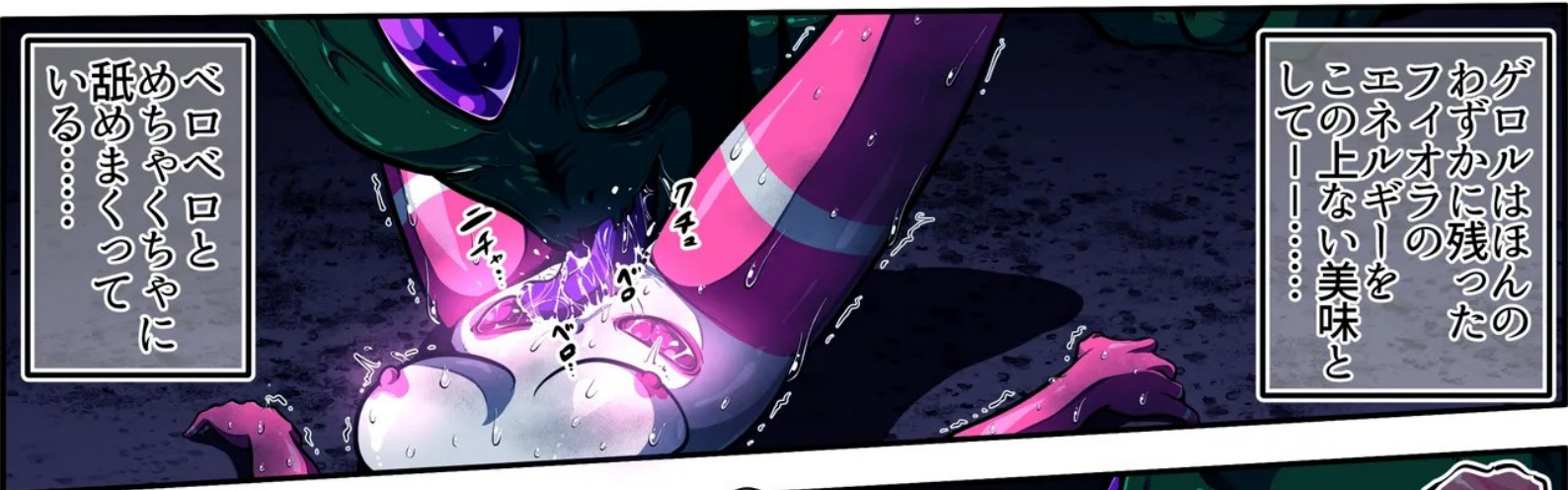
とうとう
ディーブピンク
モードにまで
変化した
フィオラ…

もはや、
抵抗どころか
立つことさえ
できなくなっ
てしまった…!!



ゲロルはほんの
わずかに残った
フィオラの
エネルギーを
この上ない美味と
して…!!

ペロペロと
めちやくちやに
舐めまくって
いる…!!



……あつ……
う……

んふ……
ん……

んんん……!!
あ……
あ……
あ……



グフフッ…
まさか
この女……

さらに
状態変化を
するとは……な

恐らくこれが
あの……

『計画』の成果、
というワケか……

もはや皇女に
抵抗のすべは
あるまい……

良い声
……だ……

ハッ？

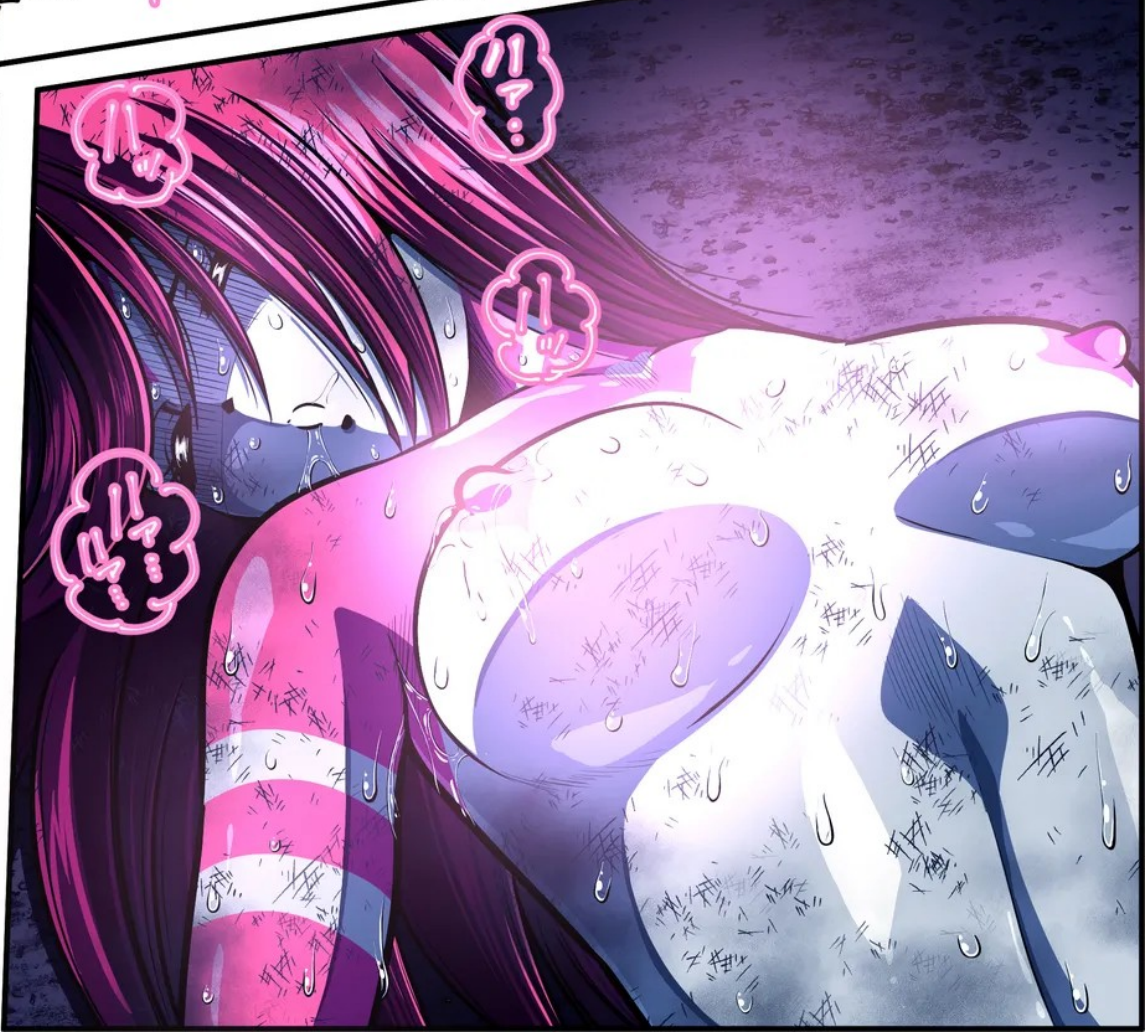
ハッ？

……

ハッ？

……

……たまた
ねエ……!!





見るも
無惨な…
光景だっ
た

ヒ

コ

ウ

...

それは

もはや半死半生の
ファイオラ姫を……

ブ
ラン
星
人
は
再
び
激
し
く
…
犯
し
始
め
た
の
だ
…
!!

ズン

ズン

ズン

ただただ
ひたすらに
………

ディープピンク
モードの姫は
完全にされるが
まま……

そのカラダを
………

………

敵のー……

バ
ン
グ
ン
バ
ン
グ
ン

おもちゃ
玩具のように

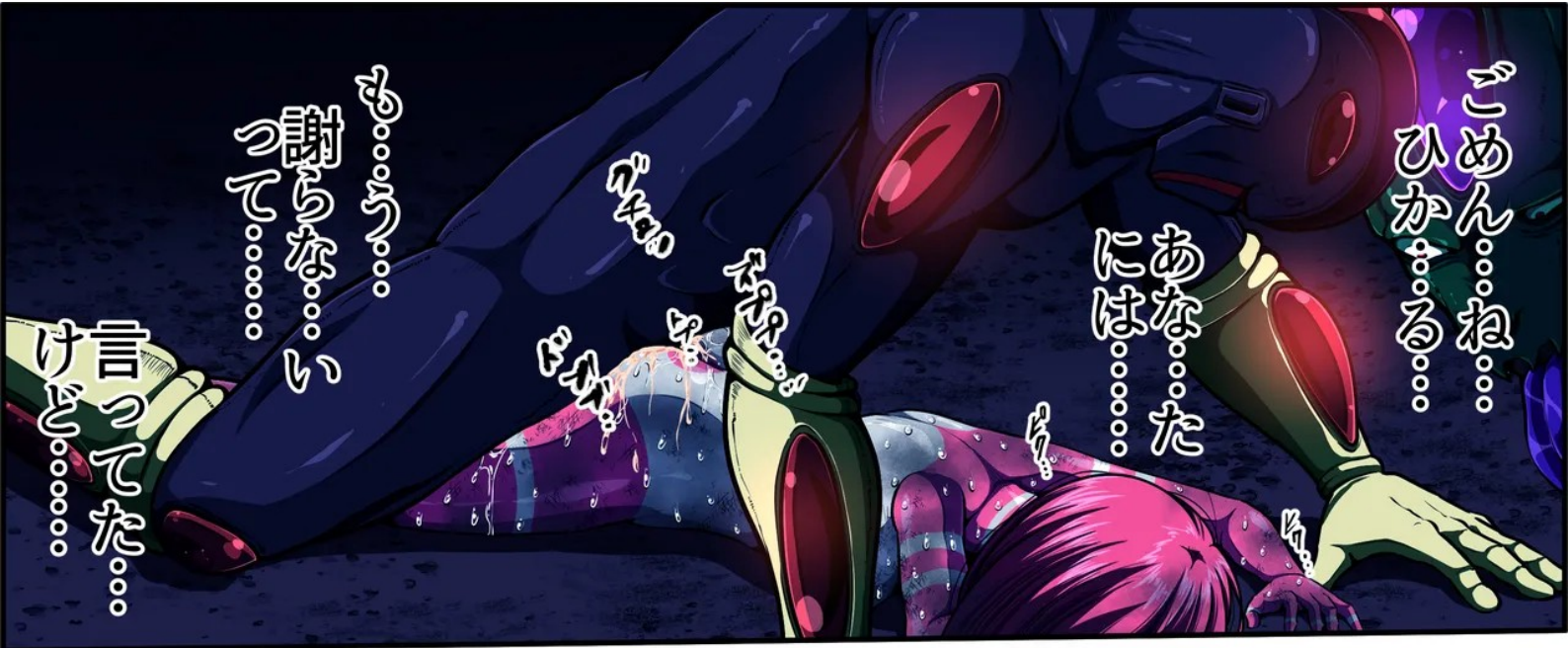
ー……!!

フィオラは
朦朧とする
意識の中で
ー……

ガイ……

それでも肉槍を
突き挿れられる
感覚にー……

本能的に
快楽を感じて
しまっていた

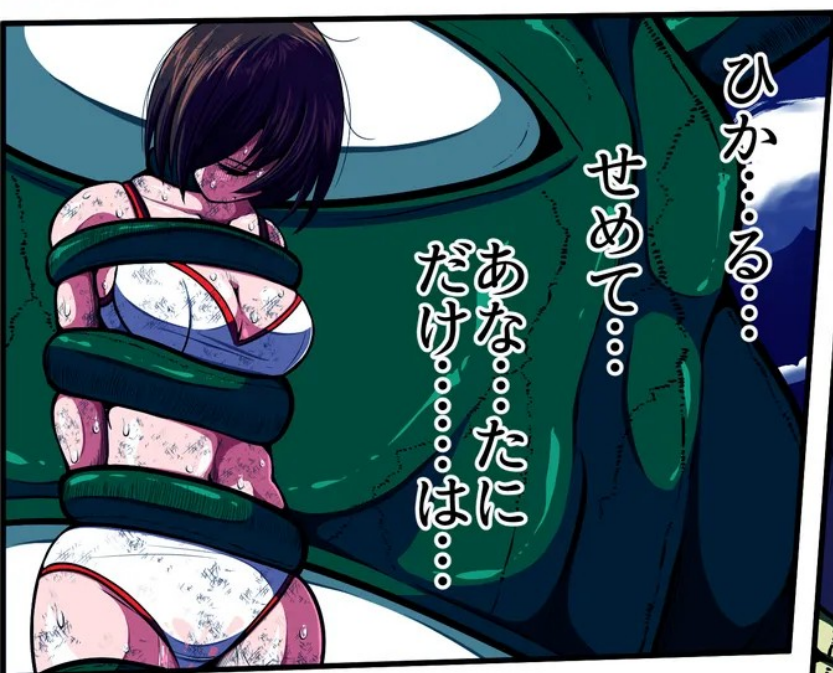


ごめんね…
ひかる…

あなた
には…

も…う…
謝らな…い
って…

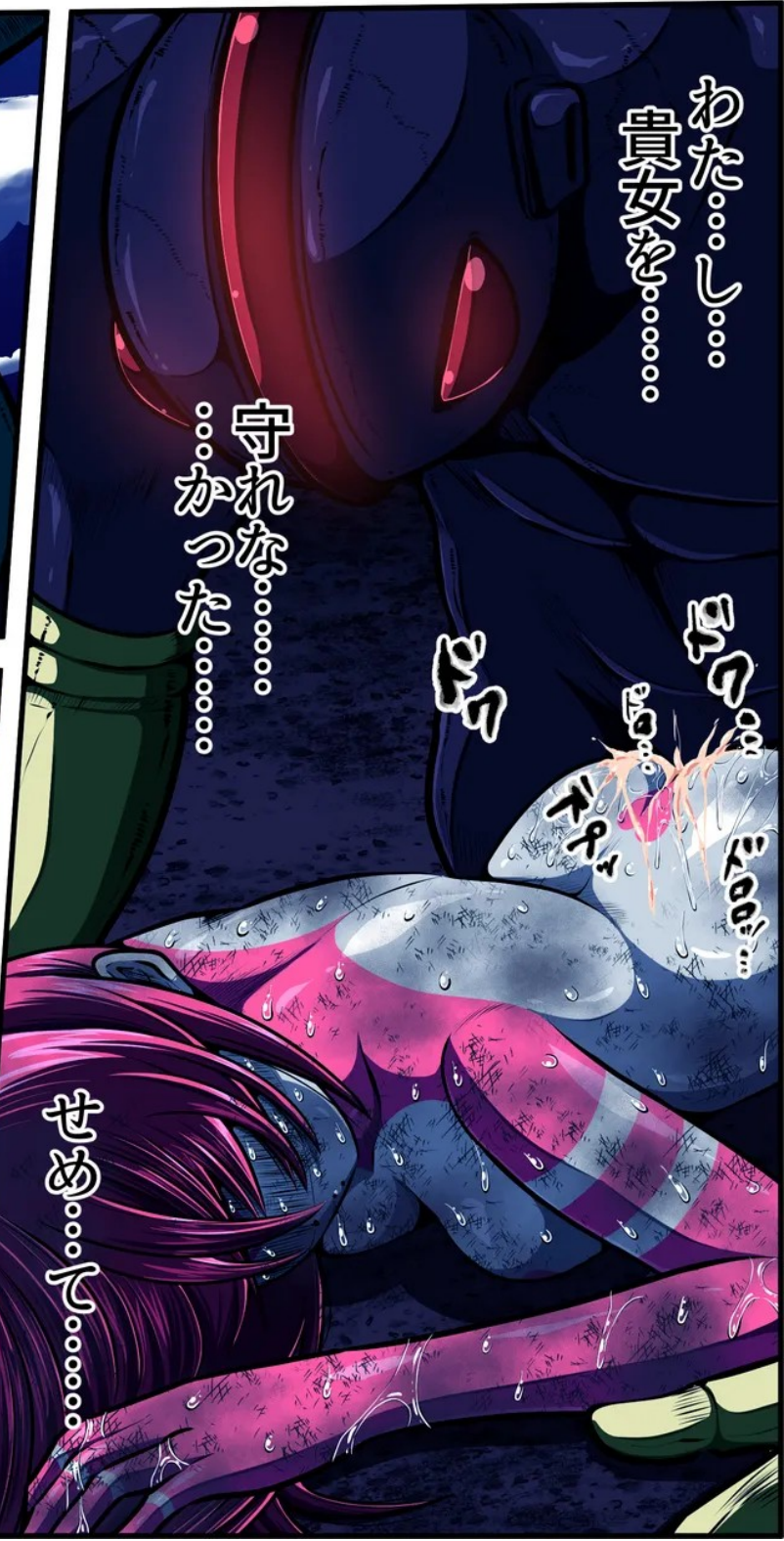
言…っ…た…
け…ど…



ひか…る…

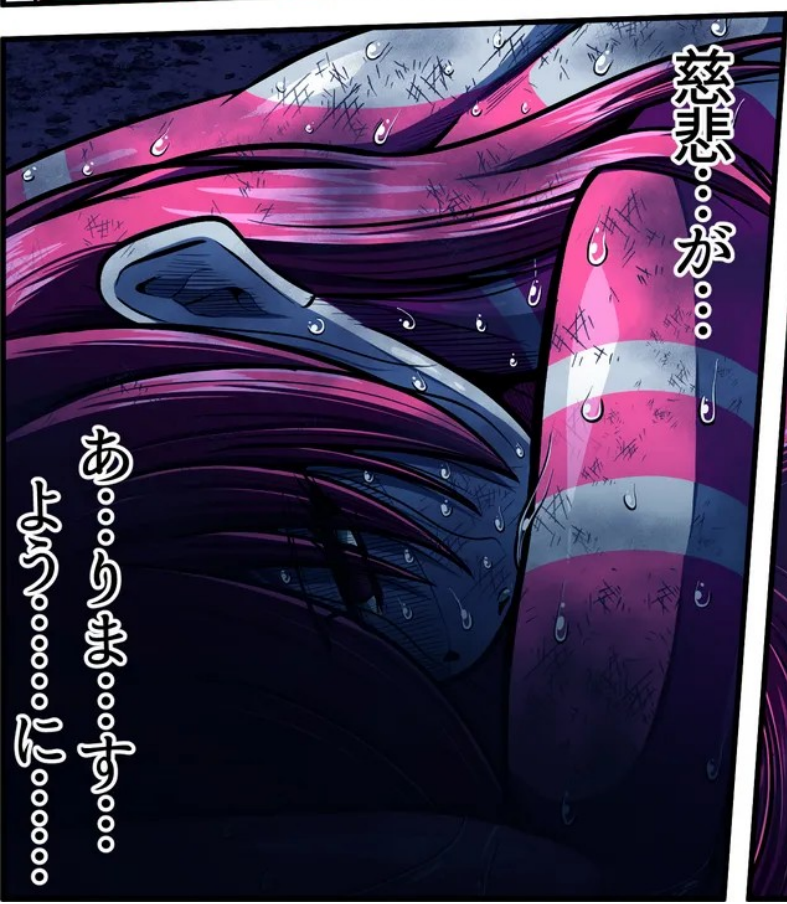
せめて…

あな…たに
だけ…は…



わた…し…
貴女を…

守れな…
…かつた…

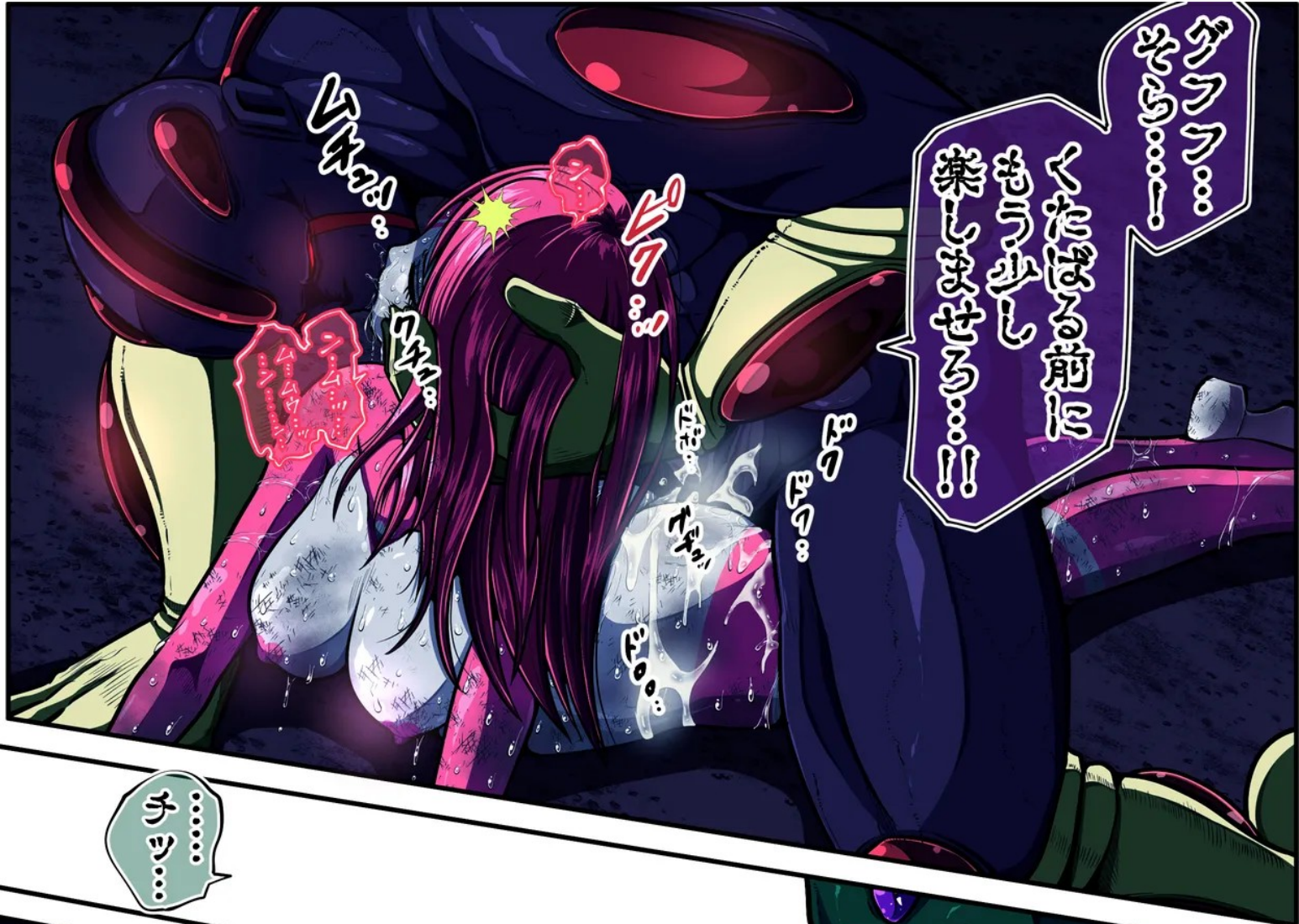


慈悲…が…

せめて…

あ…ら…ま…

あ…ら…ま…



ダフン...
ダフン...
ダフン...

くたばる前に
もう少し
楽しませろ...!!

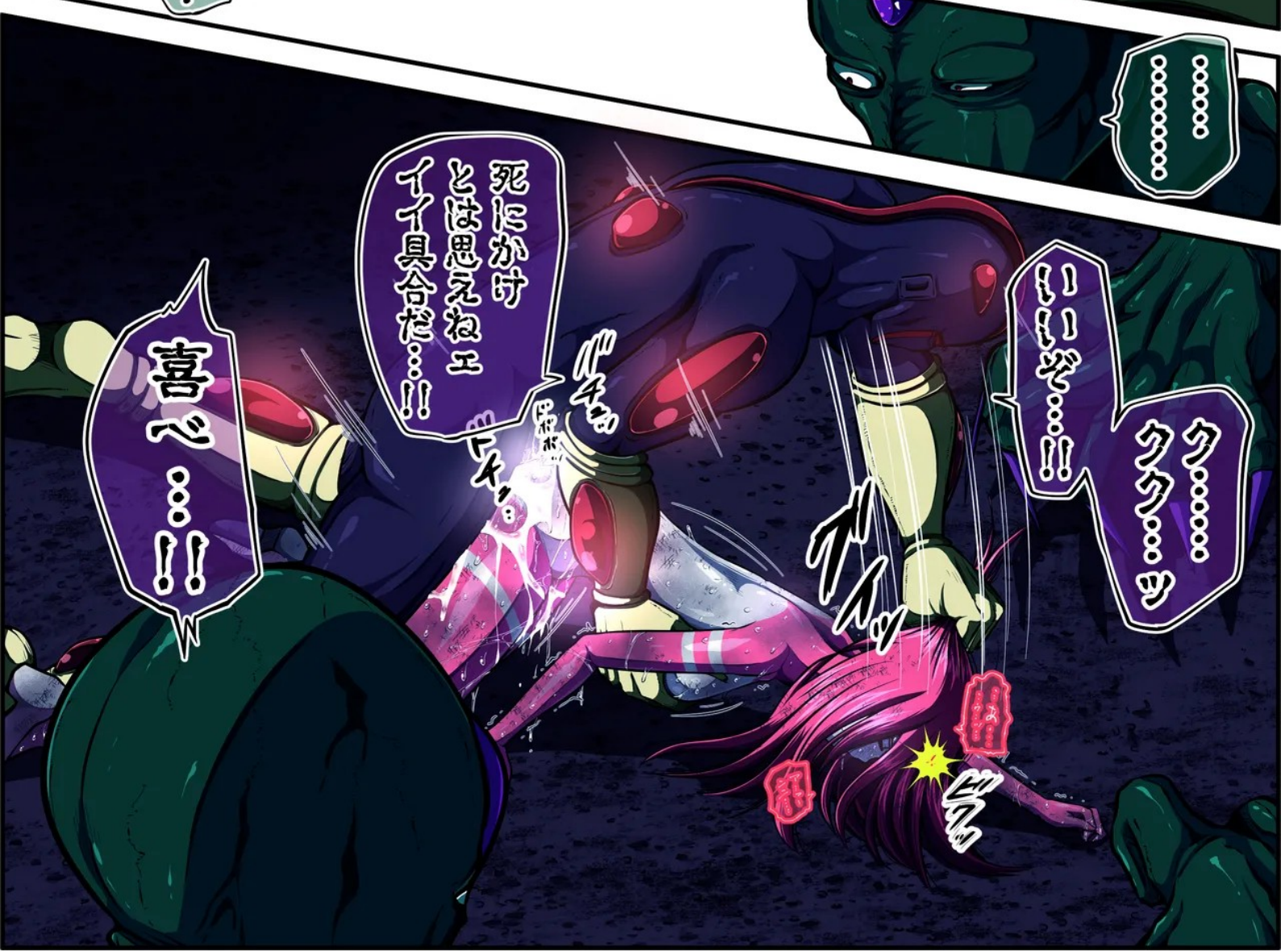
ムキッ...

ムキッ...

ムキッ...

チッ...

.....



死にかけ
とは思えねエ
イイ具合だ...!!

いいぞ...!!

クク...

喜ぶ...!!

『戦う皇女』
じやなく
—————

ただの『女』
として死ぬん
だ……!!

このオレに
.....
犯されながら
.....
な.....!!

とよ

キレいな
顔を見せて
くれや...

まだまだ
やらせて
もらー！ー……

ん.....?



oooooooooooo
oooooooooooo

死んだ。。。が



。。。チッ
もう少し
楽しみたかった
んだが。。。

すでに
限界だったか

。。。クク
高貴な皇女様が
犯されながら
死ぬとはな。。。！

ゲロル

この皇女を
見せしめに
する……！

準備
しろ……！！

……チツ……
わかった
よ……！！

オ
ー
ー
ー

起きろ
ー……

……オイ

ン
ン
ン……

確か……お前も悪くねエ
味だったしなアア……
グヒヒヒツ……!!

ククク……
起きるや
ヒメノよオ……
なんならお前も
舐めて起こして
やるうか……?

グヒヒツ!
よオ、久しぶり
だな……

ツク……

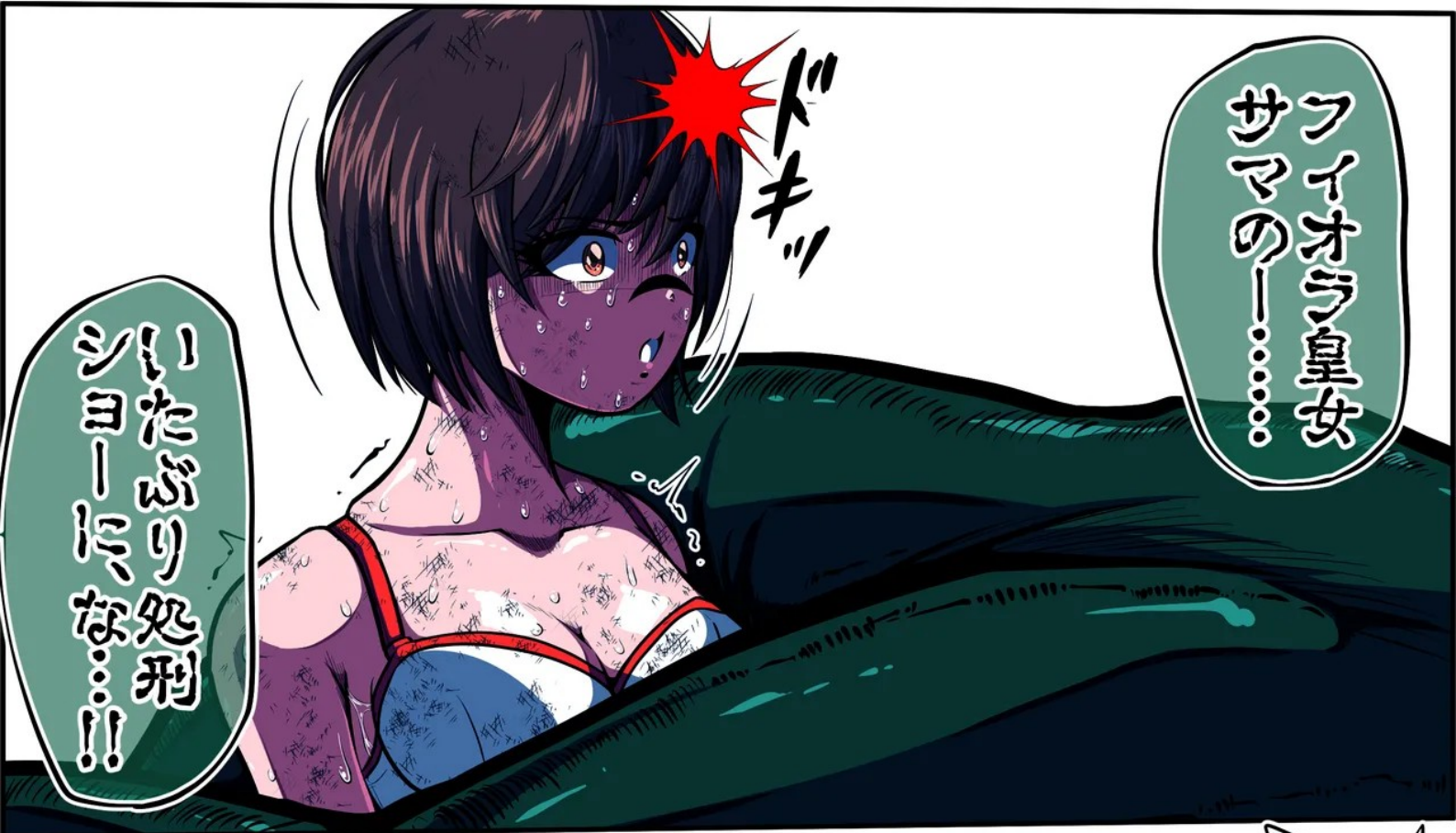
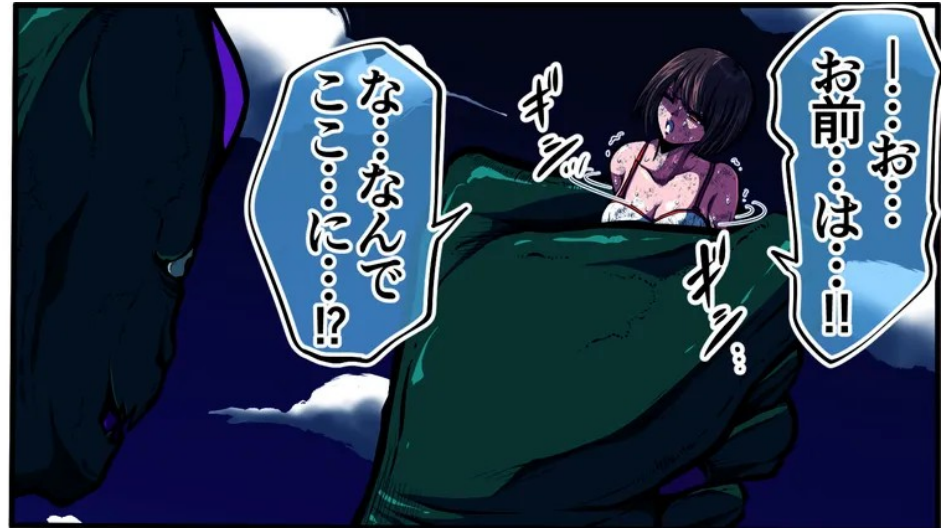
地球人の
女……

ん
……

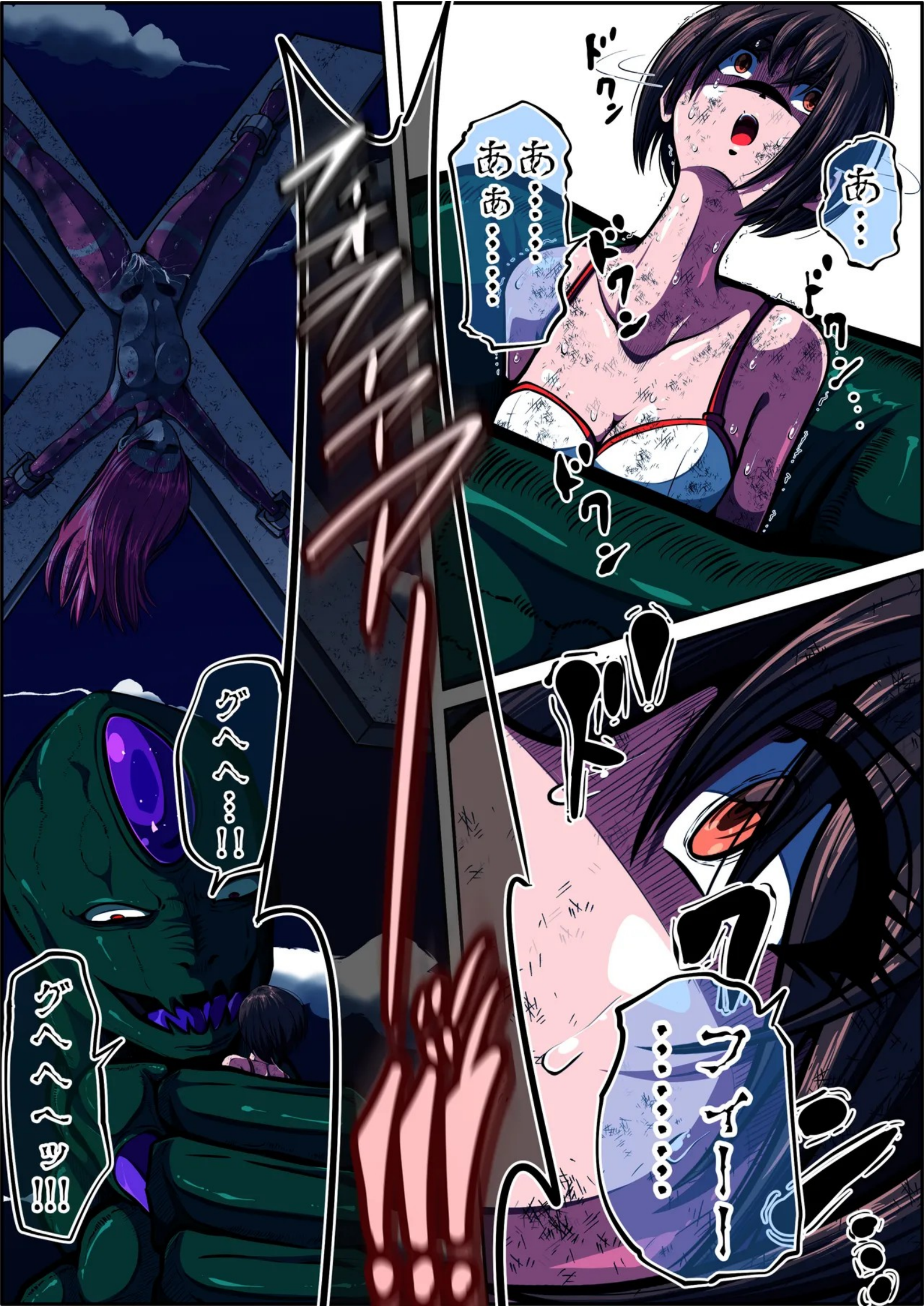
ん……
う……

ン
ン
ン……

ン
ン
ン……







ドン

あ...あ...
あ...あ...

あ...

ドン

ドン

ドン

フー

フー

ゴゴ

グハハハ!!!

グハハハ!!!

幾重にも張られた
敵の卑劣な策略に堕ちた
フィオラ皇女……

クリスタルの
輝きは失われて
しまった

ゲロル星人は
姫を逆さ磔に
拘束すると……

姫野光にその無惨な姿を
見せつけたのだった……!!



フィオラは
本当に死んで
しまったのか……？

そして、残された
光はどうなって
しまうの
だろうか……？

2人の
運命は
果たして……

つづく

フィオラ ピンクモード

かつて捕らわれ、1000年にも渡って
性的な拷問を受け続けていたフィオラ姫…

途方もない時間をかけ、弄ばれ続けた彼女の
肉体は、髪も体色も全て桃色に染められた。
この姿のフィオラには戦う力はほぼ無く、
常に性的な疼きに支配されている。



前作では敵のブラン星人にたっぷりと犯され、
何度も膣内に精液をぶち撒かれてしまった…。
(しかも、同化者の光の目の前で、である)

確認のしようがないが、ピンクモードの
フィオラは妊娠率もかなり高いため、
ブランの子を孕まされている可能性すらある…。

フィオラ ディープピンクモード

ピンクモードからさらに感覚を刺激され、
変わり果てた姫の姿。

ディープピンクモードは与えられる刺激や
状況下によって身体の紋様が様々変化する。
この姿のフィオラはもはや自力で立つこと
すら危うい、最弱の状態。

それどころか、この状態のままでいると
弱った身体が減茶減茶に狂った性的激感に
耐えられず、命の危険すらあるという。

まして、このディープピンクモードの姿で
敵の攻撃を受けたり、辱められたりしてしまったら…

フィオラのカラダはその痛覚、または快楽に壊され、
そのまま息絶えてしまうだろう…!!







フィオラクライシス

～フィオラ姫、死す…!?～



フィオラ クライシス

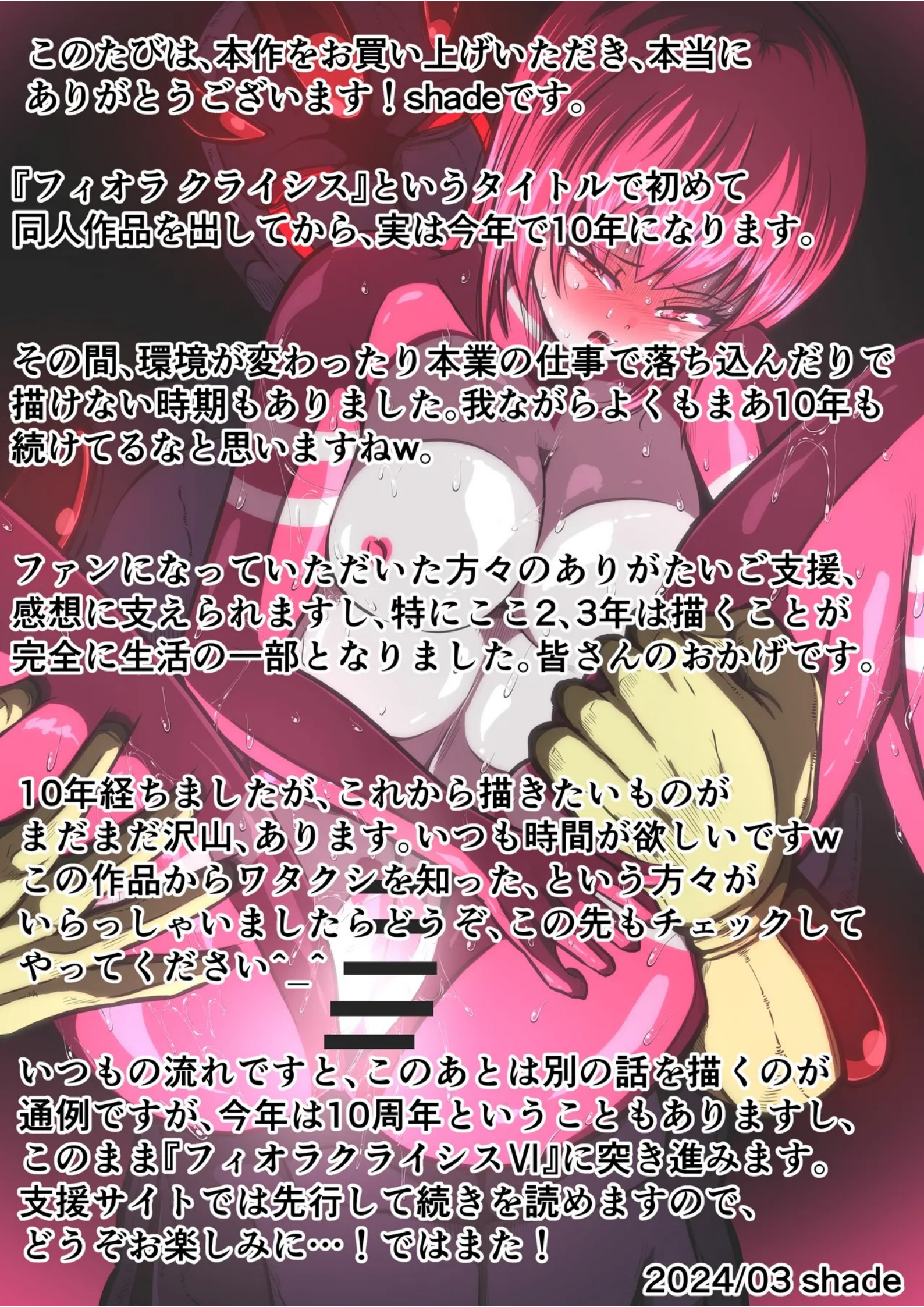
～フィオラ姫、死す。。。!?～



ニ
ニ
ニ

フィオラクライシス

～フィオラ姫、死す…!?!～



このたびは、本作をお買い上げいただき、本当に
ありがとうございます！shadeです。

『フィオラクライシス』というタイトルで初めて
同人作品を出してから、実は今年で10年になります。

その間、環境が変わったり本業の仕事で落ち込んだりで
描けない時期もありました。我ながらよくもまあ10年も
続けてるなと思いますねw。

ファンになっていただいた方々のありがたいご支援、
感想に支えられますし、特にここ2、3年は描くことが
完全に生活の一部となりました。皆さんのおかげです。

10年経ちましたが、これから描きたいものが
まだまだ沢山、あります。いつも時間が欲しいですw
この作品からワタクシを知った、という方々が
いらっしゃいましたらどうぞ、この先もチェックして
やってください^-^

いつもの流れですと、このあとは別の話を描くのが
通例ですが、今年は10周年ということもありますし、
このまま『フィオラクライシスVI』に突き進みます。
支援サイトでは先行して続きを読めますので、
どうぞお楽しみに…！ではまた！

2024/03 shade